

3 市民意向の把握・整理

(1) 市民意識調査結果

1) 目的

この調査は、「第三次宜野湾市地域福祉計画」の計画期間満了に伴い、「第四次宜野湾市地域福祉計画」を策定するため、市民の暮らしの状況やニーズ等を把握しよりよい福祉行政をすすめるための基礎資料とすることを目的として実施した。

2) 調査の実施方法・配布回収状況等

①調査対象：市内在住の20歳以上から70歳未満の男女3,000名を住民基本台帳より無作為に抽出。

※回収率が低い傾向にある20代・30代の意向も捉えていくことができるよう、前回と同様に年代によって配布の割合を調整している。(20代：25%、30代：22%、40代：20%、50代：18%、60代：15%)

②調査方法：郵送による配布回収。回答はパソコン、スマートフォン等を用いてインターネットでの回答も受け付けた。

③調査期間：令和3年7月20日(火)～令和3年8月16日(月)

④回収状況：配布数3,000件中、有効回収数は743件(有効回収率24.8%)

※なお、市民意識等の変化を把握するため、必要に応じて平成27年に実施した「平成27年度地域福祉に関するアンケート調査」(以下、「前回調査」という。)と比較を行っている。ただし、前回調査と選択肢が若干異なる場合があるため留意する必要がある。

○参考：前回調査(平成27年度 地域福祉に関するアンケート調査)の実施方法・配布回収状況

調査対象：市内在住の20歳以上70歳未満の市民、3,000人を住民基本台帳より無作為抽出

調査方法：郵送による配布回収

調査期間：平成27年8月26日～9月25日

回収状況：994件(34.3%)

3) 調査結果の概要

※結果の見方 - - - - -

- ・回答結果の割合は、回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しているため、単数回答であっても、合計値が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、割合を出している。そのため、合計が100%を超える場合がある。
- ・表や図中で、選択肢の文章が長いものは省略して載せている場合がある。また、「N」及び「n」は集計の対象者数(設問の限定条件に該当する人の数)を表している。
- ・クロス集計の場合、表側項目の無回答は表記していない場合がある。

- - - - -
以下に調査結果の概要を整理する。

■調査結果概要

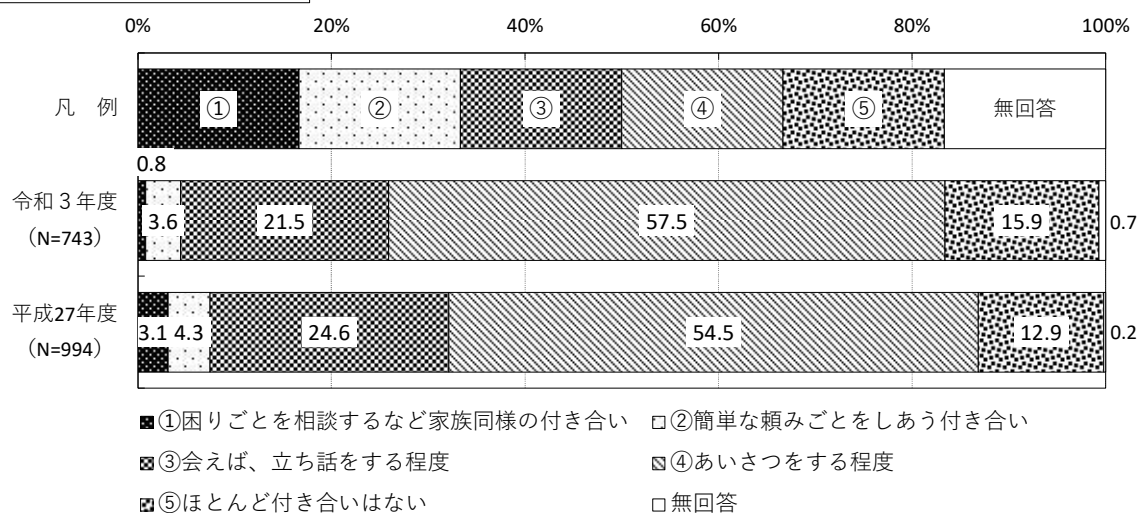
<回答者の属性>

- 性別は女性が6割弱、男性4割弱と女性の回答割合が高い。年齢は20代で14%とやや低いが、30代から60代の各年代は2割前後となっており、概ね年代のバランスの取れた回収結果となっている。
- 家族構成は、親と子からなる世帯が5割強、夫婦のみが2割弱、一人暮らしが1割強となっている。
- 居住形態は、賃貸（マンション・アパート）と持ち家（一戸建て）が約4割、持ち家（マンション）が1割弱となっており、前回調査と比較すると、持ち家（一戸建て）が微減、賃貸（マンション・アパート）が増加となっている。

<隣近所や地域との関わりについて>

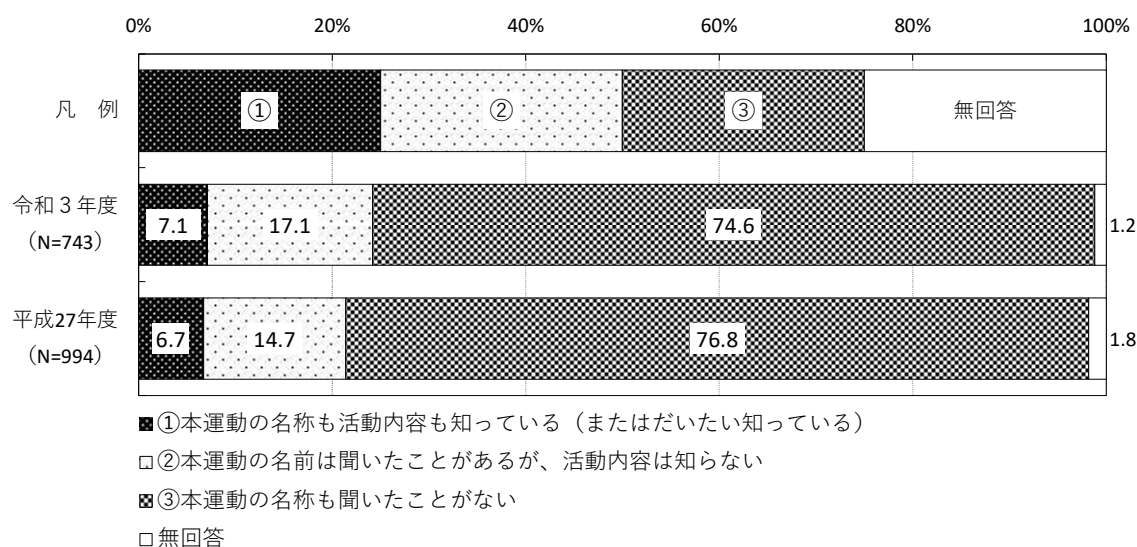
- 大半の方（8割以上）の方が近所との何らかの関わりがあるなど、**市民の多くが隣近所と接点があることがうかがえるものの**、「あいさつをする程度」や「会えば、立ち話をする程度」といった関係が多くを占めている。一方で、「ほとんど付き合いはない」という回答も2割弱みられる。

問1 近所との付き合いの程度



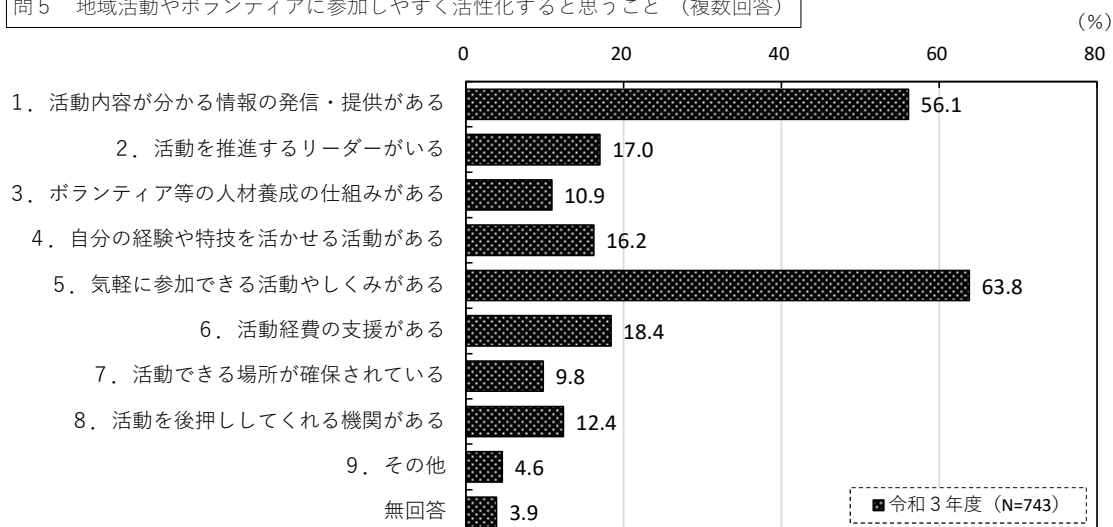
- **あいさつ運動を『知っている』**（「名称も活動内容も知っている」＋「名前は聞いたことがある」）方は**2割強**であり、**7割強の市民が知らない状況**となっている。前回調査に比べて『知っている』と回答した方が僅かに増えているものの、多くの市民に認知されていない状況にある。

問2 「まちでニッコリあいさつ・声かけ運動」の認知度



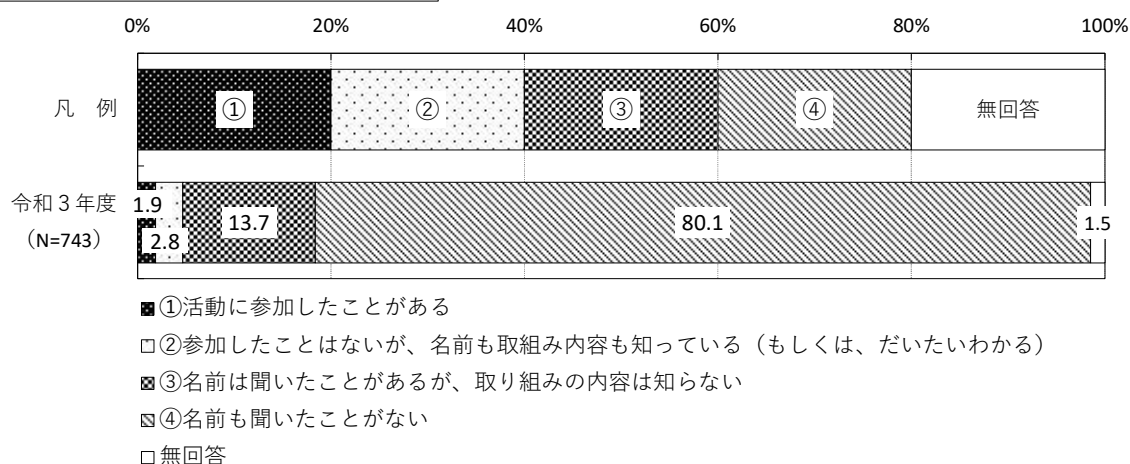
- ・自治会へは4割弱が加入しており、6割強の世帯は加入していない。前回調査と比べても加入率は高くなっておらず、ほとんど差はみられない。
- ・自治会へ加入していない主な理由としては、「仕事や学業、育児、介護で忙しいから」が3割弱で最も多く、次いで、「必要性を感じないから」（22.3%）、「自治会からの勧誘がないから」（13.1%）と続いている。
- ・地域活動やボランティア活動の参加状況についてみると、「参加していない」が7割強（73.2%）で最も多く、次いで、「地域の清掃や緑化などの環境美化」（14.3%）、「祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり」（7.3%）と続いている。なお、「参加していない」は20代や30代で多い傾向にある。
- ・地域活動やボランティア活動に参加しやすくなるための状況等を尋ねたところ、「気軽に参加できる活動やしくみがある」や「活動内容が分かる情報の発信・提供がある」といった回答が多い。

問5 地域活動やボランティアに参加しやすく活性化すること（複数回答）



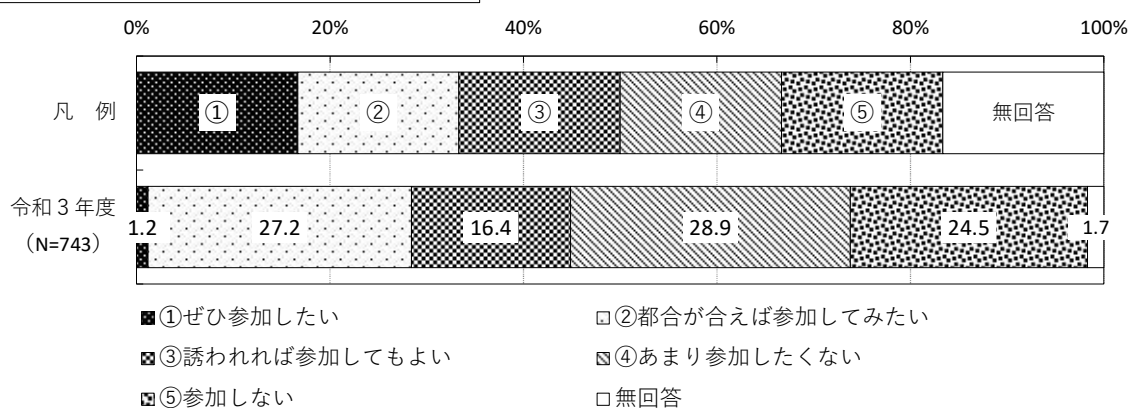
- こういった地域活動に興味があるかを尋ねたところ、「子育て支援や子どもの健全育成のための環境づくり」が4割弱で最も多い。
- 「地域支え合い活動委員会」の認知度を尋ねたところ、「名前も聞いたことがない」が約8割と大半を占めており、全体的に取組みへの認知度が低い状況がうかがえる。

問7 「地域支え合い活動委員会」の認知度



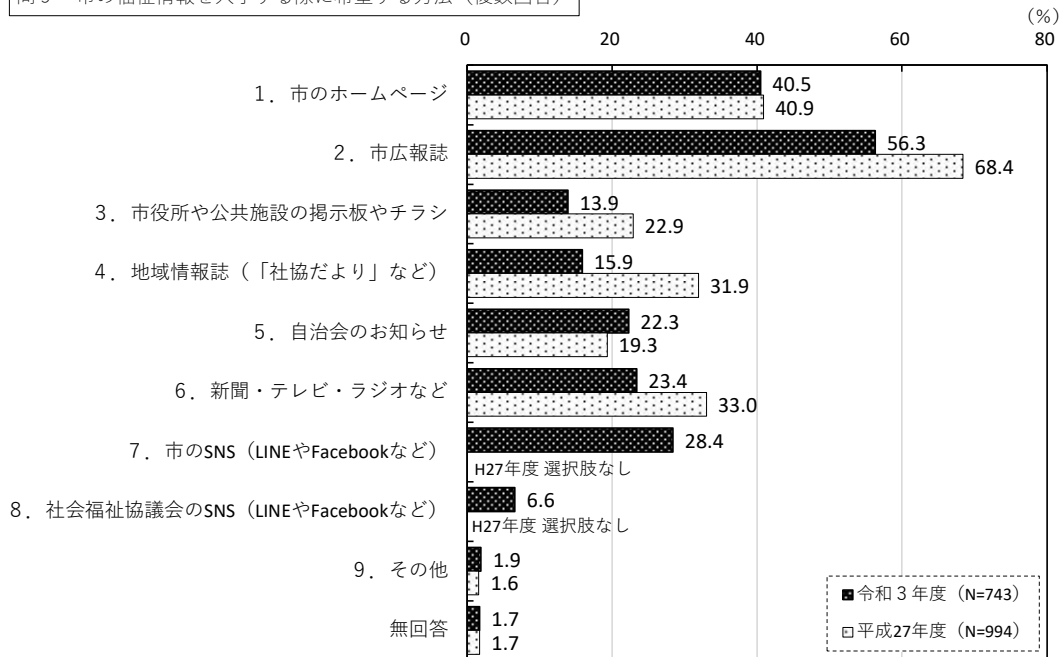
- 「地域支え合い活動委員会」への参加意向を尋ねたところ、『参加したい・参加しても良い』（『ぜひ参加したい』＋『都合が合えば参加してみたい』＋『誘われれば参加してもよい』）が4割強（44.8%）みられることから、積極的な参加の働きかけが期待される。

問8 「地域支え合い活動委員会」への参加意向



- 市の福祉情報を入手する際に希望する方法は、「市広報誌」が6割弱と多いものの、「市のホームページ」や「市のSNS（LINE や Facebook など）」など、関心のある情報にいつでもアクセスできる情報発信ツールの利用意向も高い状況にある。

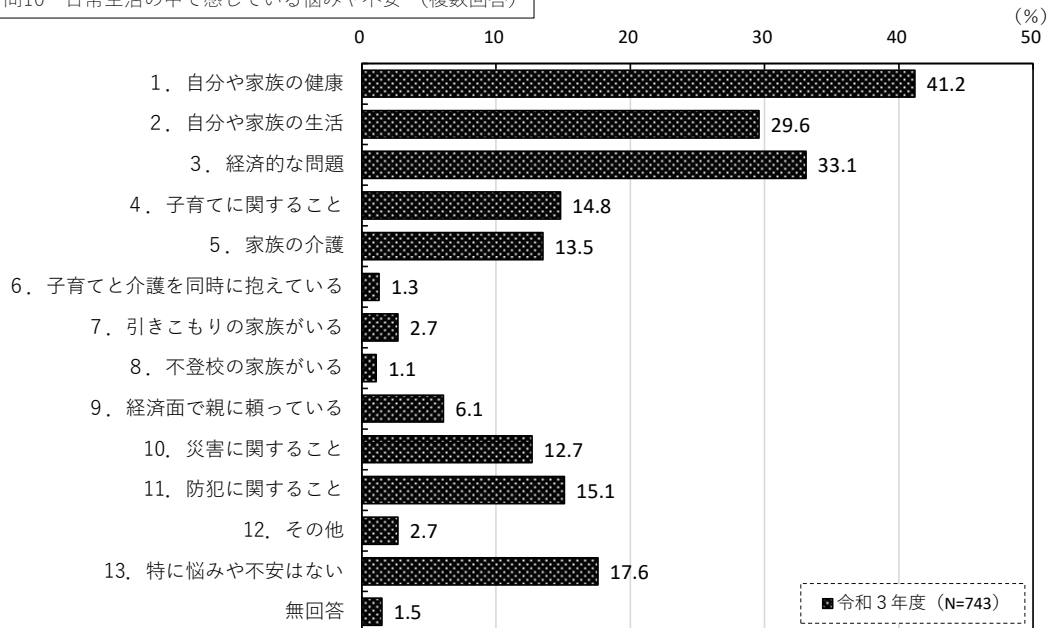
問9 市の福祉情報を入手する際に希望する方法（複数回答）



<日常生活の課題や相談先について（回答者自身や家族のこと）>

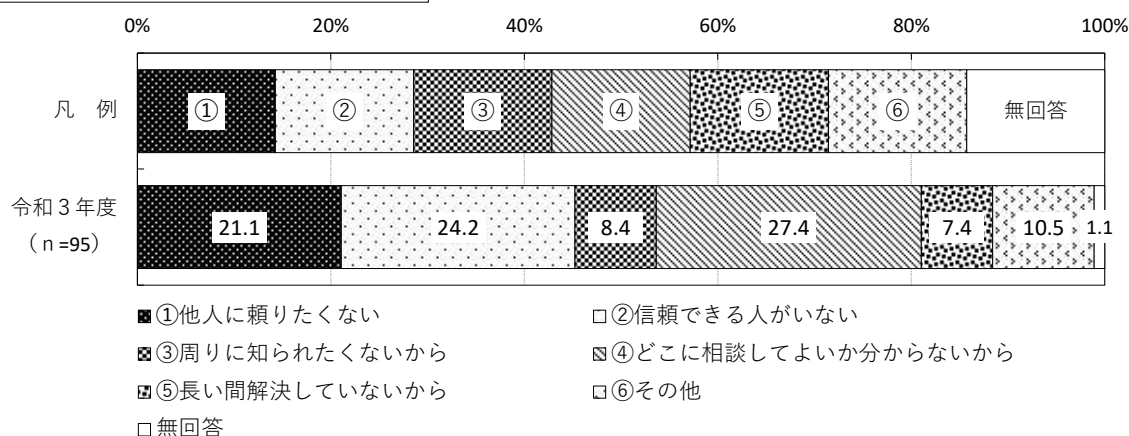
- ・日常生活の悩みや不安を尋ねたところ、「自分や家族の健康」、「経済的な問題」、「自分や家族の生活」などに関して不安を抱えている方が3～4割程度みられる。また、割合は少ないものの、『引きこもりや不登校の家族がいる』（「7. 引きこもりの家族がいる」＋「8. 不登校の家族がいる」）という回答も3.8%みられ、年代別では「50代」で5.9%、「40代」で4.6%の回答がみられた。

問10 日常生活の中で感じている悩みや不安（複数回答）



- 前問で『引きこもりや不登校の家族がいる』と回答した方（28 件）について、その家族の年齢を尋ねたところ、「14 歳以下（中学生くらい）」が8件で多く、それ以外年代でもそれぞれ2～3件の回答がみられる。今回のアンケートが標本調査であることを踏まえると、市内に居住する方のうち一定数が引きこもり状態にあるとともに、幅広い年代で引きこもりの方がいる状況がうかがえる。
- また、引きこもり、または不登校の方の外出状況についてみると、「自室からは出るが、外出はしない」や「自室からほとんど出ない」といった、全く外出しない深刻なケースも少なからず見受けられる。
- 引きこもり、または不登校になったきっかけについてみると、「学校や職場での人間関係がうまくいかなかった」が最も多い。また、「心身面で長期の療養が必要な病気になった」や「学生時代の不登校」も多い状況にある。
- 引きこもり、または不登校になった期間は、「1 年～3 年未満」が最も多かったものの、「5 年～10 年未満」や「10 年～20 年未満」、「20 年以上」という長期間にわたる引きこもりも一定程度みられる。
- 悩みや不安を感じたとき、相談したい相手について尋ねたところ、「家族・親戚」や「友人」など身近な相手への相談が大半を占めている。一方で1 割強の方が「相談していない・したくない」と回答しており、悩み事を一人で抱えている状況もうかがえる。
- 『悩みや不安を相談しない』と回答した方に、相談しない理由を尋ねたところ、「どこに相談してよいか分からないから」が3 割弱となっており、「信頼できる人がいない」や「他人に頼りたくない」といった回答も多くみられる。今後、相談窓口の周知や利用しやすい雰囲気づくり・体制づくり等を図っていく必要があると言える。

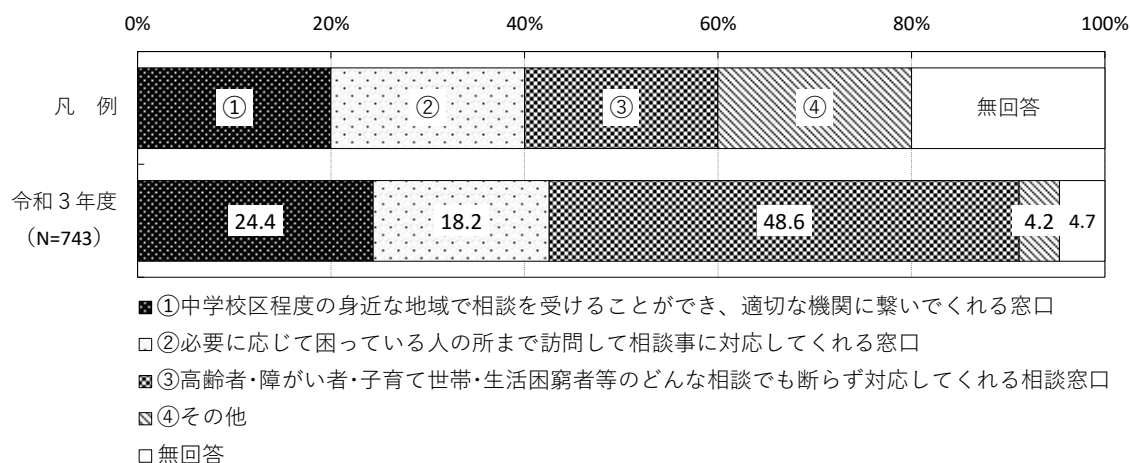
問11-1 悩みや不安を相談しない主な理由



- あったら良いと思う生活や福祉に関する相談窓口について尋ねると、「高齢者・障がい者・子育て世帯・生活困窮者等のどんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口」が5 割弱で最も多く、次いで「中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口」

や、「必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口」が2割前後となっている。こうした意向も考慮しながら地域福祉の推進に向けた相談体制のあり方や、本市として望ましい重層的支援体制整備事業のあり方を検討していくことが求められる。

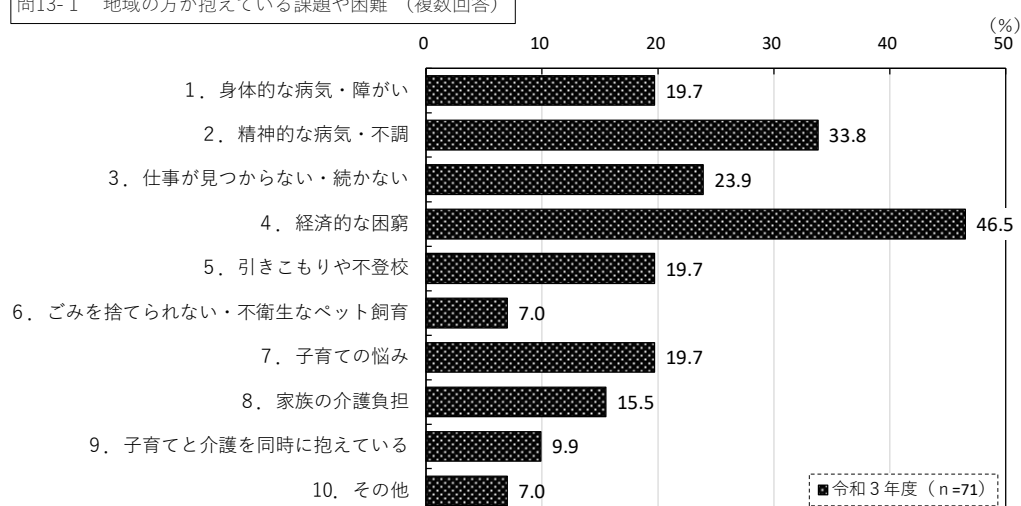
問12 あったら良いと思う生活や福祉に関する相談窓口



<日常生活の課題について（お住まいの地域のこと）>

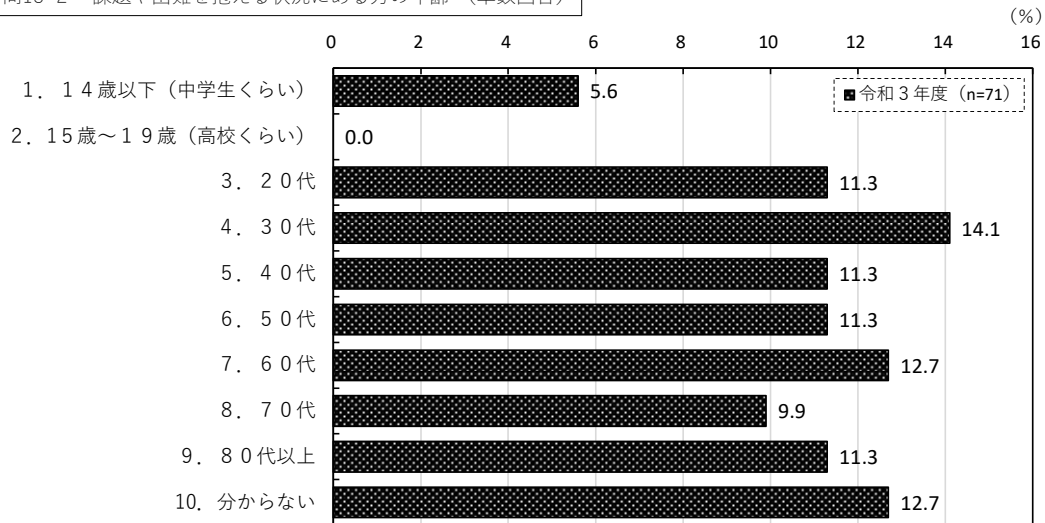
- ・地域で課題や困難を抱えていながら、どの相談先にもつながっていない（ように見える）方の有無を尋ねると、大多数は「いない・分からない」とする回答が占めていたが、「いる・聞いたことがある」とした回答が1割弱見られた。
- ・その方が抱えている課題や困難について尋ねると、「経済的な困窮」が5割弱で最も多く、以下「精神的な病気・不調」、「仕事が見つからない・続かない」と続いている。

問13-1 地域の方が抱えている課題や困難（複数回答）



- ・困難を抱えているものの支援の手が足りていない方は、20代以上の幅広い世代で一定数存在している状況となっている。

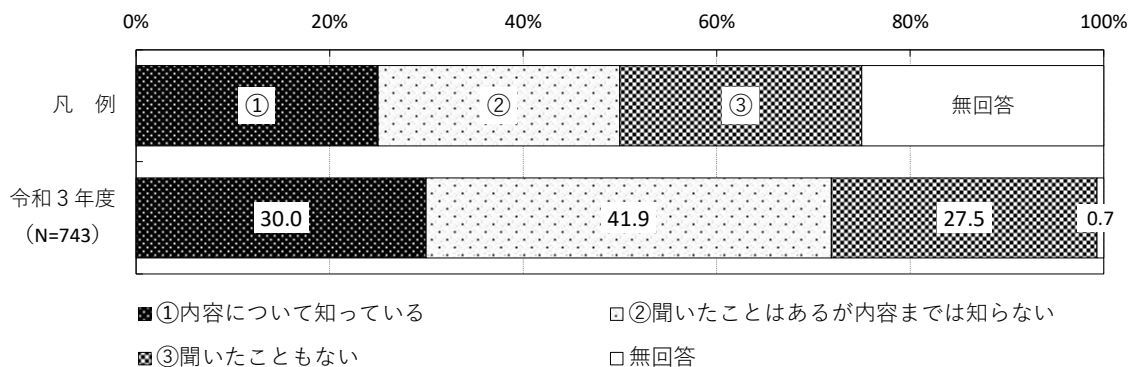
問13-2 課題や困難を抱える状況にある方の年齢（単数回答）



<成年後見制度の利用について>

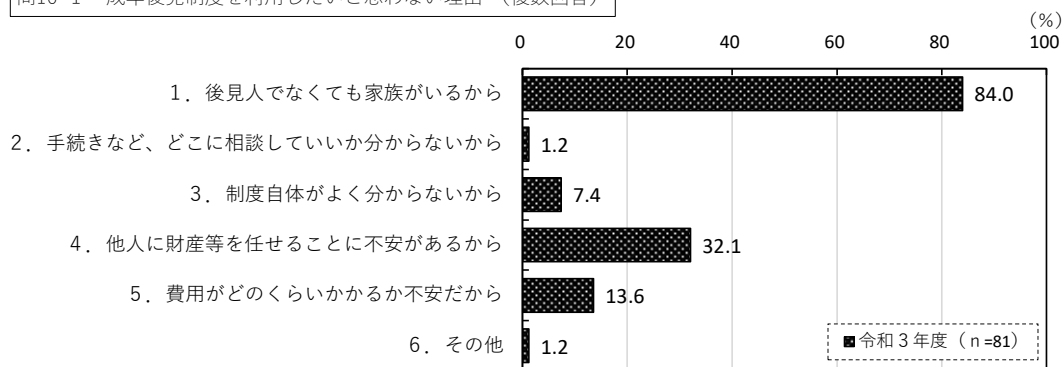
- ・成年後見制度については、名前くらいは聞いたことがあるという方が多いが、一方で「聞いたこともない」という方が3割弱となっている。

問14 成年後見制度の認知度



- ・将来における成年後見制度の利用意向を尋ねると、「分からない」が5割弱で最も多く、「利用したい」は4割強、「利用したいと思わない」が約1割となっている。
- ・『成年後見制度を利用したいと思わない』と回答した方へ、その理由を尋ねると、「後見人でなくても家族がいるから」が8割強と大半を占めている。一方で、費用や相談先、手続き方法などがわからないという回答も一定程度みられ、制度の周知が求められる状況にある。

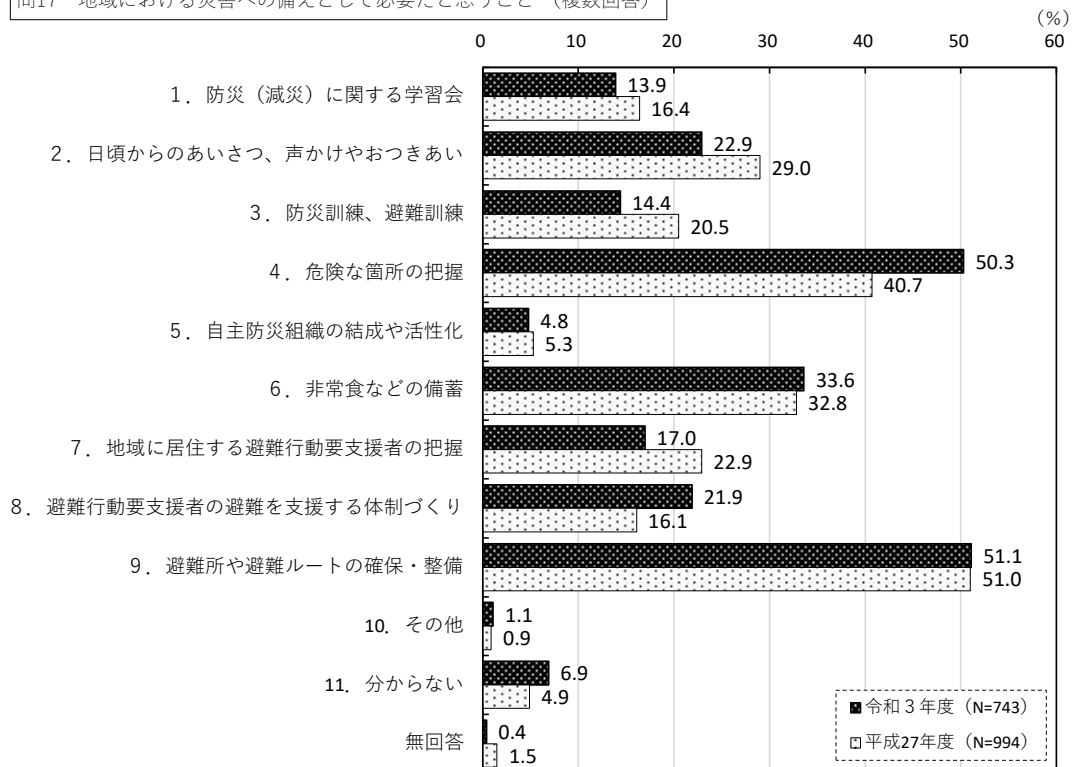
問16-1 成年後見制度を利用したいと思わない理由（複数回答）



<災害への備えや災害時の対応について>

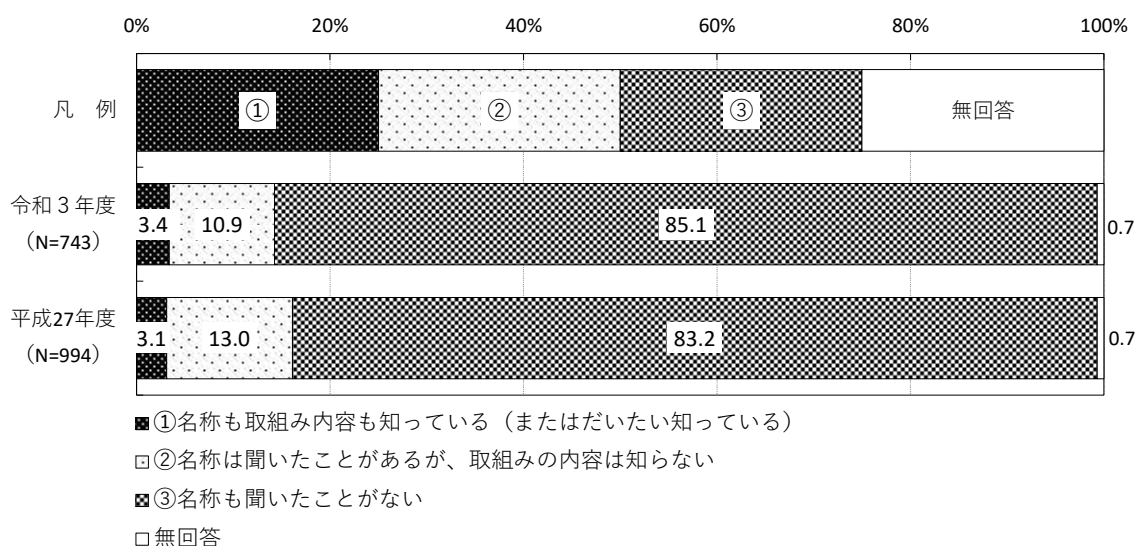
- ・地域での災害の備えとして必要なことは、「避難所や避難ルートの確保・整備」や、「危険な箇所の把握」、「非常食等の備蓄」が求められており、前回調査と比較すると危険箇所の把握に対するニーズが増加している。

問17 地域における災害への備えとして必要だと思うこと（複数回答）



- 災害時に必要な支え合いについて尋ねたところ、「災害直後の安否確認の声かけ」が約7割で最も多く、次いで、「避難場所などへの移動を手伝う」や「災害状況や避難場所に関して教えあう」が6割強で続いている。
- 災害時要援護者登録制度の認知状況についてみると、「名称も聞いたことがない」が9割弱を占めている。前回調査との比較を見ても本制度の認知状況は低いままとなっていることから、登録制度の周知及び登録促進を図っていく必要がある。

問19 「避難行動要支援者名簿」の認知度



<福祉施策全般について>

- ・第三次宜野湾市地域福祉計画の認知状況についてみると、「名称も内容も知らない」が9割弱を占めており、同計画が市民に認知されていない状況となっている。

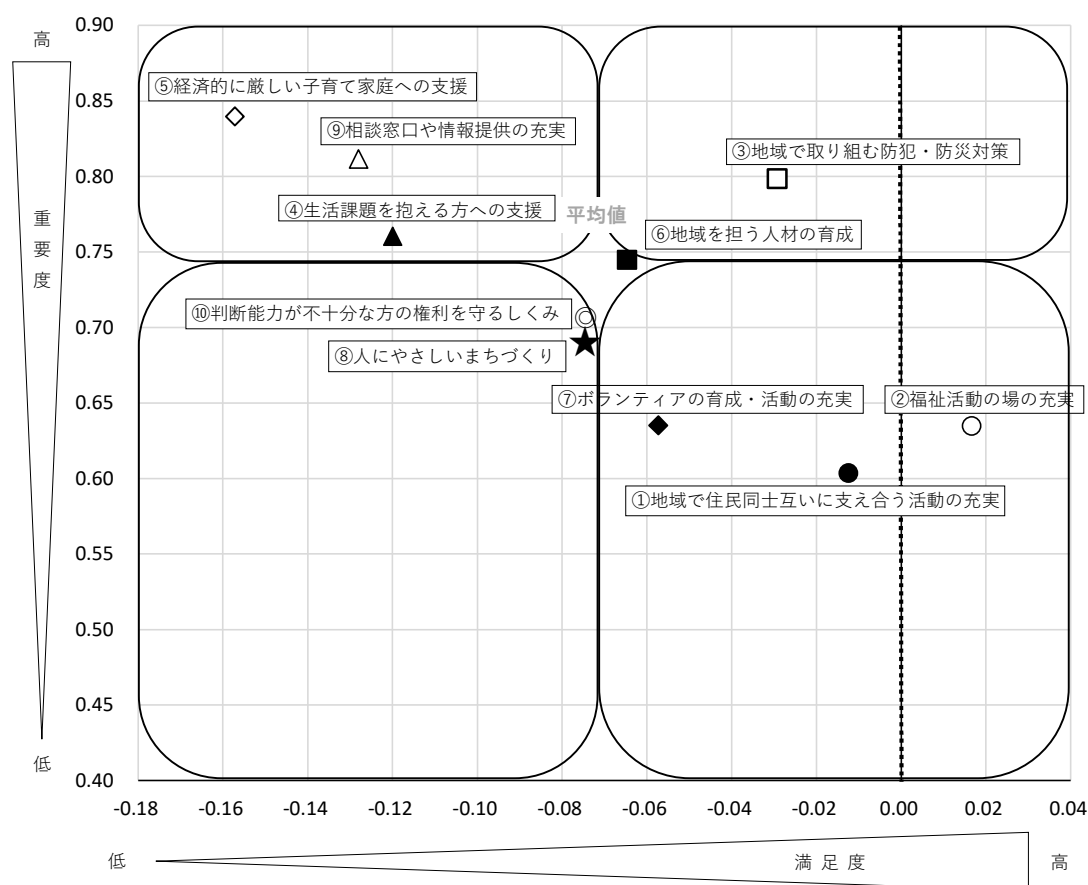
(各種資源の認知度)

- ・「チュイシーセンターさんさん」や「権利擁護支援センターうるる」について、活動内容まで知っている方は僅かとなっている。
- ・「民生委員・児童委員」の認知度は7割強であるが、活動内容まで知っている方は3割強であり、前回調査より下がっている。
- ・「地域福祉コーディネーター」の認知度は3割強であり、活動内容まで知っている方は僅かとなっている。
- ・「見守りおかえりサポーター」の認知度は2割と少ない状況にある。

(地域福祉の取組みの満足度・重要度)

- ・宜野湾市の地域福祉の取組みに関する10個の項目に対して満足度や重要度を尋ね、散布図により相関を示したところ、「経済的に厳しい子育て家庭への支援」、相談窓口や情報提供の充実、「生活課題を抱える方への支援」が『重要度は高いが満足度は低い』取組みとなっており、優先的に取り組まなければならない施策といえる。

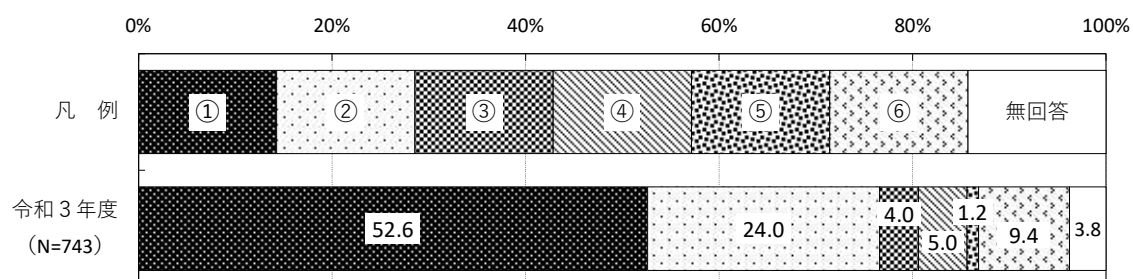
問22 宜野湾市の取組み（満足度と重要度）



（行政と地域住民の関係）

- 地域福祉における行政と地域住民の関係についての考えを尋ねると、「行政と地域住民が互いに協力して地域の課題に取り組む」が5割強で最も多く、次いで「行政の取り組みとともに、行政の手が届かない課題は地域住民が協力して取り組む」が2割強となっている。

問23 地域福祉における行政と地域住民の関係についての考え



- ①行政と地域住民が互いに協力して地域の課題に取り組む
- ②行政の取り組みとともに、行政の手が届かない課題は地域住民が協力して取り組む
- ③地域の福祉を充実させるのは行政の責任であって、地域住民が協力する必要はない
- ④地域住民で助け合い、それで十分でない場合に行政が支援する
- ⑤その他
- ⑥わからない
- 無回答

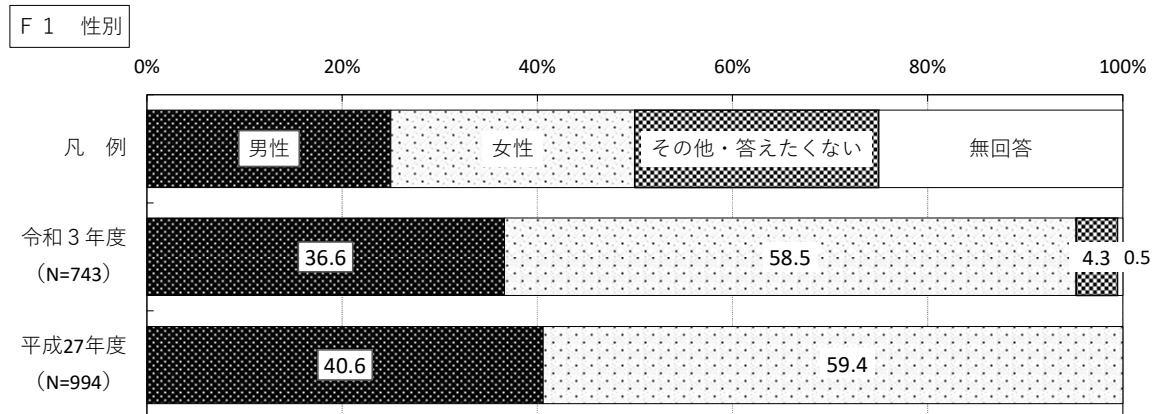
4) 調査結果の詳細

F1 あなたの性別は次のどれにあたりますか。【〇は1つ】

(※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただくなくても結構です。)

| | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他・答えたくない |
|-------|-------|---------------|

回答者の性別についてみると、「2. 女性」が6割弱(58.5%)、「1. 男性」が4割弱(36.6%)と、男性より女性が21.9ポイント多くなっている。また、4.3%の回答者は「3. その他・答えたくない」としている。



F1 性別

(単数回答)

| | | 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 ・答えたく ない | 無回答 | |
|------------------|-------|-------|-------|-----------------------|------|------|
| 上段: 件数、下段: 横% | | | | | | |
| 全 体 | | 743 | 272 | 435 | 32 | 4 |
| | | 100.0 | 36.6 | 58.5 | 4.3 | 0.5 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 97 | 137 | 5 | 1 |
| | | 100.0 | 40.4 | 57.1 | 2.1 | 0.4 |
| | 真志喜中 | 215 | 81 | 126 | 8 | 0 |
| | | 100.0 | 37.7 | 58.6 | 3.7 | 0.0 |
| | 嘉数中 | 168 | 57 | 101 | 9 | 1 |
| | | 100.0 | 33.9 | 60.1 | 5.4 | 0.6 |
| | 宜野湾中 | 109 | 35 | 67 | 7 | 0 |
| | | 100.0 | 32.1 | 61.5 | 6.4 | 0.0 |
| 無回答 | 11 | 2 | 4 | 3 | 2 | |
| | 100.0 | 18.2 | 36.4 | 27.3 | 18.2 | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 35 | 62 | 5 | 0 |
| | | 100.0 | 34.3 | 60.8 | 4.9 | 0.0 |
| | 30代 | 147 | 50 | 88 | 9 | 0 |
| | | 100.0 | 34.0 | 59.9 | 6.1 | 0.0 |
| | 40代 | 173 | 60 | 103 | 9 | 1 |
| | | 100.0 | 34.7 | 59.5 | 5.2 | 0.6 |
| | 50代 | 152 | 66 | 83 | 3 | 0 |
| | | 100.0 | 43.4 | 54.6 | 2.0 | 0.0 |
| | 60代 | 162 | 61 | 96 | 4 | 1 |
| | | 100.0 | 37.7 | 59.3 | 2.5 | 0.6 |
| | 無回答 | 7 | 0 | 3 | 2 | 2 |
| | | 100.0 | 0.0 | 42.9 | 28.6 | 28.6 |

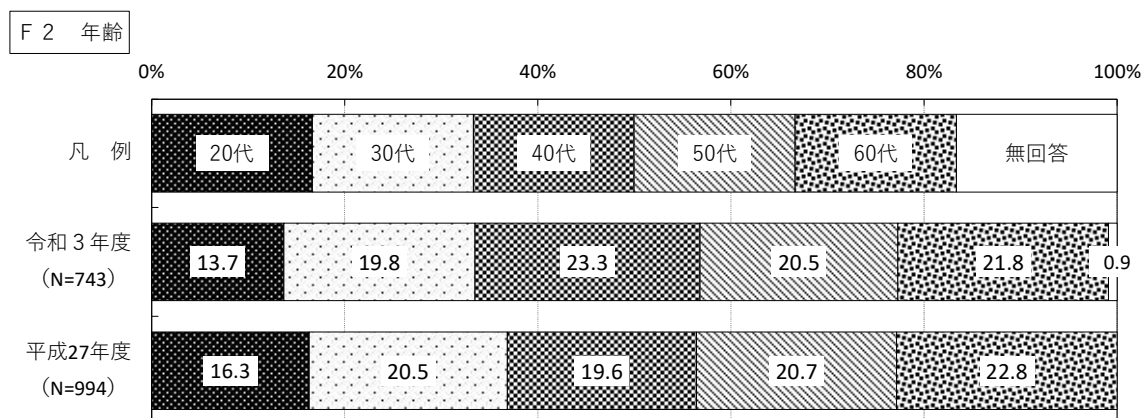
F2 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。【〇は1つ】

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 | 4. 50代 | 5. 60代 |
|--------|--------|--------|--------|--------|

回答者の年代についてみると、「3. 40代」が2割強（23.3%）で最も多く、次いで「5. 60代」（21.8%）、「4. 50代」（20.5%）と続いている。

中学校区別に回答者の年代毎の割合をみると、「1. 20代」は「嘉数中学校区」（15.5%）、「普天間中学校区」（14.2%）で多く、「2. 30代」は「宜野湾中学校区」（22.0%）、「普天間中学校区」（21.7%）が多い。「3. 40代」は「嘉数中学校区」（26.2%）、「真志喜中学校区」（23.7%）で多く、「4. 50代」は「真志喜中学校区」（25.6%）、「宜野湾中学校区」（22.9%）で多く、「5. 60代」は「嘉数中学校区」、「普天間中学校区」（22.9%）（23.8%）で多くなっている。

前回調査と比較すると、「20代」（前回調査結果 16.3%）がわずかに減少、「40代」（同 19.6%）がわずかに増加しているが、概ね同様の傾向となっている。



F2 年齢

(単数回答)

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 | 4. 50代 | 5. 60代 | 無回答 |
|------------------|------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| 全 体 | | 743 | 102 | 147 | 173 | 152 | 162 | 7 |
| | | 100.0 | 13.7 | 19.8 | 23.3 | 20.5 | 21.8 | 0.9 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 34 | 52 | 54 | 42 | 57 | 1 |
| | | 100.0 | 14.2 | 21.7 | 22.5 | 17.5 | 23.8 | 0.4 |
| | 真志喜中 | 215 | 27 | 41 | 51 | 55 | 41 | 0 |
| | | 100.0 | 12.6 | 19.1 | 23.7 | 25.6 | 19.1 | 0.0 |
| | 嘉数中 | 168 | 26 | 28 | 44 | 28 | 42 | 0 |
| | | 100.0 | 15.5 | 16.7 | 26.2 | 16.7 | 25.0 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 109 | 15 | 24 | 23 | 25 | 21 | 1 |
| | | 100.0 | 13.8 | 22.0 | 21.1 | 22.9 | 19.3 | 0.9 |
| | 無回答 | 11 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 | 5 |
| | | 100.0 | 0.0 | 18.2 | 9.1 | 18.2 | 9.1 | 45.5 |

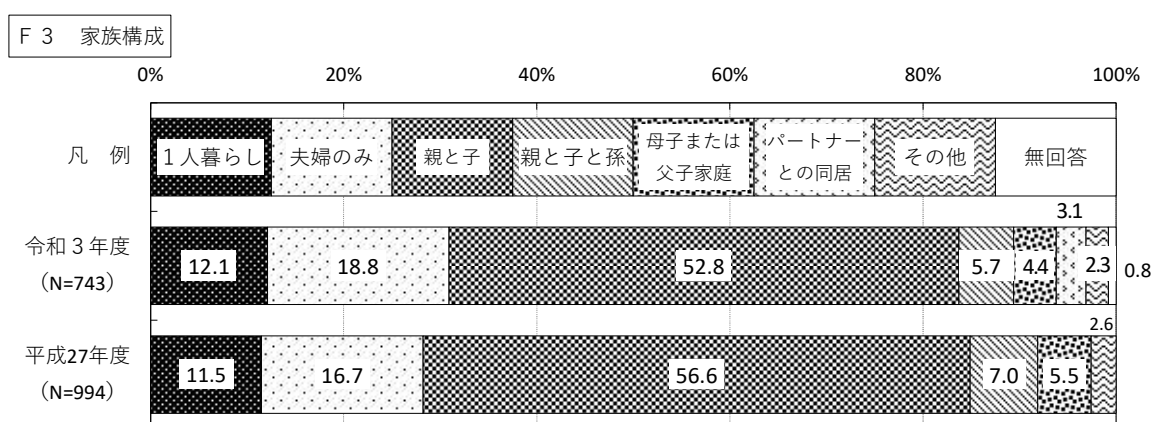
F3 あなたは、どのような家族構成で暮らしていますか。【〇は1つ】

| | | | |
|--------------|--------------|---------------|----------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 親と子 | 4. 親と子と孫 |
| 5. 母子または父子家庭 | 6. パートナーとの同居 | 7. その他〔.....〕 | |

回答者の家族構成についてみると、二世帯世帯「3. 親と子」が5割強（52.8%）で最も多く、次いで、「2. 夫婦のみ」（18.8%）、「1. 1人暮らし」（12.1%）と続いている。

中学校区別にみると、「3. 親と子」が特に多いのが「宜野湾中学校区」（62.4%）で、「2. 夫婦のみ」が多いのが「嘉数中学校区」（20.2%）、「1. 1人暮らし」は「普天間中学校区」（15.0%）で多かった。

年代別にみると、「3. 親と子」とした回答は30～50代に多く、「1. 1人暮らし」や「2. 夫婦のみ」は60代に多かった。



F3 家族構成

(単数回答)

| 上段:件数、下段:横% | | 1. 1人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 親と子 | 4. 親と子と孫 | 5. 母子または父子家庭 | 6. パートナーとの同居 | 7. その他 | 無回答 |
|-------------|------|----------|---------|--------|----------|--------------|--------------|--------|------|
| 全 体 | | 743 | 90 | 140 | 392 | 42 | 33 | 23 | 6 |
| | | 100.0 | 12.1 | 18.8 | 52.8 | 5.7 | 4.4 | 3.1 | 0.8 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 36 | 44 | 121 | 13 | 10 | 9 | 0 |
| | | 100.0 | 15.0 | 18.3 | 50.4 | 5.4 | 4.2 | 3.8 | 0.0 |
| | 真志喜中 | 215 | 31 | 42 | 111 | 10 | 11 | 6 | 3 |
| | | 100.0 | 14.4 | 19.5 | 51.6 | 4.7 | 5.1 | 2.8 | 1.4 |
| | 嘉数中 | 168 | 17 | 34 | 90 | 14 | 5 | 5 | 3 |
| | | 100.0 | 10.1 | 20.2 | 53.6 | 8.3 | 3.0 | 3.0 | 1.8 |
| | 宜野湾中 | 109 | 5 | 18 | 68 | 4 | 6 | 3 | 4 |
| | | 100.0 | 4.6 | 16.5 | 62.4 | 3.7 | 5.5 | 2.8 | 3.7 |
| | 無回答 | 11 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 9.1 | 18.2 | 18.2 | 9.1 | 9.1 | 0.0 | 36.4 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 8 | 9 | 56 | 11 | 5 | 7 | 6 |
| | | 100.0 | 7.8 | 8.8 | 54.9 | 10.8 | 4.9 | 6.9 | 5.9 |
| | 30代 | 147 | 8 | 15 | 102 | 4 | 8 | 10 | 0 |
| | | 100.0 | 5.4 | 10.2 | 69.4 | 2.7 | 5.4 | 6.8 | 0.0 |
| | 40代 | 173 | 17 | 20 | 110 | 8 | 15 | 1 | 2 |
| | | 100.0 | 9.8 | 11.6 | 63.6 | 4.6 | 8.7 | 0.6 | 1.2 |
| | 50代 | 152 | 17 | 31 | 83 | 7 | 4 | 4 | 4 |
| | | 100.0 | 11.2 | 20.4 | 54.6 | 4.6 | 2.6 | 2.6 | 2.6 |
| | 60代 | 162 | 38 | 65 | 40 | 12 | 1 | 1 | 5 |
| | | 100.0 | 23.5 | 40.1 | 24.7 | 7.4 | 0.6 | 0.6 | 3.1 |
| | 無回答 | 7 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 28.6 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 57.1 |

F4 あなた自身または同居している家族の中に、次のような方はいますか。【当てはまる全てに○】

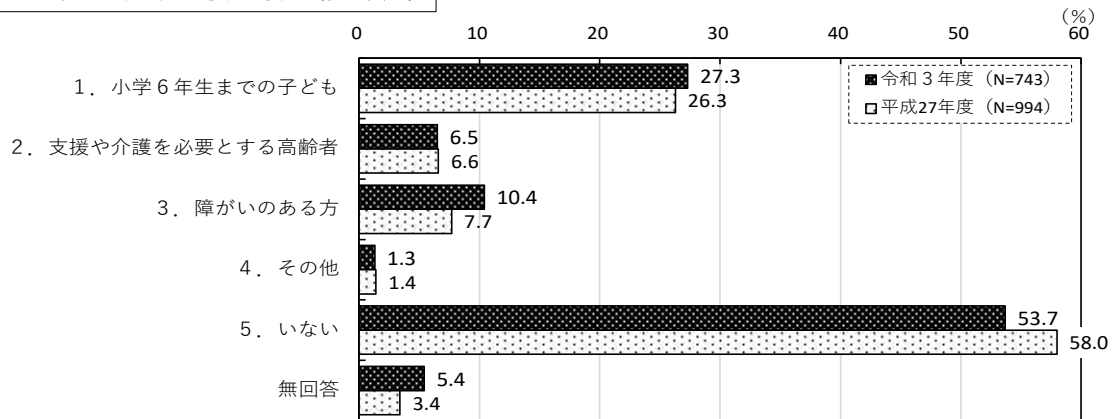
- | | | |
|----------------|-------------------|------------|
| 1. 小学6年生までの子ども | 2. 支援や介護を必要とする高齢者 | 3. 障がいのある方 |
| 4. その他〔.....〕 | 5. いない | |

家族の中の要配慮者の有無についてみると、「5. いない」が5割強（53.7%）で最も多く、次いで、「1. 小学6年生くらいまでの子ども」（27.3%）、「3. 障がいのある方」（10.4%）と続いている。

中学校区別でみると、どの地域も「5. いない」が5～6割弱程度で最も多く、次いで、「1. 小学6年生くらいまでの子ども」が2割～3割程度で、市全体の割合と同様の傾向にある。

年代別でみると、「1. 小学6年生くらいまでの子ども」については「30代」（54.4%）、「40代」（43.9%）で多く、「2. 支援や介護を必要とする高齢者」については「50代」（12.5%）で多くなっている。

F4 家族の中の要配慮者の状況（複数回答）



F4 家族の構成員の状況

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 小学6年生までの子ども | 2. 支援や介護を必要とする高齢者 | 3. 障がいのある方 | 4. その他 | 5. いない | 無回答 |
|---------|------|-------------|----------------|-------------------|------------|-----------|-------------|-----------|
| 全 体 | | 743 — | 203 27.3 | 48 6.5 | 77 10.4 | 10 1.3 | 399 53.7 | 40 5.4 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 64 | 18 | 27 | 4 | 130 | 10 |
| | | — | 26.7 | 7.5 | 11.3 | 1.7 | 54.2 | 4.2 |
| | 真志喜中 | 215 | 48 | 17 | 19 | 3 | 122 | 10 |
| | | — | 22.3 | 7.9 | 8.8 | 1.4 | 56.7 | 4.7 |
| | 嘉数中 | 168 | 54 | 8 | 17 | 2 | 85 | 11 |
| | | — | 32.1 | 4.8 | 10.1 | 1.2 | 50.6 | 6.5 |
| | 宜野湾中 | 109 | 36 | 4 | 11 | 0 | 61 | 4 |
| | | — | 33.0 | 3.7 | 10.1 | 0.0 | 56.0 | 3.7 |
| 無回答 | 11 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | |
| | — | 9.1 | 9.1 | 27.3 | 9.1 | 9.1 | 45.5 | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 22 | 7 | 9 | 1 | 64 | 2 |
| | | — | 21.6 | 6.9 | 8.8 | 1.0 | 62.7 | 2.0 |
| | 30代 | 147 | 80 | 3 | 13 | 0 | 57 | 1 |
| | | — | 54.4 | 2.0 | 8.8 | 0.0 | 38.8 | 0.7 |
| | 40代 | 173 | 76 | 5 | 19 | 1 | 80 | 5 |
| | | — | 43.9 | 2.9 | 11.0 | 0.6 | 46.2 | 2.9 |
| | 50代 | 152 | 13 | 19 | 12 | 2 | 102 | 5 |
| | | — | 8.6 | 12.5 | 7.9 | 1.3 | 67.1 | 3.3 |
| | 60代 | 162 | 12 | 14 | 23 | 6 | 95 | 22 |
| | | — | 7.4 | 8.6 | 14.2 | 3.7 | 58.6 | 13.6 |
| | 無回答 | 7 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 5 |
| | | — | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 71.4 |

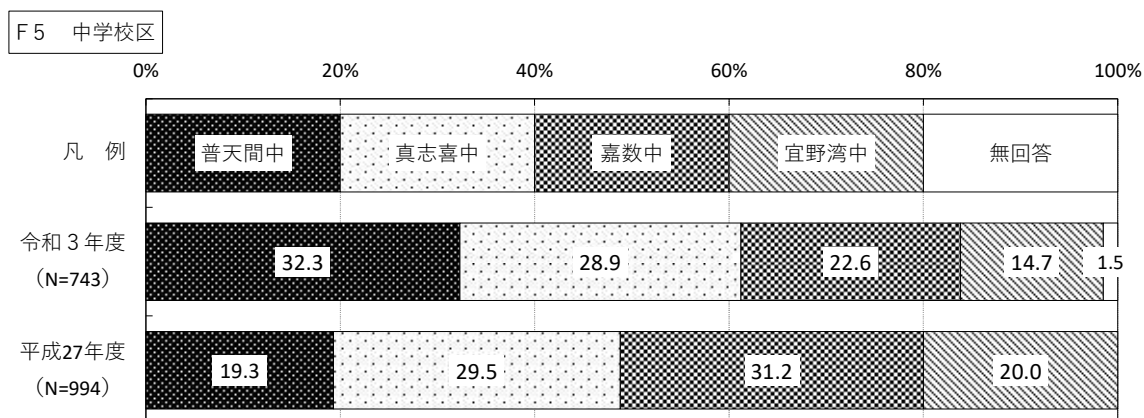
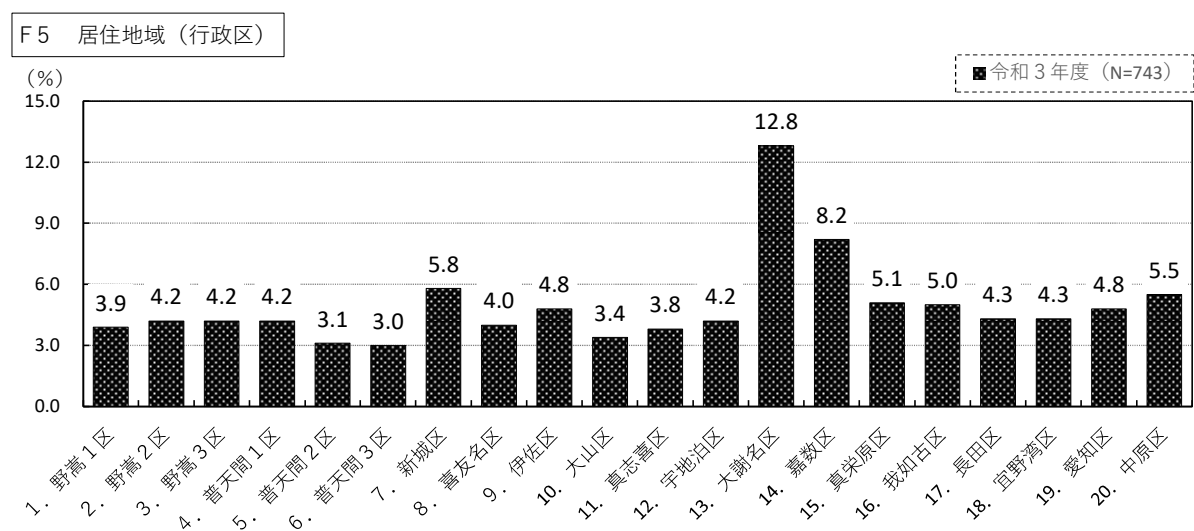
F5 あなたの住んでいる地域（行政区）は次のどれにあたりますか。該当する地域（行政区）が分からない場合は、封筒の宛名ラベルに印字されている「行政区No.」を確認し、下記に○をつけて下さい。
【○は1つ】

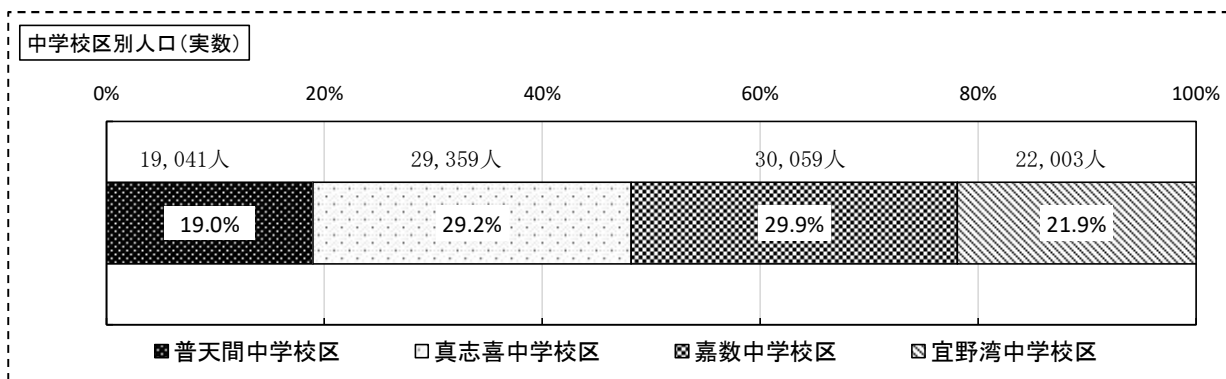
| | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1. 野嵩1区 | 2. 野嵩2区 | 3. 野嵩3区 | 4. 普天間1区 | 5. 普天間2区 |
| 6. 普天間3区 | 7. 新城区 | 8. 喜友名区 | 9. 伊佐区 | 10. 大山区 |
| 11. 真志喜区 | 12. 宇地泊区 | 13. 大謝名区 | 14. 嘉数区 | 15. 真栄原区 |
| 16. 我如古区 | 17. 長田区 | 18. 宜野湾区 | 19. 愛知区 | 20. 中原区 |

回答者の居住地域を中学校区についてみると、「普天間中学校区」が3割強（32.3%）で最も多く、次いで、「真志喜中学校区」（28.9%）、「嘉数中学校区」（22.6%）、「宜野湾中学校区」（14.7%）となっている。

なお、令和2年度宜野湾市統計調査から各中学校区の人口数をみると、最も多いのは「嘉数中学校区」で約3万人、次いで「真志喜中学校区」（約2万9千人）、「宜野湾中学校区」（約2万2千人）、「普天間中学校区」（約1万9千人）と続いている。

本来の人口バランスを鑑みると、「普天間中学校区」の回答者率32.3%は特に多いものとなっている。





<行政区と中学校区の振り分け>

| | | | | |
|---------|----------|----------|----------|----------|
| 普天間中学校区 | 1. 野嵩1区 | 2. 野嵩2区 | 3. 野嵩3区 | 4. 普天間1区 |
| | 5. 普天間2区 | 6. 普天間3区 | 7. 新城区 | 8. 喜友名区 |
| 真志喜中学校区 | 9. 伊佐区 | 10. 大山区 | 11. 真志喜区 | 12. 宇地泊区 |
| | 13. 大謝名区 | | | |
| 嘉数中学校区 | 14. 嘉数区 | 15. 真栄原区 | 16. 我如古区 | 18. 宜野湾区 |
| 宜野湾中学校区 | 17. 長田区 | 19. 愛知区 | 20. 中原区 | |

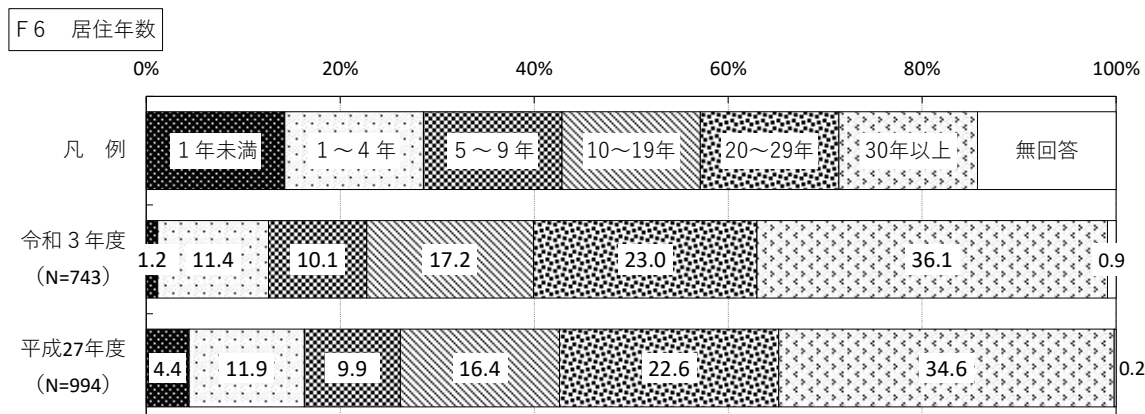
F6 あなたは、宜野湾市に住んでから通算して何年くらいになりますか。【〇は1つ】

| | | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～4年 | 3. 5～9年 | 4. 10～19年 | 5. 20～29年 | 6. 30年以上 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|----------|

回答者の本市での居住年数についてみると、「6. 30年以上」が4割弱（36.1%）で最も多く、次いで、「5. 20～29年」（23.0%）、「4. 10～19年」（17.2%）と続き、居住年数の長い方の回答率が高くなっている。

中学校区別にみると、「3. 5～9年」は「嘉数中学校区」（18.5%）で多く、「4. 10～19年」は「真志喜中学校区」（22.3%）で多い。

年代別でみると、「2. 1～4年」は「30代」（25.2%）、「20代」（21.6%）で多く、また、「5. 20～29年」は「20代」（59.8%）で多くなっている。



F6 宜野湾市への居住期間

(単数回答)

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 1年未満 | 2. 1～4年 | 3. 5～9年 | 4. 10～19年 | 5. 20～29年 | 6. 30年以上 | 無回答 |
|---------|-------|-------------|---------|---------|---------|-----------|-----------|----------|------|
| 全 体 | | 743 | 9 | 85 | 75 | 128 | 171 | 268 | 7 |
| | | 100.0 | 1.2 | 11.4 | 10.1 | 17.2 | 23.0 | 36.1 | 0.9 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 3 | 23 | 17 | 38 | 51 | 108 | 0 |
| | | 100.0 | 1.3 | 9.6 | 7.1 | 15.8 | 21.3 | 45.0 | 0.0 |
| | 真志喜中 | 215 | 4 | 30 | 20 | 48 | 47 | 65 | 1 |
| | | 100.0 | 1.9 | 14.0 | 9.3 | 22.3 | 21.9 | 30.2 | 0.5 |
| | 嘉数中 | 168 | 2 | 17 | 31 | 26 | 42 | 50 | 0 |
| | | 100.0 | 1.2 | 10.1 | 18.5 | 15.5 | 25.0 | 29.8 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 109 | 0 | 15 | 7 | 16 | 29 | 42 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 13.8 | 6.4 | 14.7 | 26.6 | 38.5 | 0.0 |
| 無回答 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 6 | |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 18.2 | 27.3 | 54.5 | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 1 | 22 | 8 | 10 | 61 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 1.0 | 21.6 | 7.8 | 9.8 | 59.8 | 0.0 | 0.0 |
| | 30代 | 147 | 4 | 37 | 24 | 24 | 19 | 38 | 1 |
| | | 100.0 | 2.7 | 25.2 | 16.3 | 16.3 | 12.9 | 25.9 | 0.7 |
| | 40代 | 173 | 1 | 8 | 22 | 58 | 23 | 61 | 0 |
| | | 100.0 | 0.6 | 4.6 | 12.7 | 33.5 | 13.3 | 35.3 | 0.0 |
| | 50代 | 152 | 3 | 10 | 12 | 24 | 39 | 64 | 0 |
| | | 100.0 | 2.0 | 6.6 | 7.9 | 15.8 | 25.7 | 42.1 | 0.0 |
| | 60代 | 162 | 0 | 8 | 9 | 12 | 29 | 103 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 4.9 | 5.6 | 7.4 | 17.9 | 63.6 | 0.6 |
| | 無回答 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 71.4 |

F7 あなたの住んでいる住宅は次のどれにあたりますか。【〇は1つ】

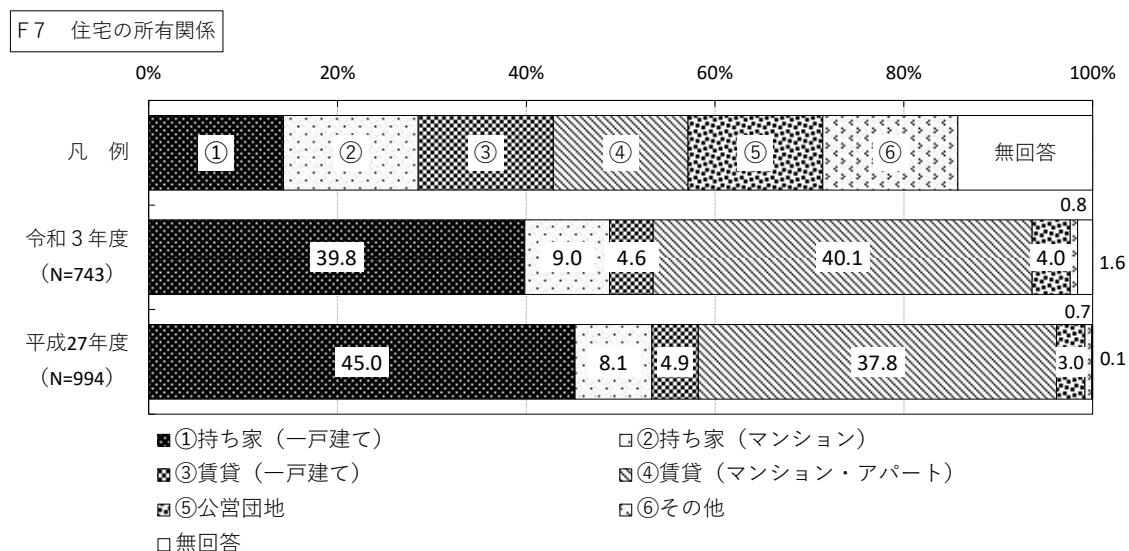
| | | |
|-------------------|---------------|---------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 2. 持ち家（マンション） | 3. 賃貸（一戸建て） |
| 4. 賃貸（マンション・アパート） | 5. 公営団地 | 6. その他〔.....〕 |

回答者の居住形態についてみると、「4. 賃貸（マンション・アパート）」が約4割（40.1％）で最も多く、次いで、「1. 持ち家（一戸建て）」（39.8％）、「2. 持ち家（マンション）」（9.0％）と続いている。

中学校区別にみると、『持ち家』（「1. 持ち家（一戸建て）」＋「2. 持ち家（マンション）」）とした回答は「嘉数中学校区」（56.6％）で多く、一方で『賃貸』（「3. 賃貸（一戸建て）」＋「4. 賃貸（マンション・アパート）」）とした回答は「普天間中学校区」（47.5％）や「真志喜中学校区」（46.0％）で多かった。

年代別でみると、『持ち家』（「1. 持ち家（一戸建て）」＋「2. 持ち家（マンション）」）とした回答は「60代」が69.8％で最も多く、次いで、「40代」（50.9％）、「50代」（48.0％）となっている。一方で、『賃貸』（「3. 賃貸（一戸建て）」＋「4. 賃貸（マンション・アパート）」）とした回答は「30代」が63.2％で最も多く、次いで「20代」（52.9％）となっている。

前回調査と比較すると、「持ち家（一戸建て）」（前回調査結果45.0％）で5.2ポイントの減少、「賃貸（マンション・アパート）」（同37.8％）で2.3ポイントの増加となっている。平成21年に実施した前々回調査においても『持ち家に住んでいる世帯が減少し賃貸住宅に住んでいる世帯が増加する』という同様の傾向が見られたことから、市全体の傾向として賃貸住宅に居住する人が増えている可能性がうかがえる。



F7 住宅の所有関係

(単数回答)

| 上段:件数、下段:横% | | 1. 持ち家 (一戸建て) | 2. 持ち家 (マンション) | 3. 賃貸 (一戸建て) | 4. 賃貸 (マンション・アパート) | 5. 公営団地 | 6. その他 | 無回答 |
|------------------|-------|------------------|-------------------|-----------------|-----------------------|---------|--------|-----|
| 全 体 | 743 | 296 | 67 | 34 | 298 | 30 | 6 | 12 |
| | 100.0 | 39.8 | 9.0 | 4.6 | 40.1 | 4.0 | 0.8 | 1.6 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 111 | 9 | 14 | 100 | 0 | 4 |
| | | 100.0 | 46.3 | 3.8 | 5.8 | 41.7 | 0.0 | 1.7 |
| | 真志喜中 | 215 | 70 | 20 | 11 | 88 | 25 | 0 |
| | | 100.0 | 32.6 | 9.3 | 5.1 | 40.9 | 11.6 | 0.0 |
| | 嘉数中 | 168 | 64 | 31 | 7 | 63 | 1 | 1 |
| | | 100.0 | 38.1 | 18.5 | 4.2 | 37.5 | 0.6 | 0.6 |
| | 宜野湾中 | 109 | 50 | 7 | 2 | 45 | 3 | 1 |
| | | 100.0 | 45.9 | 6.4 | 1.8 | 41.3 | 2.8 | 0.9 |
| | 無回答 | 11 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 18.2 | 9.1 | 0.0 |
| | 20代 | 102 | 39 | 5 | 4 | 50 | 3 | 0 |
| | | 100.0 | 38.2 | 4.9 | 3.9 | 49.0 | 2.9 | 0.0 |
| 年 齢 | 30代 | 147 | 35 | 9 | 4 | 89 | 6 | 3 |
| | | 100.0 | 23.8 | 6.1 | 2.7 | 60.5 | 4.1 | 2.0 |
| | 40代 | 173 | 69 | 19 | 11 | 66 | 6 | 1 |
| | | 100.0 | 39.9 | 11.0 | 6.4 | 38.2 | 3.5 | 0.6 |
| | 50代 | 152 | 62 | 11 | 11 | 59 | 6 | 1 |
| | | 100.0 | 40.8 | 7.2 | 7.2 | 38.8 | 3.9 | 0.7 |
| | 60代 | 162 | 90 | 23 | 4 | 34 | 8 | 1 |
| | | 100.0 | 55.6 | 14.2 | 2.5 | 21.0 | 4.9 | 0.6 |
| | 無回答 | 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |

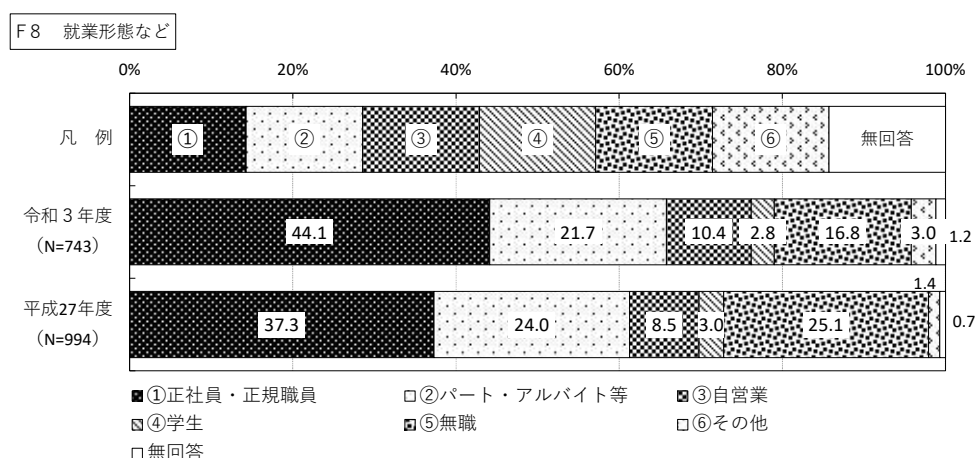
F8 あなたの就業形態などは次のどれにあたりますか。【〇は1つ】

| | | | |
|-------------|---------------|--------|-------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. パート・アルバイト等 | 3. 自営業 | 4. 学生 |
| 5. 無職 | 6. その他〔.....〕 | | |

回答者の職業についてみると、「1. 正社員・正規職員」が4割強（44.1%）で最も多く、次いで、「2. パート・アルバイト等」（21.7%）、「5. 無職」（16.8%）と続いている。

年代別でみると、「1. 正社員・正規職員」は20～50代でそれぞれ5割弱～6割弱程度となっている。一方で、「2. パート・アルバイト」の『非正規雇用』については、すべての年代でそれぞれ約2割程度の割合を示している。

前回調査と比較すると、「正社員・正規職員」（前回調査結果 37.3%）は6.8ポイントの増加、「無職」（同 25.1%）で8.3ポイントの減少となっている。



F8 就業形態等

(単数回答)

| | | 1. 正社員・正規職員 | 2. パート・アルバイト等 | 3. 自営業 | 4. 学生 | 5. 無職 | 6. その他 | 無回答 | |
|-------------|-------|-------------|---------------|--------|-------|-------|--------|-----|------|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | | | |
| 全 体 | 743 | 328 | 161 | 77 | 21 | 125 | 22 | 9 | |
| | 100.0 | 44.1 | 21.7 | 10.4 | 2.8 | 16.8 | 3.0 | 1.2 | |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 104 | 49 | 27 | 6 | 46 | 7 | 1 |
| | | 100.0 | 43.3 | 20.4 | 11.3 | 2.5 | 19.2 | 2.9 | 0.4 |
| | 真志喜中 | 215 | 94 | 55 | 26 | 8 | 27 | 3 | 2 |
| | | 100.0 | 43.7 | 25.6 | 12.1 | 3.7 | 12.6 | 1.4 | 0.9 |
| | 嘉数中 | 168 | 77 | 34 | 16 | 4 | 32 | 4 | 1 |
| | | 100.0 | 45.8 | 20.2 | 9.5 | 2.4 | 19.0 | 2.4 | 0.6 |
| | 宜野湾中 | 109 | 49 | 22 | 8 | 3 | 20 | 7 | 0 |
| | | 100.0 | 45.0 | 20.2 | 7.3 | 2.8 | 18.3 | 6.4 | 0.0 |
| | 無回答 | 11 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| | | 100.0 | 36.4 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.1 | 45.5 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 47 | 23 | 2 | 19 | 8 | 2 | 1 |
| | | 100.0 | 46.1 | 22.5 | 2.0 | 18.6 | 7.8 | 2.0 | 1.0 |
| | 30代 | 147 | 86 | 29 | 8 | 2 | 15 | 7 | 0 |
| | | 100.0 | 58.5 | 19.7 | 5.4 | 1.4 | 10.2 | 4.8 | 0.0 |
| | 40代 | 173 | 86 | 36 | 24 | 0 | 23 | 3 | 1 |
| | | 100.0 | 49.7 | 20.8 | 13.9 | 0.0 | 13.3 | 1.7 | 0.6 |
| | 50代 | 152 | 73 | 38 | 16 | 0 | 20 | 3 | 2 |
| | | 100.0 | 48.0 | 25.0 | 10.5 | 0.0 | 13.2 | 2.0 | 1.3 |
| | 60代 | 162 | 35 | 35 | 27 | 0 | 57 | 7 | 1 |
| | | 100.0 | 21.6 | 21.6 | 16.7 | 0.0 | 35.2 | 4.3 | 0.6 |
| | 無回答 | 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 |
| | | 100.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 0.0 | 57.1 |

隣近所や地域との関わりについて

問1 あなたは普段、ご近所との程度のおつきあいがありますか。【〇は1つ】

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 困りごとを相談するなど家族同様の付き合い | 2. 簡単な頼みごとをしあう付き合い |
| 3. 会えば、立ち話をする程度 | 4. あいさつをする程度 |
| 5. ほとんど付き合いはない | |

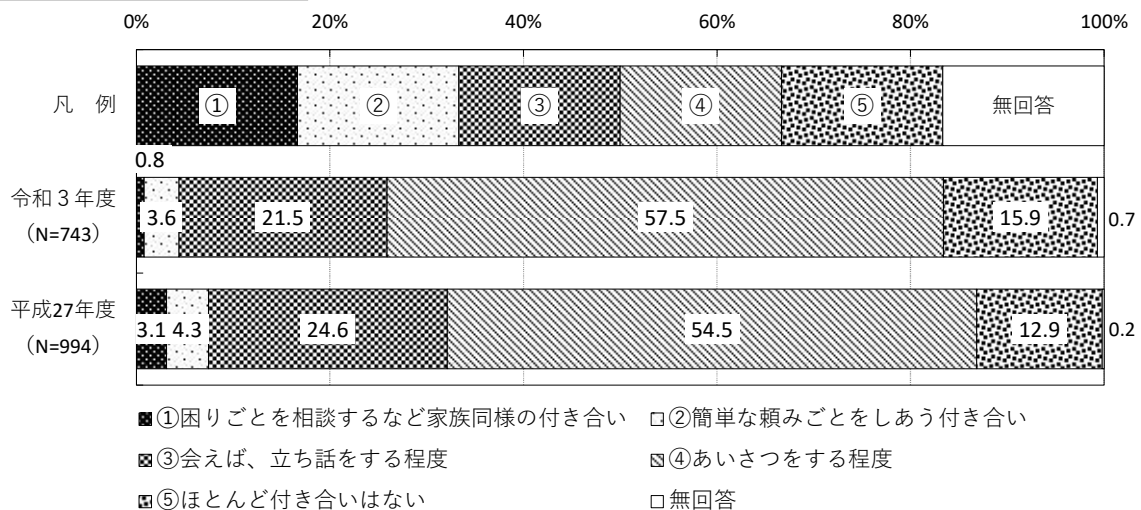
普段の近所付き合いの程度についてみると、「4. あいさつをする程度」が6割弱（57.5%）で最も多く、次いで、「3. 会えば、立ち話をする程度」（21.5%）、「5. ほとんど付き合いはない」（15.9%）と続いている。

年代別でみると、若い世代ほどご近所との関わりが薄い傾向にあり、「5. ほとんど付き合いはない」は「20代」（22.5%）、「30代」（20.4%）で多く、「4. あいさつをする程度」は30～50代で6割程度、「20代」では7割弱（67.6%）にもなる。一方で、「2. 簡単な頼みごとをしあう付き合い」は「60代」が唯一約1割（10.5%）を示した。

自治会の加入状況でみると、「加入している人」は「加入していない人」に比べご近所と立ち話程度以上の付き合いがある一方で、「加入していない人」は全くご近所との付き合いが無いか、あるいはあいさつ程度の交流しか行っていないことがうかがえる。

住まい別でみると、「4. あいさつをする程度」については「賃貸（マンション・アパート）」（64.1%）、「公営団地」（63.3%）で多く、「3. 会えば立ち話する程度」については「持ち家（マンション）」（29.9%）、「持ち家（一戸建て）」（28.4%）で多くなっている。

問1 近所との付き合いの程度



問1 近所との付き合いの程度

(単数回答)

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 困りごとを相談するなど家族同様の付き合い | 2. 簡単な頼みごとをしあう付き合い | 3. 会えば、立ち話をする程度 | 4. あいさつをする程度 | 5. ほとんど付き合いはない | 無回答 |
|---------|-------------------|--------------|-------------------------|--------------------|-----------------|--------------|----------------|----------|
| 全 体 | | 743 100.0 | 6 0.8 | 27 3.6 | 160 21.5 | 427 57.5 | 118 15.9 | 5 0.7 |
| 年 齢 | 1. 20代 | 102 | 2 | 0 | 8 | 69 | 23 | 0 |
| | | 100.0 | 2.0 | 0.0 | 7.8 | 67.6 | 22.5 | 0.0 |
| | 2. 30代 | 147 | 0 | 1 | 27 | 89 | 30 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.7 | 18.4 | 60.5 | 20.4 | 0.0 |
| | 3. 40代 | 173 | 2 | 4 | 34 | 104 | 28 | 1 |
| | | 100.0 | 1.2 | 2.3 | 19.7 | 60.1 | 16.2 | 0.6 |
| | 4. 50代 | 152.0 | 1.0 | 4.0 | 31.0 | 89.0 | 27.0 | 0.0 |
| | | 100.0 | 0.7 | 2.6 | 20.4 | 58.6 | 17.8 | 0.0 |
| | 5. 60代 | 162 | 1 | 17 | 56 | 74 | 10 | 4 |
| | | 100.0 | 0.6 | 10.5 | 34.6 | 45.7 | 6.2 | 2.5 |
| | 無回答 | 7 | 0 | 1 | 4 | 2 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 14.3 | 57.1 | 28.6 | 0.0 | 0.0 |
| 自治会加入状況 | 加入している | 276 | 5 | 20 | 89 | 135 | 23 | 4 |
| | | 100.0 | 1.8 | 7.2 | 32.2 | 48.9 | 8.3 | 1.4 |
| | 加入していない | 458 | 1 | 7 | 69 | 287 | 93 | 1 |
| | | 100.0 | 0.2 | 1.5 | 15.1 | 62.7 | 20.3 | 0.2 |
| 住宅の所有関係 | 1. 持ち家(一戸建て) | 296 | 5 | 15 | 84 | 152 | 36 | 4 |
| | | 100.0 | 1.7 | 5.1 | 28.4 | 51.4 | 12.2 | 1.4 |
| | 2. 持ち家(マンション) | 67 | 0 | 2 | 20 | 38 | 7 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 3.0 | 29.9 | 56.7 | 10.4 | 0.0 |
| | 3. 賃貸(一戸建て) | 34 | 0 | 1 | 7 | 19 | 7 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 2.9 | 20.6 | 55.9 | 20.6 | 0.0 |
| | 4. 賃貸(マンション・アパート) | 298 | 0 | 7 | 35 | 191 | 65 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 2.3 | 11.7 | 64.1 | 21.8 | 0.0 |
| | 5. 公営団地 | 30 | 1 | 0 | 7 | 19 | 2 | 1 |
| | | 100.0 | 3.3 | 0.0 | 23.3 | 63.3 | 6.7 | 3.3 |
| | 6. その他 | 6 | 0 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 16.7 | 50.0 | 16.7 | 16.7 | 0.0 |
| | 無回答 | 12 | 0 | 1 | 4 | 7 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 8.3 | 33.3 | 58.3 | 0.0 | 0.0 |

問2 宜野湾市では、人と人の輪がつながり地域が活性化するよう、平成 20 年度から地域や関係団体との連携により、あいさつや声かけを促進する「まちでニッコリ(*^-へ^*) あいさつ・声かけ運動」に取り組んでいます。あなたはこの運動をご存じですか。【〇は1つ】

1. 本運動の名称も活動内容も知っている（またはだいたい知っている）
2. 本運動の名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
3. 本運動の名称も聞いたことがない

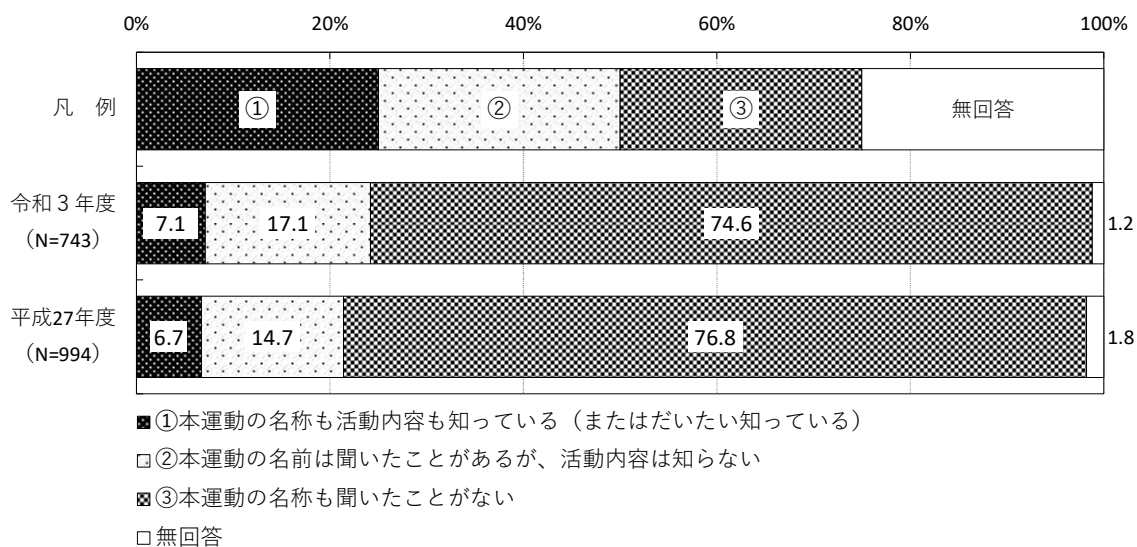
「あいさつ・声かけ運動」の認知状況についてみると、「3. 本運動の名称を聞いたことがない」が7割強(74.6%)で最も多く、次いで、「2. 本運動の名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」(17.1%)、「1. 本運動の名称も活動内容も知っている」(7.1%)となっていることから、市民の認知度が低い状況となっている。

中学校区別でみると、「1. 本運動の名称も活動内容も知っている」については「普天間中学校区」(9.2%)で最も多くなっている。一方で「3. 本運動の名称を聞いたことがない」としたのは「嘉数中学校区」(82.7%)が最も多かった。

年代別でみると、「1. 本運動の名称も活動内容も知っている」については「40代」(8.7%)、「60代」(8.6%)、「30代」(8.2%)の順で多くなっている。また、「3. 本運動の名称を聞いたことがない」については「20代」(81.4%)が最も多い。

前回調査と比較すると、僅かではあるが『知っている』（「1. 本運動の名称も活動内容も知っている（またはだいたい知っている）」＋「2. 本運動の名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」）とした回答が多くなっている。

問2 「まちでニッコリあいさつ・声かけ運動」の認知度



問2 「まちでニッコリあいさつ・声かけ運動」の認知度

(単数回答)

| | | 1. 本運動 の名称も 活動内容 も知っている | 2. 本運動 の名前は 聞いたこと があるが、 活動内容 は知らない | 3. 本運動 の名称も 聞いたこと がない | 無回答 | | |
|------------------|--------------|----------------------------------|---|--------------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | |
| 全 体 | | 743 100.0 | 53 7.1 | 127 17.1 | 554 74.6 | 9 1.2 | |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 100.0 | 22 9.2 | 49 20.4 | 166 69.2 | 3 1.3 | |
| | | 真志喜中 | 215 100.0 | 15 7.0 | 33 15.3 | 164 76.3 | 3 1.4 |
| | 嘉数中 | | 168 100.0 | 7 4.2 | 22 13.1 | 139 82.7 | 0 0.0 |
| | | 宜野湾中 | 109 100.0 | 8 7.3 | 22 20.2 | 76 69.7 | 3 2.8 |
| | 無回答 | | 11 100.0 | 1 9.1 | 1 9.1 | 9 81.8 | 0 0.0 |
| | | 年 齢 | 20代 | 102 100.0 | 3 2.9 | 15 14.7 | 83 81.4 |
| | 30代 | | | 147 100.0 | 12 8.2 | 25 17.0 | 110 74.8 |
| | | | 40代 | 173 100.0 | 15 8.7 | 35 20.2 | 122 70.5 |
| 50代 | 152 100.0 | | | 8 5.3 | 20 13.2 | 121 79.6 | 3 2.0 |
| | 60代 | | 162 100.0 | 14 8.6 | 31 19.1 | 113 69.8 | 4 2.5 |
| 無回答 | | | 7 100.0 | 1 14.3 | 1 14.3 | 5 71.4 | 0 0.0 |

問3 あなたの世帯は自治会に加入していますか。【〇は1つ】

| | |
|-----------|------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない |
|-----------|------------|

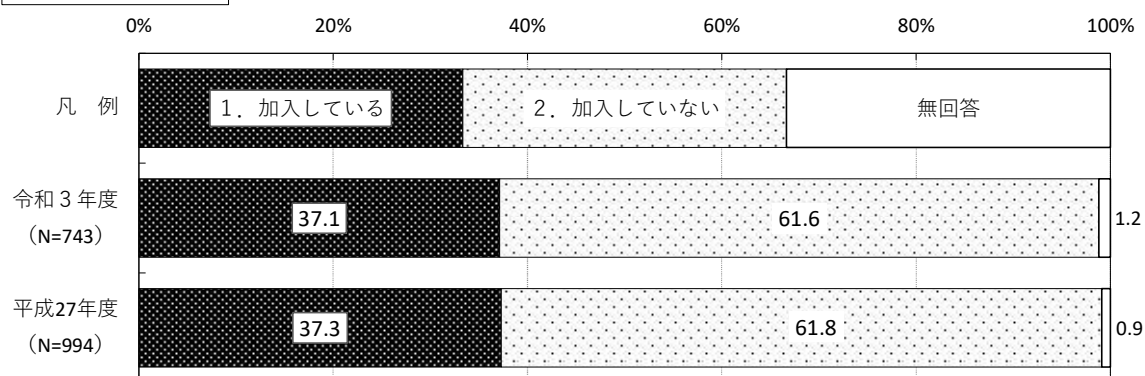
自治会への加入状況についてみると、「2. 加入していない」が6割強（61.6%）、「1. 加入している」が4割弱（37.1%）となっている。

中学校区別でみると、「1. 加入している」については「普天間中学校区」（42.9%）、「宜野湾中学校区」（42.2%）で多くなっている。

年代別でみると、「1. 加入している」については「60代」（61.1%）で多くなっている。

前回調査と比較すると、「加入している」（前回調査結果 37.3%）、「加入していない」（同 61.8%）ともに前回と殆ど差はなく、自治会加入率は概ね横ばいから微減で推移しているものと思われる。

問3 自治会加入状況



問3 自治会加入状況

(単数回答)

高松市立中央図書館
 (平成24年度)

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 加入している | 2. 加入していない | 無回答 |
|------------------|------|-------------|-----------|------------|------|
| 全 体 | | 743 | 276 | 458 | 9 |
| | | 100.0 | 37.1 | 61.6 | 1.2 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 103 | 134 | 3 |
| | | 100.0 | 42.9 | 55.8 | 1.3 |
| | 真志喜中 | 215 | 72 | 139 | 4 |
| | | 100.0 | 33.5 | 64.7 | 1.9 |
| | 嘉数中 | 168 | 50 | 118 | 0 |
| | | 100.0 | 29.8 | 70.2 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 109 | 46 | 62 | 1 |
| | | 100.0 | 42.2 | 56.9 | 0.9 |
| | 無回答 | 11 | 5 | 5 | 1 |
| | | 100.0 | 45.5 | 45.5 | 9.1 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 26 | 75 | 1 |
| | | 100.0 | 25.5 | 73.5 | 1.0 |
| | 30代 | 147 | 32 | 114 | 1 |
| | | 100.0 | 21.8 | 77.6 | 0.7 |
| | 40代 | 173 | 57 | 112 | 4 |
| | | 100.0 | 32.9 | 64.7 | 2.3 |
| | 50代 | 152 | 59 | 91 | 2 |
| | | 100.0 | 38.8 | 59.9 | 1.3 |
| | 60代 | 162 | 99 | 63 | 0 |
| | | 100.0 | 61.1 | 38.9 | 0.0 |
| | 無回答 | 7 | 3 | 3 | 1 |
| | | 100.0 | 42.9 | 42.9 | 14.3 |

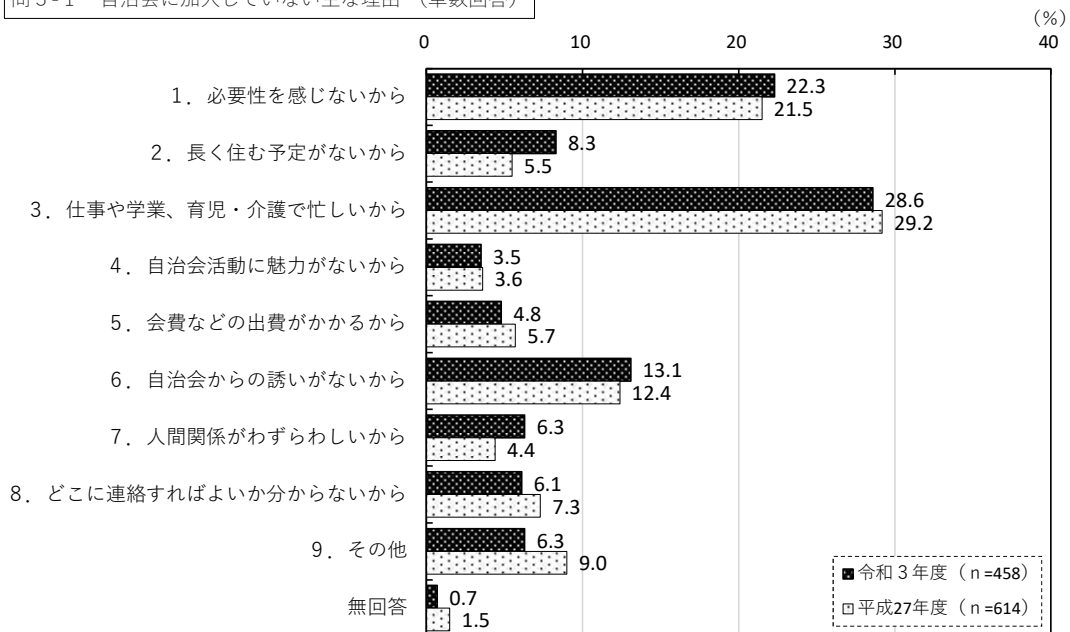
問 3-1 前問で「2. 加入していない」と回答した方にお聞きます。自治会に加入していない主な理由は何ですか。【〇は1つ】

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 必要性を感じないから | 2. 長く住む予定がないから |
| 3. 仕事や学業、育児・介護で忙しいから | 4. 自治会活動に魅力がないから |
| 5. 会費などの出費がかかるから | 6. 自治会からの誘いがないから |
| 7. 人間関係がわずらわしいから | 8. どこに連絡すればよいか分からないから |
| 9. その他〔.....〕 | |

前問で自治会に『加入していない』とした回答者に対して、自治会へ加入していない主な理由について質問したところ、「3. 仕事や学業、育児、介護で忙しいから」が3割弱(28.6%)で最も多く、次いで、「1. 必要性を感じないから」(22.3%)、「6. 自治会からの勧誘がないから」(13.1%)と続いている。また、「その他」をみると、『自治会がある事を知らなかった』や『活動内容が分からない』とする意見もみられた。

年代別でみると、「3. 仕事や学業、育児、介護で忙しいから」については「30代」(37.7%)、「20代」(33.3%)の順で多く、40～50代でも2割強～3割弱程度の回答があった。「1. 必要性を感じないから」については、20～50代間で年齢が上の世代ほど多くなっている。

問3-1 自治会に加入していない主な理由（単数回答）



【その他】自治会がある事が知らなかった（4件）/最近引っ越したばかりの為（2件）/自治会に興味が無いから（2件）/アパート住まいの為/マンション全体で加入していないようである/以前は入っていたが、アパートに移ってからは加入していない/必要以上に詮索されそうだから/自治会がないので/仕事安定せず、少額でも経済的に苦しい。子どもがいなくて他所の子どもと接したくない/賃貸の場合、加入しなくても良いと言われたことがあり、加入していない/知り合いがいらない/活動内容を知らない。知ったところで活動義務などがあつたら不安/以前は加入していたが自治会費を払うだけで特に必要性も感じず、活動にも興味が無く退会しました/親が加入してる

問3-1 自治会に加入していない主な理由

(単数回答)

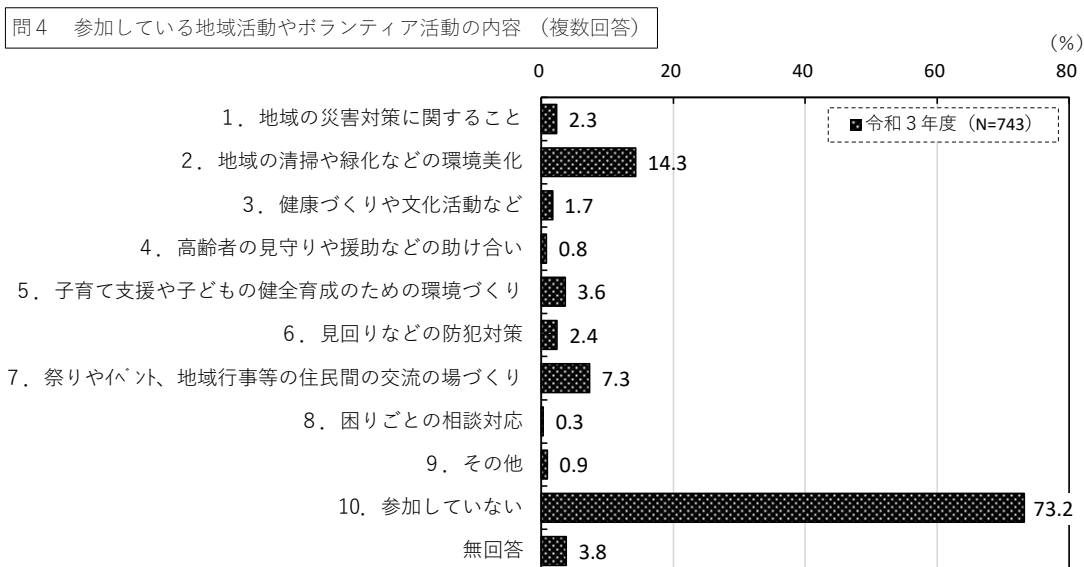
| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 必要性を感じないから | 2. 長く住む予定がないから | 3. 仕事や学業、育児・介護で忙しいから | 4. 自治会活動に魅力がないから | 5. 会費などの出費がかかるから | 6. 自治会からの誘いがいないから | 7. 人間関係がわずらわしいから | 8. どこに連絡すればよいか分からないから | 9. その他 | 無回答 |
|------------------|-------|-------------|---------------|----------------|----------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|-----------------------|--------|-----|
| 全 体 | | 458 | 102 | 38 | 131 | 16 | 22 | 60 | 29 | 28 | 29 | 3 |
| | | 100.0 | 22.3 | 8.3 | 28.6 | 3.5 | 4.8 | 13.1 | 6.3 | 6.1 | 6.3 | 0.7 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 134 | 28 | 12 | 45 | 4 | 5 | 13 | 9 | 8 | 9 | 1 |
| | | 100.0 | 20.9 | 9.0 | 33.6 | 3.0 | 3.7 | 9.7 | 6.7 | 6.0 | 6.7 | 0.7 |
| | 真志喜中 | 139 | 28 | 9 | 44 | 3 | 7 | 24 | 9 | 7 | 8 | 0 |
| | | 100.0 | 20.1 | 6.5 | 31.7 | 2.2 | 5.0 | 17.3 | 6.5 | 5.0 | 5.8 | 0.0 |
| | 嘉数中 | 118 | 27 | 13 | 24 | 8 | 5 | 14 | 10 | 7 | 8 | 2 |
| | | 100.0 | 22.9 | 11.0 | 20.3 | 6.8 | 4.2 | 11.9 | 8.5 | 5.9 | 6.8 | 1.7 |
| | 宜野湾中 | 62 | 17 | 4 | 17 | 1 | 5 | 8 | 1 | 6 | 3 | 0 |
| | | 100.0 | 27.4 | 6.5 | 27.4 | 1.6 | 8.1 | 12.9 | 1.6 | 9.7 | 4.8 | 0.0 |
| 無回答 | 5 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | |
| | 100.0 | 3.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | |
| 年 齢 | 20代 | 75 | 15 | 8 | 25 | 1 | 5 | 8 | 3 | 5 | 5 | 0 |
| | | 100.0 | 20.0 | 10.7 | 33.3 | 1.3 | 6.7 | 10.7 | 4.0 | 6.7 | 6.7 | 0.0 |
| | 30代 | 114 | 25 | 7 | 43 | 2 | 4 | 13 | 4 | 10 | 5 | 1 |
| | | 100.0 | 21.9 | 6.1 | 37.7 | 1.8 | 3.5 | 11.4 | 3.5 | 8.8 | 4.4 | 0.9 |
| | 40代 | 112 | 27 | 8 | 29 | 4 | 4 | 20 | 8 | 5 | 5 | 2 |
| | | 100.0 | 24.1 | 7.1 | 25.9 | 3.6 | 3.6 | 17.9 | 7.1 | 4.5 | 4.5 | 1.8 |
| | 50代 | 91 | 23 | 8 | 22 | 4 | 4 | 10 | 5 | 8 | 7 | 0 |
| | | 100.0 | 25.3 | 8.8 | 24.2 | 4.4 | 4.4 | 11.0 | 5.5 | 8.8 | 7.7 | 0.0 |
| | 60代 | 63 | 10 | 7 | 11 | 5 | 5 | 9 | 9 | 0 | 7 | 0 |
| | | 100.0 | 15.9 | 11.1 | 17.5 | 7.9 | 7.9 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 11.1 | 0.0 |
| | 無回答 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 66.7 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

問4 あなたは、どのような地域活動やボランティア活動に参加していますか。【当てはまる全てに○】

1. 地域の災害対策に関すること 2. 地域の清掃や緑化などの環境美化 3. 健康づくりや文化活動など
 4. 高齢者の見守りや援助などの助け合い 5. 子育て支援や子どもの健全育成のための環境づくり
 6. 見回りなどの防犯対策 7. 祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり
 8. 困りごとの相談対応 9. その他〔 〕 10. 参加していない

回答者の地域活動やボランティア活動の参加状況についてみると、「10. 参加していない」が7割強（73.2%）で最も多く、次いで、「2. 地域の清掃や緑化などの環境美化」（14.3%）、
 「7. 祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり」（7.3%）と続いている。

年代別でみると、「2. 地域の清掃や緑化などの環境美化」は「60代」（23.5%）が多い。一方で、「10. 参加していない」とする回答は「20代」（80.4%）、「30代」（76.9%）で多くなっている。



【その他】寄付支援（2件）/スポーツ指導/ミニデイボランティア/自治会費徴収程度/子ども会/一度避難訓練に参加したが、誰も声を掛けてくれなかった

問4 参加している地域活動やボランティア活動の内容

(複数回答)

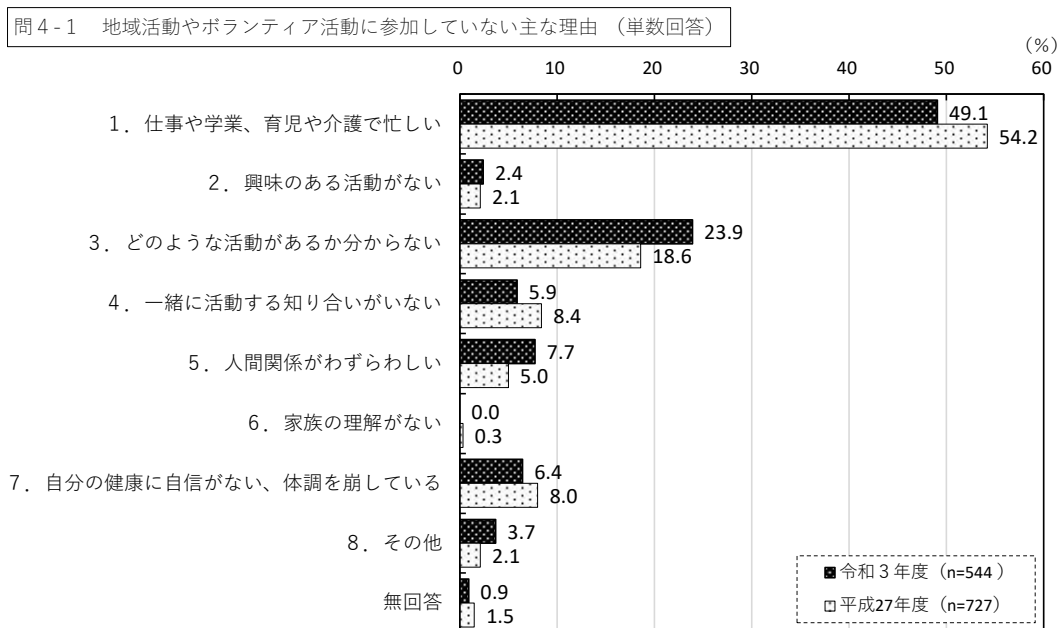
| 同4 参加している地域活動やボランティア活動の内容 | | 複数回答 | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|------------------|--------------------|-----------------|----------------------|----------------------------|---------------|------------------------------|--------------|--------|-------------|-----|----|
| 上段:件数、下段:横% | | 1. 地域の災害対策に関すること | 2. 地域の清掃や緑化などの環境美化 | 3. 健康づくりや文化活動など | 4. 高齢者の見守りや援助などの助け合い | 5. 子育て支援や子どもの健全育成のための環境づくり | 6. 見回りなどの防犯対策 | 7. 祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり | 8. 困りごとの相談対応 | 9. その他 | 10. 参加していない | 無回答 | |
| 全 体 | 743 | 17 | 106 | 13 | 6 | 27 | 18 | 54 | 2 | 7 | 544 | 28 | |
| | - | 2.3 | 14.3 | 1.7 | 0.8 | 3.6 | 2.4 | 7.3 | 0.3 | 0.9 | 73.2 | 3.8 | |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 6 | 39 | 6 | 1 | 6 | 5 | 21 | 1 | 3 | 176 | 5 |
| | - | 2.5 | 16.3 | 2.5 | 0.4 | 2.5 | 2.1 | 8.8 | 0.4 | 1.3 | 73.3 | 2.1 | |
| | 真志喜中 | 215 | 8 | 22 | 1 | 3 | 8 | 6 | 15 | 0 | 4 | 159 | 11 |
| | - | 3.7 | 10.2 | 0.5 | 1.4 | 3.7 | 2.8 | 7.0 | 0.0 | 1.9 | 74.0 | 5.1 | |
| | 嘉数中 | 168 | 3 | 18 | 3 | 1 | 8 | 3 | 9 | 1 | 0 | 126 | 10 |
| | - | 1.8 | 10.7 | 1.8 | 0.6 | 4.8 | 1.8 | 5.4 | 0.6 | 0.0 | 75.0 | 6.0 | |
| | 宜野湾中 | 109 | 0 | 24 | 3 | 0 | 5 | 3 | 8 | 0 | 0 | 76 | 2 |
| | - | 0.0 | 22.0 | 2.8 | 0.0 | 4.6 | 2.8 | 7.3 | 0.0 | 0.0 | 69.7 | 1.8 | |
| 無回答 | 11 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 7 | 0 | |
| | - | 0.0 | 27.3 | 0.0 | 9.1 | 0.0 | 9.1 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 63.6 | 0.0 | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 2 | 10 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 82 | 5 |
| | - | 2.0 | 9.8 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 1.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 80.4 | 4.9 | |
| | 30代 | 147 | 2 | 16 | 2 | 2 | 9 | 0 | 11 | 1 | 0 | 113 | 6 |
| | - | 1.4 | 10.9 | 1.4 | 1.4 | 6.1 | 0.0 | 7.5 | 0.7 | 0.0 | 76.9 | 4.1 | |
| | 40代 | 173 | 4 | 23 | 3 | 1 | 9 | 6 | 11 | 0 | 0 | 128 | 6 |
| | - | 2.3 | 13.3 | 1.7 | 0.6 | 5.2 | 3.5 | 6.4 | 0.0 | 0.0 | 74.0 | 3.5 | |
| | 50代 | 152 | 3 | 17 | 2 | 1 | 5 | 4 | 12 | 1 | 1 | 115 | 6 |
| | - | 2.0 | 11.2 | 1.3 | 0.7 | 3.3 | 2.6 | 7.9 | 0.7 | 0.7 | 75.7 | 3.9 | |
| | 60代 | 162 | 6 | 38 | 5 | 2 | 3 | 7 | 17 | 0 | 6 | 102 | 5 |
| | - | 3.7 | 23.5 | 3.1 | 1.2 | 1.9 | 4.3 | 10.5 | 0.0 | 3.7 | 63.0 | 3.1 | |
| | 無回答 | 7 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| | - | 0.0 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 57.1 | 0.0 | |

問4-1 前問で「10. 参加していない」と回答した方にお聞きます。地域活動やボランティア活動に参加していない主な理由は何ですか。【〇は1つ】

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 仕事や学業、育児や介護で忙しい（時間に余裕がない） | 2. 興味のある活動がない |
| 3. どのような活動があるかわからない（情報が入ってこない） | 4. 一緒に活動する知り合いがいない |
| 5. 人間関係がわずらわしい | 6. 家族の理解がない |
| 7. 自分の健康に自信がない、体調を崩している | 8. その他〔.....〕 |

前問で地域活動やボランティア活動に『参加していない』と回答した方について、参加していない理由をみると、「1. 仕事や学業、育児や介護で忙しい」が約5割（49.1%）で最も多く、次いで、「3. どのような活動があるかわからない」（23.9%）、「5. 人間関係がわずらわしい」（7.7%）と続いている。

年代別でみると、「1. 仕事や学業、育児や介護で忙しい」については20～50代でいずれも5割程度と多く、「3. どのような活動があるかわからない（情報が入ってこない）」では20～30代でそれぞれ約3割程度と多い。若い世代ほど時間に余裕がなく、加えて地域活動に関する情報が入ってこない状況がうかがえる。



【その他】言葉の壁がある/気がのらない/存在自体を知らなかった/気持ちの余裕が無い/病気療養中のため/会社、組合活動を通して参加している/特にきっかけがない

問4-1 地域活動やボランティア活動に参加していない主な理由 × F5 中学校区+F2 年齢 (単数回答)

| | | 1. 仕事や 学業、育児 や介護で 忙しい(時 間に余裕 がない) | 2. 興味 ある活動 がない | 3. どのよ うな活動が あるか分 からない (情報が 入ってこ ない) | 4. 一緒 に活動する 知り合い がない | 5. 人間 関係が わずら わしい | 6. 家族 の理解 がない | 7. 自分 の健康 に自信 がない、 体調を 崩して いる | 8. その他 | 無回答 |
|------------------|-------|--|----------------------|--|-------------------------------|----------------------------|---------------------|---|--------|-----|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 544 | 267 | 13 | 130 | 32 | 42 | 0 | 35 | 20 | 5 |
| | 100.0 | 49.1 | 2.4 | 23.9 | 5.9 | 7.7 | 0.0 | 6.4 | 3.7 | 0.9 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 176 | 87 | 2 | 40 | 14 | 15 | 0 | 12 | 6 |
| | | 100.0 | 49.4 | 1.1 | 22.7 | 8.0 | 8.5 | 0.0 | 6.8 | 3.4 |
| | 真志喜中 | 159 | 84 | 3 | 42 | 9 | 9 | 0 | 8 | 2 |
| | | 100.0 | 52.8 | 1.9 | 26.4 | 5.7 | 5.7 | 0.0 | 5.0 | 1.3 |
| | 嘉数中 | 126 | 59 | 3 | 28 | 7 | 14 | 0 | 8 | 7 |
| | | 100.0 | 46.8 | 2.4 | 22.2 | 5.6 | 11.1 | 0.0 | 6.3 | 5.6 |
| | 宜野湾中 | 76 | 34 | 5 | 19 | 2 | 3 | 0 | 5 | 5 |
| | | 100.0 | 44.7 | 6.6 | 25.0 | 2.6 | 3.9 | 0.0 | 6.6 | 6.6 |
| | 無回答 | 7 | 3 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 42.9 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 28.6 | 0.0 |
| 年 齢 | 20代 | 82 | 45 | 2 | 25 | 3 | 1 | 0 | 0 | 6 |
| | | 100.0 | 54.9 | 2.4 | 30.5 | 3.7 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 7.3 |
| | 30代 | 113 | 54 | 2 | 34 | 8 | 4 | 0 | 4 | 6 |
| | | 100.0 | 47.8 | 1.8 | 30.1 | 7.1 | 3.5 | 0.0 | 3.5 | 5.3 |
| | 40代 | 128 | 67 | 4 | 28 | 4 | 15 | 0 | 7 | 1 |
| | | 100.0 | 52.3 | 3.1 | 21.9 | 3.1 | 11.7 | 0.0 | 5.5 | 0.8 |
| | 50代 | 115 | 61 | 4 | 25 | 10 | 8 | 0 | 5 | 1 |
| | | 100.0 | 53.0 | 3.5 | 21.7 | 8.7 | 7.0 | 0.0 | 4.3 | 0.9 |
| | 60代 | 102 | 38 | 1 | 18 | 7 | 13 | 0 | 18 | 6 |
| | | 100.0 | 37.3 | 1.0 | 17.6 | 6.9 | 12.7 | 0.0 | 17.6 | 5.9 |
| | 無回答 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 |

問5 どうすれば地域活動やボランティアに参加しやすくなったり、活性化したりと思いますか。

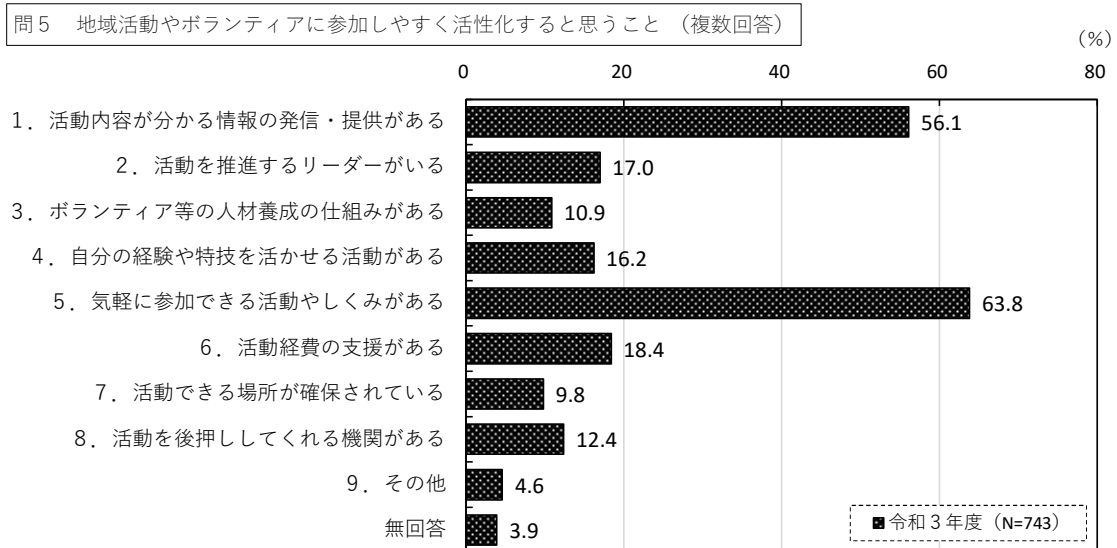
【〇は3つまで】

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 活動内容が分かる情報の発信・提供がある | 2. 活動を推進するリーダーがいる |
| 3. ボランティア等の人材養成の仕組みがある | 4. 自分の経験や特技を活かせる活動がある |
| 5. 気軽に参加できる活動やしぐみがある | 6. 活動経費の支援がある |
| 7. 活動できる場所が確保されている | 8. 活動を後押ししてくれる機関がある |
| 9. その他 [.....] | |

こういった状況であれば地域活動やボランティア活動に参加しやすいかを尋ねたところ、「5. 気軽に参加できる活動やしぐみがある」が6割強（63.8%）で最も多く、次いで、「1. 活動内容が分かる情報の発信・提供がある」（56.1%）と続いている。

年代別でみると、「5. 気軽に参加できる活動やしぐみがある」は「40代」（69.9%）、「20代」（66.7%）の順に多い。「1. 活動内容が分かる情報の発信・提供がある」は20～50代でそれぞれ6割程度と多くなっている。

前問でも『時間に余裕がなく、地域活動に関する情報を得られていない若い世代が多い』という傾向がうかがえたが、その課題に対し『地域活動の情報を得られる手段と、気軽に参加できる仕組み』を求めている人が多いものと思われる。



【その他】活動する事にメリットがある（2件）/インセンティブをつける。（表彰、割引、優先など）/時間にゆとりがない/少し自分に余裕ができた時/公民館や公園を利用したイベント、活動を多くする/他の地域から来た人にも溶け込める雰囲気があればよい/地域内に不審者が多いので参加したくない/ボランティアは時間やお金が無くなかなかできない/SNS等で情報発信/自分自身の生活に精一杯で余裕がない/病気の完治/国を変えて/精神的、経済的余裕がない/参加する理由がわからない/職場の地域でのボランティアなどに駆り出され時間がない/自治会は昔からの地元の人が多いので、後から引越して来た人は参加しづらい。今の時代が隣近所との繋がりをなくしているから難しい/職場での地域のボランティアなどに駆り出され時間がない/少し自分に余裕ができた時/活動のある特定の日にではなく、いつでもどこでも参加できるメニューを示して、それをやっても良いとしてみてはどうか/活動経費のすべての透明化/新しい人が入っても溶け込みやすい雰囲気/外国語にも対応してほしい/仕事の時間が短くなれば/ひとりで居ることが好き/参加したくない/一人ひとりがボランティアをしなければ恥と思うようになれば活性化するという/活動に参加出来なくても批判されない/仕事にさく時間が減れば/休日が多くなる。所属している職場や自治会などが活動していれば/ポイントやクーポンが貰えるなど、ちょっとしたお得感

問5 地域活動やボランティアに参加しやすく活性化と思うこと

(複数回答)

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 活動内容が分かる情報の発信・提供がある | 2. 活動を推進するリーダーがいる | 3. ボランティア等の人材養成の仕組みがある | 4. 自分の経験や特技を活かせる活動がある | 5. 気軽に参加できる活動やしくみがある | 6. 活動経費の支援がある | 7. 活動できる場所が確保されている | 8. 活動を後押ししてくれる機関がある | 9. その他 | 無回答 |
|------------------|------|-------------|------------------------|-------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|---------------|--------------------|---------------------|--------|------|
| 全 体 | | 743 | 417 | 126 | 81 | 120 | 474 | 137 | 73 | 92 | 34 | 29 |
| | | － | 56.1 | 17.0 | 10.9 | 16.2 | 63.8 | 18.4 | 9.8 | 12.4 | 4.6 | 3.9 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 127 | 50 | 29 | 35 | 144 | 42 | 19 | 24 | 14 | 9 |
| | | － | 52.9 | 20.8 | 12.1 | 14.6 | 60.0 | 17.5 | 7.9 | 10.0 | 5.8 | 3.8 |
| | 真志喜中 | 215 | 118 | 32 | 22 | 45 | 139 | 32 | 23 | 29 | 8 | 7 |
| | | － | 54.9 | 14.9 | 10.2 | 20.9 | 64.7 | 14.9 | 10.7 | 13.5 | 3.7 | 3.3 |
| | 嘉数中 | 168 | 110 | 25 | 15 | 24 | 121 | 29 | 20 | 23 | 9 | 3 |
| | | － | 65.5 | 14.9 | 8.9 | 14.3 | 72.0 | 17.3 | 11.9 | 13.7 | 5.4 | 1.8 |
| | 宜野湾中 | 109 | 58 | 18 | 14 | 14 | 67 | 31 | 10 | 15 | 3 | 7 |
| | | － | 53.2 | 16.5 | 12.8 | 12.8 | 61.5 | 28.4 | 9.2 | 13.8 | 2.8 | 6.4 |
| 無回答 | 11 | 4 | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 | 0 | 3 | |
| | － | 36.4 | 9.1 | 9.1 | 18.2 | 27.3 | 27.3 | 9.1 | 9.1 | 0.0 | 27.3 | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 63 | 11 | 9 | 14 | 68 | 21 | 6 | 13 | 3 | 1 |
| | | － | 61.8 | 10.8 | 8.8 | 13.7 | 66.7 | 20.6 | 5.9 | 12.7 | 2.9 | 1.0 |
| | 30代 | 147 | 90 | 23 | 10 | 22 | 95 | 32 | 15 | 19 | 6 | 2 |
| | | － | 61.2 | 15.6 | 6.8 | 15.0 | 64.6 | 21.8 | 10.2 | 12.9 | 4.1 | 1.4 |
| | 40代 | 173 | 98 | 29 | 20 | 28 | 121 | 31 | 13 | 24 | 7 | 5 |
| | | － | 56.6 | 16.8 | 11.6 | 16.2 | 69.9 | 17.9 | 7.5 | 13.9 | 4.0 | 2.9 |
| | 50代 | 152 | 86 | 28 | 26 | 29 | 97 | 27 | 14 | 17 | 10 | 3 |
| | | － | 56.6 | 18.4 | 17.1 | 19.1 | 63.8 | 17.8 | 9.2 | 11.2 | 6.6 | 2.0 |
| | 60代 | 162 | 79 | 35 | 16 | 26 | 90 | 24 | 25 | 18 | 8 | 16 |
| | | － | 48.8 | 21.6 | 9.9 | 16.0 | 55.6 | 14.8 | 15.4 | 11.1 | 4.9 | 9.9 |
| | 無回答 | 7 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| | | － | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 42.9 | 28.6 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 28.6 |

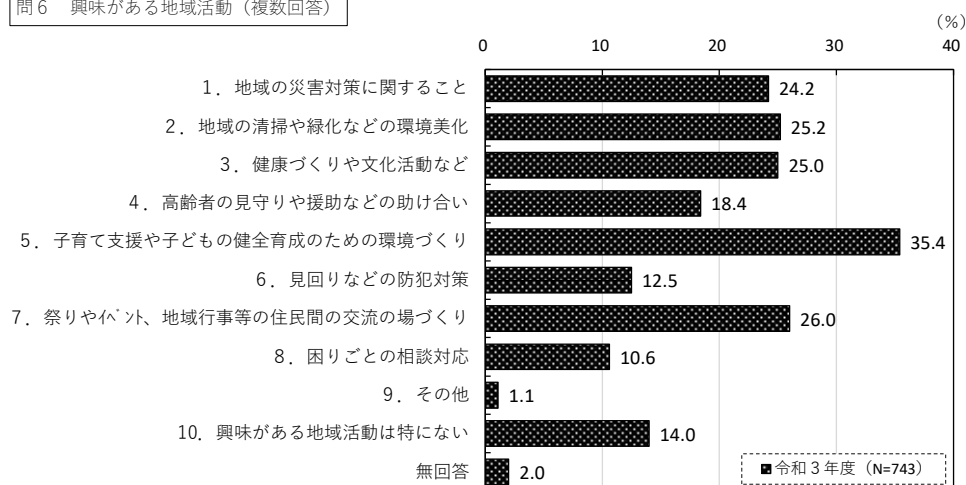
問6 あなたは、どのような地域活動に興味がありますか。【〇は3つまで】

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 地域の災害対策に関すること | 2. 地域の清掃や緑化などの環境美化 |
| 3. 健康づくりや文化活動など | 4. 高齢者の見守りや援助などの助け合い |
| 5. 子育て支援や子どもの健全育成のための環境づくり | 6. 見回りなどの防犯対策 |
| 7. 祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり | 8. 困りごとの相談対応 |
| 9. その他〔.....〕 | 10. 興味がある地域活動は特になし |

どういった地域活動に興味があるかを尋ねたところ、「5. 子育て支援や子どもの健全育成のための環境づくり」が4割弱（35.4%）で最も多く、次いで「7. 祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり」（26.0%）、「2. 地域の清掃や緑化などの環境美化」（25.2%）、「3. 健康づくりや文化活動など」（25.0%）と続いている。

年代別にみると、「2. 地域の清掃や緑化などの環境美化」は「60代」（31.5%）で多く、「4. 高齢者の見守りや援助などの助け合い」は「50代」（26.3%）、「60代」（21.0%）が多かった。また、「5. 子育て支援や子どもの健全育成のための環境づくり」については、ちょうど子育て世代に当たる20～30代に多い傾向があり、どちらも5割程度となっている。「7. 祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり」も若い世代ほど興味があり、「20代」（40.2%）、「30代」（38.1%）と多かった。

問6 興味がある地域活動（複数回答）



【その他】障がい者支援/SNS 等による情報発信/ビーチクリーン/労働関係の相談など/色々な媒体を使った情報発信

問6 興味がある地域活動

(複数回答)

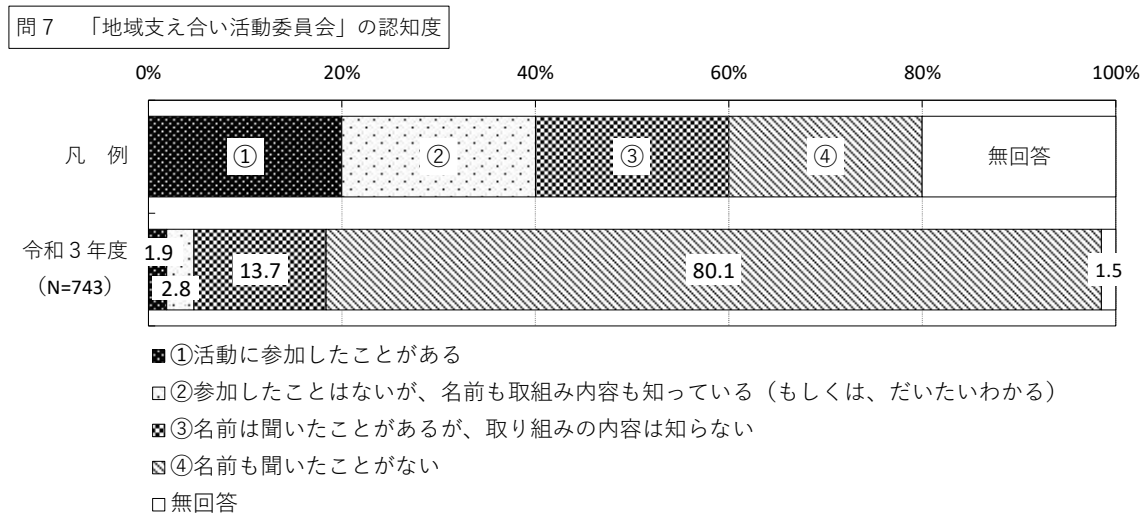
| | | 1. 地域の災害対策に関すること | 2. 地域の清掃や緑化などの環境美化 | 3. 健康づくりや文化活動など | 4. 高齢者の見守りや援助などの助け合い | 5. 子育て支援や子どもの健全育成のための環境づくり | 6. 見回りなどの防犯対策 | 7. 祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり | 8. 困りごとの相談対応 | 9. その他 | 10. 興味がある地域活動は特にない | 無回答 | |
|-------------|------|------------------|--------------------|-----------------|----------------------|----------------------------|---------------|------------------------------|--------------|--------|--------------------|------|------|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 743 | 180 | 187 | 186 | 137 | 263 | 93 | 193 | 79 | 8 | 104 | 15 | |
| | － | 24.2 | 25.2 | 25.0 | 18.4 | 35.4 | 12.5 | 26.0 | 10.6 | 1.1 | 14.0 | 2.0 | |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 68 | 58 | 51 | 44 | 77 | 33 | 63 | 24 | 4 | 31 | 7 |
| | | － | 28.3 | 24.2 | 21.3 | 18.3 | 32.1 | 13.8 | 26.3 | 10.0 | 1.7 | 12.9 | 2.9 |
| | 真志喜中 | 215 | 54 | 47 | 55 | 40 | 78 | 22 | 62 | 24 | 2 | 34 | 3 |
| | | － | 25.1 | 21.9 | 25.6 | 18.6 | 36.3 | 10.2 | 28.8 | 11.2 | 0.9 | 15.8 | 1.4 |
| | 嘉数中 | 168 | 34 | 51 | 46 | 32 | 60 | 26 | 38 | 17 | 1 | 19 | 3 |
| | | － | 20.2 | 30.4 | 27.4 | 19.0 | 35.7 | 15.5 | 22.6 | 10.1 | 0.6 | 11.3 | 1.8 |
| | 宜野湾中 | 109 | 23 | 28 | 31 | 19 | 44 | 11 | 28 | 13 | 1 | 18 | 1 |
| | | － | 21.1 | 25.7 | 28.4 | 17.4 | 40.4 | 10.1 | 25.7 | 11.9 | 0.9 | 16.5 | 0.9 |
| | 無回答 | 11 | 1 | 3 | 3 | 2 | 4 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 |
| | | － | 9.1 | 27.3 | 27.3 | 18.2 | 36.4 | 9.1 | 18.2 | 9.1 | 0.0 | 18.2 | 9.1 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 17 | 27 | 23 | 13 | 46 | 9 | 41 | 13 | 0 | 13 | 1 |
| | | － | 16.7 | 26.5 | 22.5 | 12.7 | 45.1 | 8.8 | 40.2 | 12.7 | 0.0 | 12.7 | 1.0 |
| | 30代 | 147 | 36 | 37 | 29 | 18 | 80 | 22 | 56 | 13 | 2 | 12 | 0 |
| | | － | 24.5 | 25.2 | 19.7 | 12.2 | 54.4 | 15.0 | 38.1 | 8.8 | 1.4 | 8.2 | 0.0 |
| | 40代 | 173 | 51 | 41 | 36 | 31 | 68 | 30 | 32 | 16 | 2 | 21 | 2 |
| | | － | 29.5 | 23.7 | 20.8 | 17.9 | 39.3 | 17.3 | 18.5 | 9.2 | 1.2 | 12.1 | 1.2 |
| | 50代 | 152 | 42 | 31 | 39 | 40 | 42 | 13 | 31 | 19 | 2 | 28 | 2 |
| | | － | 27.6 | 20.4 | 25.7 | 26.3 | 27.6 | 8.6 | 20.4 | 12.5 | 1.3 | 18.4 | 1.3 |
| | 60代 | 162 | 33 | 51 | 57 | 34 | 26 | 19 | 33 | 16 | 2 | 29 | 9 |
| | | － | 20.4 | 31.5 | 35.2 | 21.0 | 16.0 | 11.7 | 20.4 | 9.9 | 1.2 | 17.9 | 5.6 |
| | 無回答 | 7 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| | | － | 14.3 | 0.0 | 28.6 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 0.0 | 14.3 | 14.3 |

問7 あなたは、地域課題の解決に向けて住民主体の取組みを行っている「地域支え合い活動委員会」をご存じですか。【〇は1つ】

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 活動に参加したことがある | 2. 参加したことはないが、名前も取組み内容も知っている（もしくは、だいたいわかる） |
| 3. 名前は聞いたことがあるが、取組みの内容は知らない | 4. 名前も聞いたことがない |

「地域支え合い活動委員会」の認知度を尋ねたところ、「4. 名前も聞いたことがない」が約8割（80.1%）で最も多く、次いで、「3. 名前は聞いたことがあるが、取組みの内容は知らない」（13.7%）と続いている。

年代別にみると、「4. 名前も聞いたことがない」は20～40代でそれぞれ8割強～9割弱程度と多くなっている。また「3. 名前は聞いたことがあるが、取組みの内容は知らない」とした回答者も「60代」（18.5%）や「50代」（16.4%）といった年齢が上の世代ではどちらも2割弱程度となっているが、全体的に取組みへの認知度が低い状況がうかがえる。



問7 「地域支え合い活動委員会」の認知度

(単数回答)

| | | 上段: 件数、下段: 横% | 1. 活動に参加したことがある | 2. 参加したことはないが、名前も取組み内容も知っている | 3. 名前は聞いたことがあるが、取組みの内容は知らない | 4. 名前も聞いたことがない | 無回答 |
|------------------|------|---------------|-----------------|------------------------------|-----------------------------|----------------|-----|
| 全 体 | | 743 | 14 | 21 | 102 | 595 | 11 |
| | | 100.0 | 1.9 | 2.8 | 13.7 | 80.1 | 1.5 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 3 | 9 | 39 | 184 | 5 |
| | | 100.0 | 1.3 | 3.8 | 16.3 | 76.7 | 2.1 |
| | 真志喜中 | 215 | 6 | 7 | 23 | 177 | 2 |
| | | 100.0 | 2.8 | 3.3 | 10.7 | 82.3 | 0.9 |
| | 嘉数中 | 168 | 2 | 4 | 25 | 135 | 2 |
| | | 100.0 | 1.2 | 2.4 | 14.9 | 80.4 | 1.2 |
| | 宜野湾中 | 109 | 3 | 1 | 14 | 89 | 2 |
| | | 100.0 | 2.8 | 0.9 | 12.8 | 81.7 | 1.8 |
| | 無回答 | 11 | 0 | 0 | 1 | 10 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 9.1 | 90.9 | 0.0 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 0 | 0 | 11 | 89 | 2 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 10.8 | 87.3 | 2.0 |
| | 30代 | 147 | 2 | 0 | 18 | 127 | 0 |
| | | 100.0 | 1.4 | 0.0 | 12.2 | 86.4 | 0.0 |
| | 40代 | 173 | 3 | 6 | 17 | 145 | 2 |
| | | 100.0 | 1.7 | 3.5 | 9.8 | 83.8 | 1.2 |
| | 50代 | 152 | 0 | 6 | 25 | 118 | 3 |
| | | 100.0 | 0.0 | 3.9 | 16.4 | 77.6 | 2.0 |
| | 60代 | 162 | 9 | 9 | 30 | 110 | 4 |
| | | 100.0 | 5.6 | 5.6 | 18.5 | 67.9 | 2.5 |
| | 無回答 | 7 | 0 | 0 | 1 | 6 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 85.7 | 0.0 |

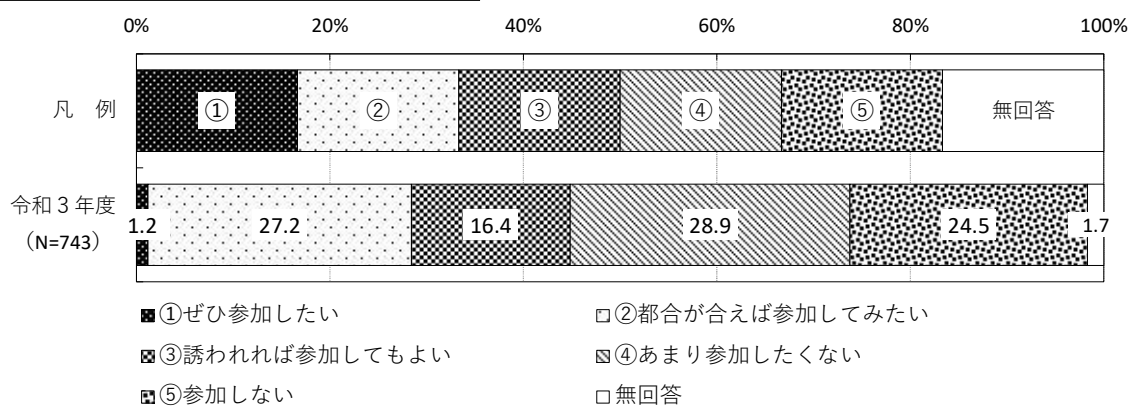
**問8 あなたは、「地域支え合い活動委員会」など地域の生活課題について話し合う機会があれば参加
したいですか。【〇は1つ】**

- | | | |
|---------------|------------------|-----------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 都合が合えば参加してみたい | 3. 誘われれば参加してもよい |
| 4. あまり参加したくない | 5. 参加しない | |

「地域支え合い活動委員会」への参加意向を尋ねたところ、「4. あまり参加したくない」が3割弱（28.9%）で最も多く、次いで、「2. 都合が合えば参加してみたい」（27.2%）、「5. 参加しない」（24.5%）と続いている。

年代別にみると、『参加してみたい』（「1. ぜひ参加したい」＋「2. 都合が合えば参加してみたい」）とした回答は「50代」（35.5%）、「60代」（33.3%）が多く、上の世代の方が若い世代よりは参加意向を示している。一方で、『参加したくない』（「4. あまり参加したくない」＋「5. 参加しない」）とした回答は「20代」（60.8%）、「40代」（60.7%）で多くなっている。

問8 「地域支え合い活動委員会」への参加意向



問8 「地域支え合い活動委員会」への参加意向

(単数回答)

| | | | 1. ぜひ参加したい | 2. 都合が合えば参加してみたい | 3. 誘われれば参加してもよい | 4. あまり参加したくない | 5. 参加しない | 無回答 | |
|-------------|------|-------|------------|------------------|-----------------|---------------|----------|------|-----|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | | | |
| 全 体 | | | 743 | 9 | 202 | 122 | 215 | 182 | 13 |
| | | | 100.0 | 1.2 | 27.2 | 16.4 | 28.9 | 24.5 | 1.7 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 5 | 60 | 49 | 69 | 51 | 6 | |
| | | 100.0 | 2.1 | 25.0 | 20.4 | 28.7 | 21.3 | 2.5 | |
| | 真志喜中 | 215 | 3 | 58 | 38 | 66 | 47 | 3 | |
| | | 100.0 | 1.4 | 27.0 | 17.7 | 30.7 | 21.9 | 1.4 | |
| | 嘉数中 | 168 | 1 | 47 | 24 | 51 | 43 | 2 | |
| | | 100.0 | 0.6 | 28.0 | 14.3 | 30.4 | 25.6 | 1.2 | |
| | 宜野湾中 | 109 | 0 | 33 | 11 | 27 | 36 | 2 | |
| | | 100.0 | 0.0 | 30.3 | 10.1 | 24.8 | 33.0 | 1.8 | |
| | 無回答 | 11 | 0 | 4 | 0 | 2 | 5 | 0 | |
| | | 100.0 | 0.0 | 36.4 | 0.0 | 18.2 | 45.5 | 0.0 | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 0 | 17 | 22 | 33 | 29 | 1 | |
| | | 100.0 | 0.0 | 16.7 | 21.6 | 32.4 | 28.4 | 1.0 | |
| | 30代 | 147 | 4 | 38 | 27 | 47 | 31 | 0 | |
| | | 100.0 | 2.7 | 25.9 | 18.4 | 32.0 | 21.1 | 0.0 | |
| | 40代 | 173 | 1 | 41 | 23 | 55 | 50 | 3 | |
| | | 100.0 | 0.6 | 23.7 | 13.3 | 31.8 | 28.9 | 1.7 | |
| | 50代 | 152 | 2 | 52 | 25 | 40 | 30 | 3 | |
| | | 100.0 | 1.3 | 34.2 | 16.4 | 26.3 | 19.7 | 2.0 | |
| | 60代 | 162 | 2 | 52 | 24 | 39 | 39 | 6 | |
| | | 100.0 | 1.2 | 32.1 | 14.8 | 24.1 | 24.1 | 3.7 | |
| | 無回答 | 7 | 0 | 2 | 1 | 1 | 3 | 0 | |
| | | 100.0 | 0.0 | 28.6 | 14.3 | 14.3 | 42.9 | 0.0 | |

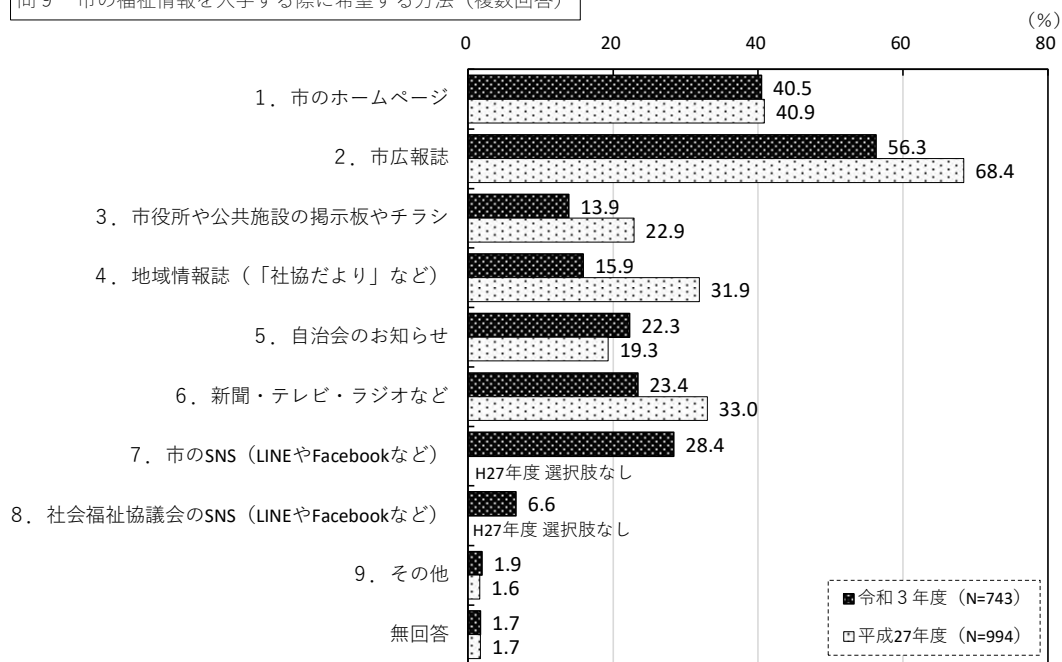
問9 市の福祉（子育てや介護、地域の支え合いなど）に関する情報を、どのような方法で知りたいですか。【〇は3つまで】

- | | | |
|------------------------------|-------------------------------------|---------------------|
| 1. 市のホームページ | 2. 市広報誌 | 3. 市役所や公共施設の掲示板やチラシ |
| 4. 地域情報誌（「社協だより」など） | 5. 自治会のお知らせ | 6. 新聞・テレビ・ラジオなど |
| 7. 市のSNS（LINE や Facebook など） | 8. 社会福祉協議会の SNS（LINE や Facebook など） | |
| 9. その他 [.....] | | |

市の福祉に関する情報の入手方法についてみると、「市広報誌」が6割弱（56.3%）で最も多く、次いで、「市のホームページ」（40.5%）、「7. 市の SNS（LINE や Facebook など）」（28.4%）と続いている。

年代別でみると、「2. 市広報誌」については「60代」が7割弱（66.0%）で最も多く、次いで「40代」（61.8%）、「50代」（57.9%）となっている。「4. 地域情報誌（「社協だより」など）」や「5. 自治会のお知らせ」は「60代」（それぞれ26.5%、40.7%）が多く、上の世代の方が普段どのような方法で市の福祉に関わる情報を得ているのかがうかがえる。一方で、前回調査では選択肢になかった「7. 市の SNS（LINE や Facebook など）」は20～30代がそれぞれ5割弱、「40代」でも3割強（33.5%）と、若い世代ほど利用希望が高い傾向にある。

問9 市の福祉情報を入手する際に希望する方法（複数回答）



【その他】近所の方など/子どもの学校からの手紙に入れてくれれば見ると思う/あまり見たことがない/YouTube、情報発信ツールとして、他の行政や公的機関や公的病院なども取り入れている/必要性があれば自分で探す/何もできない/要らない/知りたくない/地域の掲示板など/今のところ必要としていない/友人/情報をこちらから探すのではなく、受け身で知りたい

問9 市の福祉情報を入手する際に希望する方法

(複数回答)

| | | （複数回答） | | | | | | | | | | |
|-------------|------|-------------|---------|---------------------|---------------------|-------------|-----------------|---------------------------|---------------------------------|--------|------|-----|
| | | 1. 市のホームページ | 2. 市広報誌 | 3. 市役所や公共施設の掲示板やチラシ | 4. 地域情報誌（「社協だより」など） | 5. 自治会のお知らせ | 6. 新聞・テレビ・ラジオなど | 7. 市のSNS（LINEやFacebookなど） | 8. 社会福祉協議会のSNS（LINEやFacebookなど） | 9. その他 | 無回答 | |
| 上段：件数、下段：横% | | | | | | | | | | | | |
| 全 体 | | 743 | 301 | 418 | 103 | 118 | 166 | 174 | 211 | 49 | 14 | 13 |
| | | － | 40.5 | 56.3 | 13.9 | 15.9 | 22.3 | 23.4 | 28.4 | 6.6 | 1.9 | 1.7 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 96 | 141 | 39 | 32 | 68 | 60 | 61 | 12 | 6 | 4 |
| | | － | 40.0 | 58.8 | 16.3 | 13.3 | 28.3 | 25.0 | 25.4 | 5.0 | 2.5 | 1.7 |
| | 真志喜中 | 215 | 92 | 117 | 28 | 45 | 49 | 45 | 66 | 15 | 3 | 4 |
| | | － | 42.8 | 54.4 | 13.0 | 20.9 | 22.8 | 20.9 | 30.7 | 7.0 | 1.4 | 1.9 |
| | 嘉数中 | 168 | 67 | 95 | 23 | 23 | 26 | 42 | 46 | 13 | 2 | 1 |
| | | － | 39.9 | 56.5 | 13.7 | 13.7 | 15.5 | 25.0 | 27.4 | 7.7 | 1.2 | 0.6 |
| | 宜野湾中 | 109 | 43 | 60 | 12 | 15 | 22 | 23 | 36 | 9 | 2 | 3 |
| | | － | 39.4 | 55.0 | 11.0 | 13.8 | 20.2 | 21.1 | 33.0 | 8.3 | 1.8 | 2.8 |
| 無回答 | 11 | 3 | 5 | 1 | 3 | 1 | 4 | 2 | 0 | 1 | 1 | |
| | － | 27.3 | 45.5 | 9.1 | 27.3 | 9.1 | 36.4 | 18.2 | 0.0 | 9.1 | 9.1 | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 43 | 35 | 16 | 15 | 9 | 36 | 46 | 13 | 0 | 1 |
| | | － | 42.2 | 34.3 | 15.7 | 14.7 | 8.8 | 35.3 | 45.1 | 12.7 | 0.0 | 1.0 |
| | 30代 | 147 | 75 | 77 | 25 | 19 | 18 | 28 | 67 | 9 | 2 | 2 |
| | | － | 51.0 | 52.4 | 17.0 | 12.9 | 12.2 | 19.0 | 45.6 | 6.1 | 1.4 | 1.4 |
| | 40代 | 173 | 88 | 107 | 17 | 14 | 29 | 39 | 58 | 9 | 7 | 2 |
| | | － | 50.9 | 61.8 | 9.8 | 8.1 | 16.8 | 22.5 | 33.5 | 5.2 | 4.0 | 1.2 |
| | 50代 | 152 | 57 | 88 | 20 | 25 | 42 | 42 | 27 | 14 | 3 | 1 |
| | | － | 37.5 | 57.9 | 13.2 | 16.4 | 27.6 | 27.6 | 17.8 | 9.2 | 2.0 | 0.7 |
| | 60代 | 162 | 37 | 107 | 25 | 43 | 66 | 26 | 12 | 4 | 1 | 6 |
| | | － | 22.8 | 66.0 | 15.4 | 26.5 | 40.7 | 16.0 | 7.4 | 2.5 | 0.6 | 3.7 |
| 無回答 | 7 | 1 | 4 | 0 | 2 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | |
| | － | 14.3 | 57.1 | 0.0 | 28.6 | 28.6 | 42.9 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | |

日常生活の課題や相談先について【あなた自身やご家族のこと】

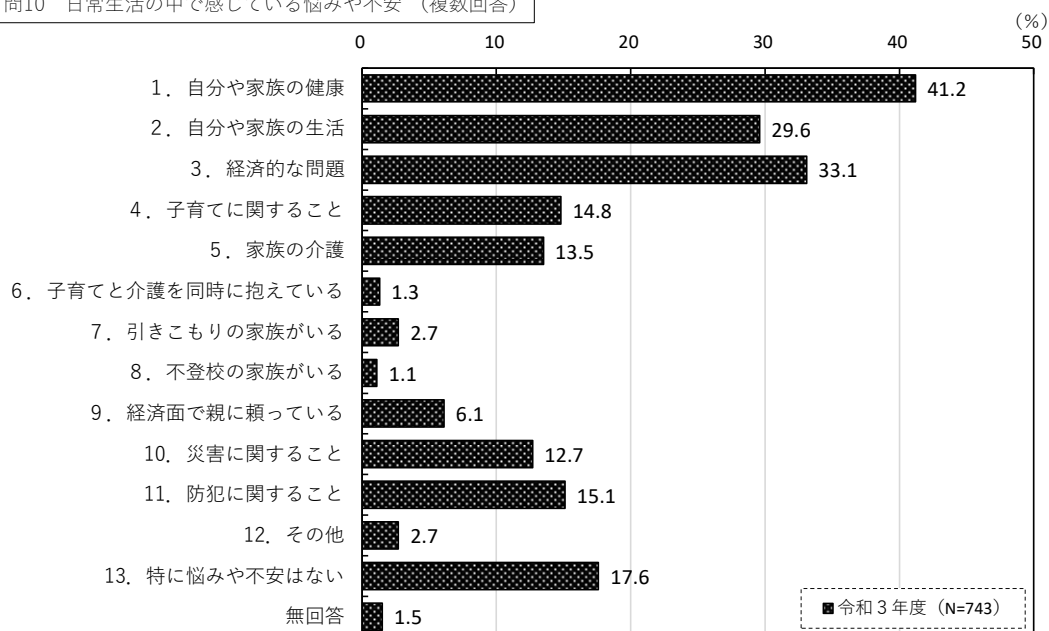
問 10 あなたは日常生活の中でどのような悩みや不安を感じていますか。【〇は3つまで】

- | | | |
|----------------|--------------|--------------------|
| 1. 自分や家族の健康 | 2. 自分や家族の生活 | 3. 経済的な問題 |
| 4. 子育てに関すること | 5. 家族の介護 | 6. 子育てと介護を同時に抱えている |
| 7. 引きこもりの家族がいる | 8. 不登校の家族がいる | 9. 経済面で親に頼っている |
| 10. 災害に関すること | 11. 防犯に関すること | 12. その他〔.....〕 |
| 13. 特に悩みや不安はない | | |

日常生活の悩みや不安を尋ねたところ、「1. 自分や家族の健康」が4割強（41.2%）で最も多く、次いで、「3. 経済的な問題」（33.1%）、「2. 自分や家族の生活」（29.6%）と続いている。

年代別でみると、「1. 自分や家族の健康」を不安と感じた回答者は年齢が上の世代ほど多くなっており、「60代」が5割弱（47.5%）となっている。「3. 経済的な問題」は20～50代で3割強～4割弱と多くなっており、働き盛りの多くの世代が不安を抱える問題となっている。また、『引きこもりや不登校の家族がいる』（「7. 引きこもりの家族がいる」＋「8. 不登校の家族がいる」）という悩みや不安に対し、「50代」では5.9%、「40代」では4.6%の回答がみられた。

問10 日常生活の中で感じている悩みや不安（複数回答）



【その他】仕事に関すること（2件）/結婚できるか/終活に関すること、成年後見人問題など/不審者の徘徊をやめさせてほしい/基地騒音/義兄の暴力/将来の進路/悩みはあるが、相談しても解決しない/自身の老後/これから先自立して生活できるようになりたい/子どもの登校時の交通安全/両親亡き後の子ども（発達障害）の将来/仕事などで、時間に余裕がない/近所の子どもの道路でのボール遊び/コロナ/将来の住まい

問10 日常生活の中で感じている悩みや不安

(複数回答)

| | | 1. 自分や 家族の健康 | 2. 自分や 家族の生活 | 3. 経済的 な問題 | 4. 子育て に関するこ と | 5. 家族の 介護 | 6. 子育て と介護を同 時に抱え ている | 7. 引きこ もりの家族 がいる | 8. 不登校 の家族が いる | 9. 経済面 で親に頼っ ている | 10. 災害 に関するこ と | 11. 防犯 に関するこ と | 12. その他 | 13. 特に 悩みや不 安はない | 無回答 | |
|------------------|------|-----------------|-----------------|---------------|----------------------|--------------|--------------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|----------------------|----------------------|---------|------------------------|------|-----|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 743 | 306 | 220 | 246 | 110 | 100 | 10 | 20 | 8 | 45 | 94 | 112 | 20 | 131 | 11 | |
| | — | 41.2 | 29.6 | 33.1 | 14.8 | 13.5 | 1.3 | 2.7 | 1.1 | 6.1 | 12.7 | 15.1 | 2.7 | 17.6 | 1.5 | |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 99 | 70 | 90 | 31 | 36 | 3 | 9 | 2 | 13 | 22 | 35 | 7 | 47 | 3 |
| | — | — | 41.3 | 29.2 | 37.5 | 12.9 | 15.0 | 1.3 | 3.8 | 0.8 | 5.4 | 9.2 | 14.6 | 2.9 | 19.6 | 1.3 |
| | 真志喜中 | 215 | 85 | 62 | 66 | 30 | 26 | 0 | 2 | 2 | 12 | 38 | 31 | 6 | 40 | 2 |
| | — | — | 39.5 | 28.8 | 30.7 | 14.0 | 12.1 | 0.0 | 0.9 | 0.9 | 5.6 | 17.7 | 14.4 | 2.8 | 18.6 | 0.9 |
| | 嘉数中 | 168 | 65 | 54 | 61 | 31 | 20 | 6 | 3 | 3 | 9 | 21 | 29 | 3 | 24 | 2 |
| | — | — | 38.7 | 32.1 | 36.3 | 18.5 | 11.9 | 3.6 | 1.8 | 1.8 | 5.4 | 12.5 | 17.3 | 1.8 | 14.3 | 1.2 |
| | 宜野湾中 | 109 | 52 | 31 | 28 | 16 | 15 | 1 | 3 | 1 | 9 | 13 | 17 | 4 | 19 | 3 |
| | — | — | 47.7 | 28.4 | 25.7 | 14.7 | 13.8 | 0.9 | 2.8 | 0.9 | 8.3 | 11.9 | 15.6 | 3.7 | 17.4 | 2.8 |
| 無回答 | 11 | 5 | 3 | 1 | 2 | 3 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| | — | 45.5 | 27.3 | 9.1 | 18.2 | 27.3 | 0.0 | 27.3 | 0.0 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.1 | 9.1 | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 37 | 29 | 39 | 17 | 3 | 2 | 1 | 0 | 17 | 10 | 12 | 3 | 18 | 1 |
| | — | — | 36.3 | 28.4 | 38.2 | 16.7 | 2.9 | 2.0 | 1.0 | 0.0 | 16.7 | 9.8 | 11.8 | 2.9 | 17.6 | 1.0 |
| | 30代 | 147 | 54 | 39 | 47 | 50 | 11 | 1 | 2 | 1 | 8 | 19 | 19 | 3 | 28 | 2 |
| | — | — | 36.7 | 26.5 | 32.0 | 34.0 | 7.5 | 0.7 | 1.4 | 0.7 | 5.4 | 12.9 | 12.9 | 2.0 | 19.0 | 1.4 |
| | 40代 | 173 | 68 | 58 | 63 | 35 | 20 | 5 | 3 | 5 | 12 | 29 | 38 | 4 | 22 | 1 |
| | — | — | 39.3 | 33.5 | 36.4 | 20.2 | 11.6 | 2.9 | 1.7 | 2.9 | 6.9 | 16.8 | 22.0 | 2.3 | 12.7 | 0.6 |
| | 50代 | 152 | 68 | 52 | 52 | 7 | 35 | 2 | 7 | 2 | 7 | 19 | 20 | 3 | 25 | 2 |
| | — | — | 44.7 | 34.2 | 34.2 | 4.6 | 23.0 | 1.3 | 4.6 | 1.3 | 4.6 | 12.5 | 13.2 | 2.0 | 16.4 | 1.3 |
| | 60代 | 162 | 77 | 38 | 44 | 1 | 30 | 0 | 5 | 0 | 0 | 16 | 22 | 7 | 37 | 5 |
| | — | — | 47.5 | 23.5 | 27.2 | 0.6 | 18.5 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 9.9 | 13.6 | 4.3 | 22.8 | 3.1 |
| 無回答 | 7 | 2 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | — | 28.6 | 57.1 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 28.6 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 |

問 10-1 問 10 で「7. 引きこもりの家族がいる」、「8. 不登校の家族がいる」を選択した方にお尋ねします。その方の年齢は次のどれにあたりますか。【〇は1つ】

| | | | |
|------------------|-------------------|----------|--------|
| 1. 14歳以下（中学生くらい） | 2. 15歳～19歳（高校くらい） | 3. 20代 | 4. 30代 |
| 5. 40代 | 6. 50代 | 7. 60代 | 8. 70代 |
| | | 9. 80代以上 | |

前問で『引きこもりや不登校の家族がいる』と回答した方について、その家族の年齢を尋ねたところ、「1. 14歳以下（中学生くらい）」が8件で最も多かった。その他の回答についても、15歳～80代以上の全ての年代に対して2～4件程度の回答が見受けられる。

問10-1 引きこもりや不登校の状況にある方の年齢

(単数回答)

| 上段:件数、下段:横% | | 1. 14歳以下(中学生くらい) | 2. 15歳～19歳(高校くらい) | 3. 20代 | 4. 30代 | 5. 40代 | 6. 50代 | 7. 60代 | 8. 70代 | 9. 80代以上 | 無回答 |
|-------------|-------|------------------|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|-------|
| 全 体 | 28 | 8 | 3 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| | 100.0 | 28.6 | 10.7 | 14.3 | 10.7 | 7.1 | 7.1 | 7.1 | 7.1 | 3.6 | 3.6 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 11 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 18.2 | 9.1 | 18.2 | 18.2 | 9.1 | 9.1 | 18.2 | 0.0 | 0.0 |
| | 真志喜中 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 75.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 嘉数中 | 6 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 年 齢 | 無回答 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 |
| | 20代 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| | 30代 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 40代 | 8 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 50.0 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 12.5 | 0.0 | 12.5 | 0.0 |
| 年 齢 | 50代 | 9 | 3 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 11.1 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 11.1 |
| | 60代 | 5 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 |
| 年 齢 | 無回答 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |

問 10-2 引きこもっている、または不登校の方の外出状況は次のどれにあたりますか。【〇は1つ】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 自室からほとんど出ない | 2. 自室からは出るが、外出はしない |
| 3. 普段は家にいるが近所のコンビニなどには外出する | 4. 普段は家にいるが趣味の用事などで外出する |
| 5. その他「.....」 | |

引きこもり、または不登校の方の外出状況についてみると、「3. 普段は家にいるが近所のコンビニなどには外出する」と「4. 普段は家にいるが趣味の用事などで外出する」が、どちらも7件で多数となっていたが、一方で「2. 自室からは出るが、外出はしない」（4件）や「1. 自室からほとんど出ない」（2件）といった、全く外出しない深刻なケースも少なからず見受けられる。

問10-2 引きこもっている、または不登校の方の外出状況 (単数回答)

| 上段:件数、下段:横% | | 1. 自室からほとんど出ない | 2. 自室からは出るが、外出はしない | 3. 普段は家にいるが近所のコンビニなどには外出する | 4. 普段は家にいるが趣味の用事などで外出する | 5. その他 | 無回答 |
|-------------|-------|----------------|--------------------|----------------------------|-------------------------|--------|------|
| 全 体 | 28 | 2 | 4 | 7 | 7 | 5 | 3 |
| | 100.0 | 7.1 | 14.3 | 25.0 | 25.0 | 17.9 | 10.7 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 11 | 1 | 2 | 4 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 9.1 | 18.2 | 36.4 | 18.2 | 0.0 |
| | 真志喜中 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | | 100.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 |
| | 嘉数中 | 6 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 33.3 | 16.7 | 33.3 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 4 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 |
| | 無回答 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 0.0 |
| 年 齢 | 20代 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 30代 | 3 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 |
| | 40代 | 8 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 12.5 | 25.0 | 25.0 | 37.5 |
| | 50代 | 9 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 22.2 | 11.1 | 22.2 | 11.1 | 0.0 |
| | 60代 | 5 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 40.0 | 40.0 |
| | 無回答 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |

【その他】病院に行く時だけ外出する/学校にトラブルになった相手がいる/外出は普通にする

問10-3 その方が引きこもるようになった、または不登校になったきっかけは次のどれにあたりますか。
【当てはまる全てに○】

| | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 学生時代の不登校 | 2. 受験がうまくいかなかった |
| 3. 就職がうまくいかなかった | 4. 仕事がうまくいかなかった |
| 5. 学校や職場での人間関係がうまくいかなかった | 6. 家族の介護や看護のために離職した |
| 7. 心身面で長期の療養が必要な病気になった | 8. 事故や加齢などで仕事や外出ができなくなった |
| 9. その他〔.....〕 | |

引きこもり、または不登校になったきっかけについてみると、「5. 学校や職場での人間関係がうまくいかなかった」が10件で最も多く、次いで、「7. 心身面で長期の療養が必要な病気になった」(7件)、「1. 学生時代の不登校」(6件)と続いている。また、「9. その他」をみると、新型コロナウイルス感染症の流行が影響を及ぼした実例もうかがえる。

問10-3 引きこもるようになった、または不登校になったきっかけ (複数回答)

| | | 1. 学生時代の不登校 | 2. 受験がうまくいかなかった | 3. 就職がうまくいかなかった | 4. 仕事がうまくいかなかった | 5. 学校や職場での人間関係がうまくいかなかった | 6. 家族の介護や看護のために離職した | 7. 心身面で長期の療養が必要な病気になった | 8. 事故や加齢などで仕事や外出ができなくなった | 9. その他 | 無回答 |
|-------------|------|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------------|---------------------|------------------------|--------------------------|--------|------|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 28 | 6 | 0 | 2 | 2 | 10 | 1 | 7 | 2 | 5 | 2 |
| | - | 21.4 | 0.0 | 7.1 | 7.1 | 35.7 | 3.6 | 25.0 | 7.1 | 17.9 | 7.1 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 11 | 2 | 0 | 1 | 3 | 1 | 4 | 1 | 3 | 0 |
| | - | 18.2 | 0.0 | 9.1 | 9.1 | 27.3 | 9.1 | 36.4 | 9.1 | 27.3 | 0.0 |
| | 真志喜中 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | - | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 嘉数中 | 6 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 |
| | - | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 4 | 2 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | - | 50.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 75.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 |
| 年 齢 | 無回答 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 33.3 |
| | 20代 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 |
| | 30代 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | - | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 |
| | 40代 | 8 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 37.5 | 12.5 | 12.5 | 12.5 |
| 年 齢 | 50代 | 9 | 3 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | - | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 44.4 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 11.1 | 11.1 |
| | 60代 | 5 | 1 | 0 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 0 |
| | - | 20.0 | 0.0 | 40.0 | 20.0 | 60.0 | 20.0 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 |
| 年 齢 | 無回答 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |

【その他】ゲームのしすぎで朝起きれない/聞いても答えてくれない/コロナで職を失ったため/コロナが蔓延していることをニュースで見て怖くなったようだ

問10-4 その方が引きこもり、または不登校になってからどれくらいになりますか。【〇は1つ】

| | | | |
|-------------|--------------|------------|------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月～1年未満 | 3. 1年～3年未満 | 4. 3年～5年未満 |
| 5. 5年～10年未満 | 6. 10年～20年未満 | 7. 20年以上 | |

引きこもり、または不登校になった期間について、「3. 1年～3年未満」が10件で最も多かった。一方で、「5. 5年～10年未満」や「6. 10年～20年未満」とする回答も3件ずつ、「7. 20年以上」という長期間にわたる引きこもりも2件の回答がみられた。

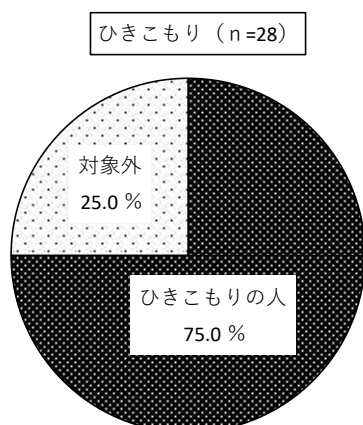
問10-4 引きこもり、または不登校になってからの期間

(単数回答)

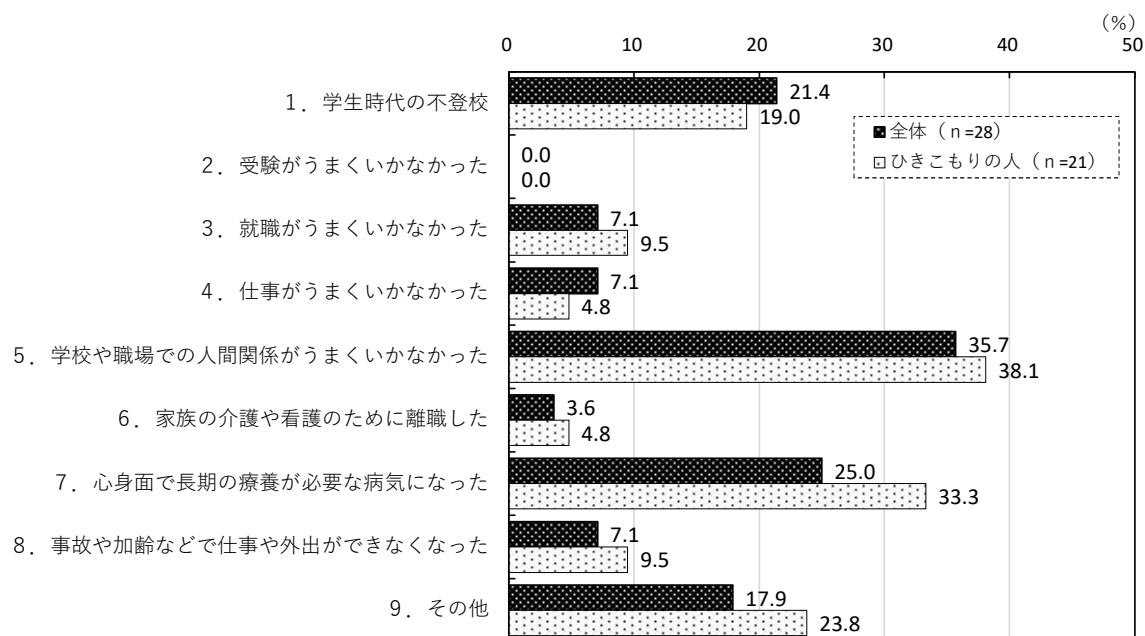
| 上段:件数、下段:横% | | 1. 6か月未満 | 2. 6か月～1年未満 | 3. 1年～3年未満 | 4. 3年～5年未満 | 5. 5年～10年未満 | 6. 10年～20年未満 | 7. 20年以上 | 無回答 |
|-------------|-------|----------|-------------|------------|------------|-------------|--------------|----------|------|
| 全 体 | 28 | 1 | 4 | 10 | 2 | 3 | 3 | 2 | 3 |
| | 100.0 | 3.6 | 14.3 | 35.7 | 7.1 | 10.7 | 10.7 | 7.1 | 10.7 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 11 | 0 | 2 | 3 | 1 | 1 | 3 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 18.2 | 27.3 | 9.1 | 9.1 | 27.3 | 9.1 |
| | 真志喜中 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 |
| | 嘉数中 | 6 | 0 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 33.3 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 4 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 |
| | 無回答 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 |
| 年 齢 | 20代 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 30代 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 |
| | 40代 | 8 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 25.0 | 37.5 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 12.5 |
| | 50代 | 9 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| | | 100.0 | 11.1 | 11.1 | 22.2 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 22.2 |
| | 60代 | 5 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 20.0 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 |
| | 無回答 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |

なお、厚生労働省では引きこもりについて平成 30 年の厚生労働白書で『様々な要因の結果として、社会的参加を回避し、原則的には6か月以上にわたっておおむね家庭内にとどまり続けている状態を指す』と定義している。この原則に則って『引きこもり、または不登校の状況にある』とした回答を引きこもりの期間や外出状況から再分類すると、2 割強 (25.0%) にあたる 7 名の方は厚生労働省が定義する引きこもりに該当しない「対象外」となる。

改めて「対象外」以外の方について、引きこもりや不登校になったきっかけをみると、選択肢の上位順は変わらないものの、「7. 心身面で長期の療養が必要な病気になった」など引きこもりの状況が長期化しやすい要因の割合が伸びた。(8.3 ポイントの増加)



問10-3 ひきこもり・または不登校になったきっかけ (複数回答)



問 11 あなたは、悩みや不安があるとき、主に誰（どこ）に相談していますか、またはしたいと思いますか。

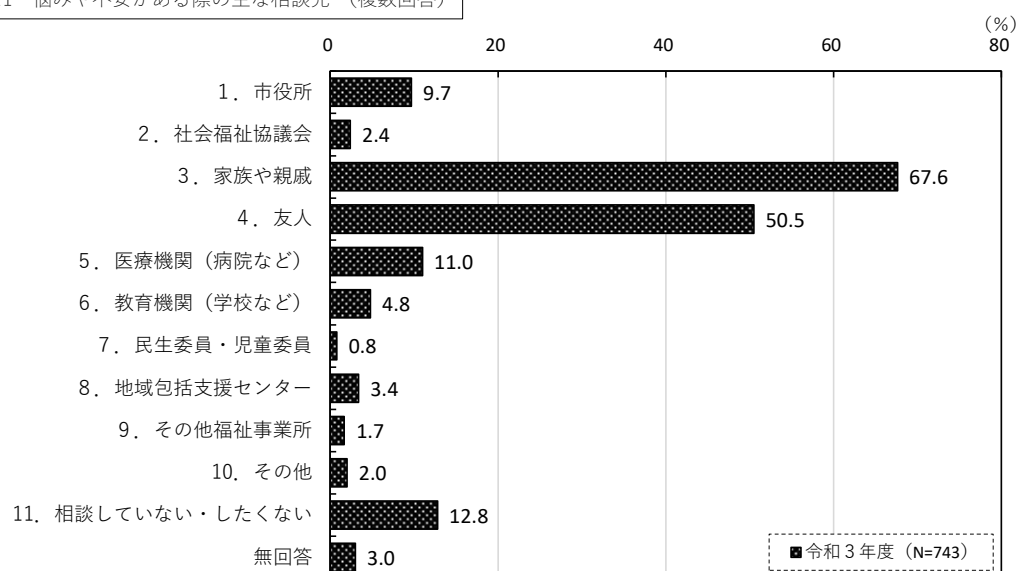
【〇は3つまで】

| | | |
|----------------|-------------------|---------------|
| 1. 市役所 | 2. 社会福祉協議会 | 3. 家族や親戚 |
| 4. 友人 | 5. 医療機関（病院など） | 6. 教育機関（学校など） |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 地域包括支援センター | 9. その他福祉事業所 |
| 10. その他〔.....〕 | 11. 相談していない・したくない | |

悩みや不安を感じたとき、相談したい相手について尋ねたところ、「3. 家族・親戚」が7割弱（67.6%）で最も多く、次いで、「4. 友人」（50.5%）、「11. 相談していない・したくない」（12.8%）、「5. 医療機関（病院など）」（11.0%）と続いている。

年代別でみると、「1. 市役所」や「5. 医療機関（病院など）」への相談は主に 40～60 代といった上の世代の回答が多い傾向にある。

問11 悩みや不安がある際の主な相談先（複数回答）



【その他】職場の上司や同僚（8件）/SNS やネット検索/セラピストやカウンセラー/内容により一番適しているところ/生活相談センター/グッジョブセンター/公民館/相談機関(心の電話相談など)

問11 悩みや不安がある際の主な相談先

(複数回答)

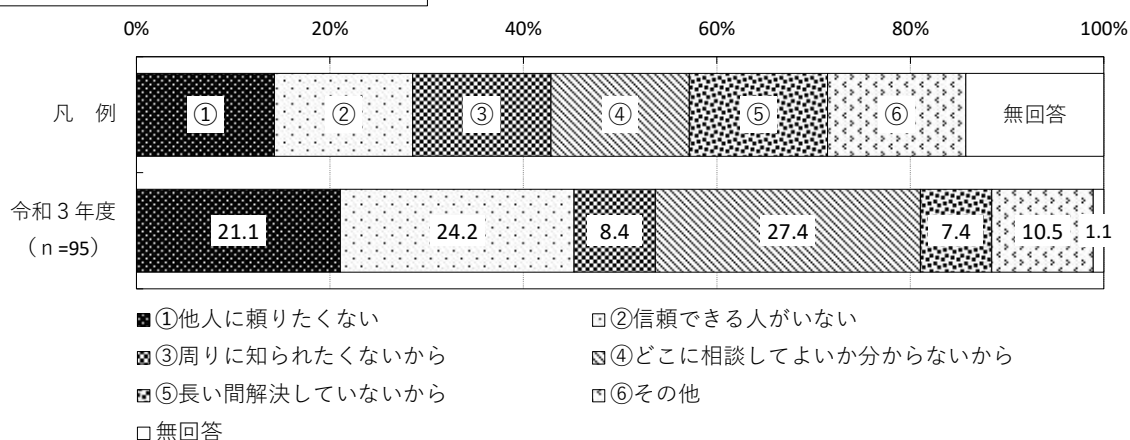
| | | 1. 市役所 | 2. 社会福祉協議会 | 3. 家族や親戚 | 4. 友人 | 5. 医療機関(病院など) | 6. 教育機関(学校など) | 7. 民生委員・児童委員 | 8. 地域包括支援センター | 9. その他福祉事業所 | 10. その他 | 11. 相談していない・したくない | 無回答 | |
|-------------|------|--------|------------|----------|-------|---------------|---------------|--------------|---------------|-------------|---------|-------------------|------|----|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 743 | 72 | 18 | 502 | 375 | 82 | 36 | 6 | 25 | 13 | 15 | 95 | 22 | |
| | － | 9.7 | 2.4 | 67.6 | 50.5 | 11.0 | 4.8 | 0.8 | 3.4 | 1.7 | 2.0 | 12.8 | 3.0 | |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 26 | 6 | 162 | 124 | 27 | 10 | 4 | 5 | 2 | 7 | 25 | 8 |
| | － | 10.8 | 2.5 | 67.5 | 51.7 | 11.3 | 4.2 | 1.7 | 2.1 | 0.8 | 2.9 | 10.4 | 3.3 | |
| | 真志喜中 | 215 | 19 | 8 | 146 | 112 | 22 | 12 | 0 | 5 | 5 | 2 | 28 | 5 |
| | － | 8.8 | 3.7 | 67.9 | 52.1 | 10.2 | 5.6 | 0.0 | 2.3 | 2.3 | 0.9 | 13.0 | 2.3 | |
| | 嘉数中 | 168 | 21 | 3 | 113 | 81 | 20 | 5 | 1 | 10 | 4 | 4 | 21 | 5 |
| | － | 12.5 | 1.8 | 67.3 | 48.2 | 11.9 | 3.0 | 0.6 | 6.0 | 2.4 | 2.4 | 12.5 | 3.0 | |
| | 宜野湾中 | 109 | 6 | 1 | 77 | 54 | 11 | 9 | 1 | 5 | 1 | 2 | 18 | 3 |
| | － | 5.5 | 0.9 | 70.6 | 49.5 | 10.1 | 8.3 | 0.9 | 4.6 | 0.9 | 1.8 | 16.5 | 2.8 | |
| 無回答 | 11 | 0 | 0 | 4 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 | |
| － | 0.0 | 0.0 | 36.4 | 36.4 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.1 | 0.0 | 27.3 | 9.1 | | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 5 | 0 | 71 | 65 | 5 | 1 | 0 | 2 | 2 | 4 | 9 | 3 |
| | － | 4.9 | 0.0 | 69.6 | 63.7 | 4.9 | 1.0 | 0.0 | 2.0 | 2.0 | 3.9 | 8.8 | 2.9 | |
| | 30代 | 147 | 13 | 1 | 117 | 82 | 13 | 13 | 0 | 1 | 1 | 5 | 15 | 1 |
| | － | 8.8 | 0.7 | 79.6 | 55.8 | 8.8 | 8.8 | 0.0 | 0.7 | 0.7 | 3.4 | 10.2 | 0.7 | |
| | 40代 | 173 | 18 | 3 | 121 | 78 | 26 | 15 | 2 | 5 | 7 | 3 | 20 | 3 |
| | － | 10.4 | 1.7 | 69.9 | 45.1 | 15.0 | 8.7 | 1.2 | 2.9 | 4.0 | 1.7 | 11.6 | 1.7 | |
| | 50代 | 152 | 19 | 7 | 97 | 80 | 18 | 5 | 1 | 7 | 0 | 2 | 19 | 4 |
| | － | 12.5 | 4.6 | 63.8 | 52.6 | 11.8 | 3.3 | 0.7 | 4.6 | 0.0 | 1.3 | 12.5 | 2.6 | |
| | 60代 | 162 | 17 | 7 | 93 | 67 | 18 | 2 | 3 | 9 | 2 | 1 | 31 | 10 |
| | － | 10.5 | 4.3 | 57.4 | 41.4 | 11.1 | 1.2 | 1.9 | 5.6 | 1.2 | 0.6 | 19.1 | 6.2 | |
| | 無回答 | 7 | 0 | 0 | 3 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| | － | 0.0 | 0.0 | 42.9 | 42.9 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | |

問 11-1 前問 11 で「11. 相談していない・したくない」と回答した方にお聞きます。相談しない主な理由は何ですか。【〇は1つ】

- | | | |
|----------------------|-----------------|-----------------|
| 1. 他人に頼りたくない | 2. 信頼できる人がいない | 3. 周りに知られたくないから |
| 4. どこに相談してよいか分からないから | 5. 長い間解決していないから | 6. その他 [.....] |

前問で『悩みや不安を相談しない』と回答した方に、相談しない主な理由について尋ねたところ、「4. どこに相談してよいか分からないから」が3割弱（27.4%）で最も多く、次いで、「2. 信頼できる人がいない」（24.2%）、「1. 他人に頼りたくない」（21.1%）と続いている。

問11-1 悩みや不安を相談しない主な理由



【その他】自分で解決しなければならない（2件）/特に問題がないため/相談することがない/ほとんど付き合いがないから/そのつど解決できているから/悩みなのかどうかさえもわからない/そこまで深刻ではないから/時間がない

問11-1 悩みや不安を相談しない主な理由

(単数回答)

| | | 1. 他人に頼りたくない | 2. 信頼できる人がいない | 3. 周りに知られたくないから | 4. どこに相談してよいか分からないから | 5. 長い間解決していないから | 6. その他 | 無回答 |
|------------------|-------|--------------|---------------|-----------------|----------------------|-----------------|--------|------|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | | |
| 全 体 | 95 | 20 | 23 | 8 | 26 | 7 | 10 | 1 |
| | 100.0 | 21.1 | 24.2 | 8.4 | 27.4 | 7.4 | 10.5 | 1.1 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 25 | 5 | 3 | 5 | 8 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 20.0 | 12.0 | 20.0 | 32.0 | 8.0 | 0.0 |
| | 真志喜中 | 28 | 3 | 9 | 0 | 10 | 1 | 5 |
| | | 100.0 | 10.7 | 32.1 | 0.0 | 35.7 | 3.6 | 17.9 |
| | 嘉数中 | 21 | 6 | 7 | 1 | 1 | 3 | 2 |
| | | 100.0 | 28.6 | 33.3 | 4.8 | 4.8 | 14.3 | 9.5 |
| | 宜野湾中 | 18 | 5 | 3 | 1 | 7 | 1 | 1 |
| | | 100.0 | 27.8 | 16.7 | 5.6 | 38.9 | 5.6 | 5.6 |
| | 無回答 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 年 齢 | 20代 | 9 | 0 | 2 | 3 | 2 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 22.2 | 33.3 | 22.2 | 22.2 | 0.0 |
| | 30代 | 15 | 0 | 3 | 2 | 8 | 0 | 2 |
| | | 100.0 | 0.0 | 20.0 | 13.3 | 53.3 | 0.0 | 13.3 |
| | 40代 | 20 | 3 | 8 | 1 | 4 | 2 | 2 |
| | | 100.0 | 15.0 | 40.0 | 5.0 | 20.0 | 10.0 | 10.0 |
| | 50代 | 19 | 3 | 7 | 0 | 7 | 0 | 2 |
| | | 100.0 | 15.8 | 36.8 | 0.0 | 36.8 | 0.0 | 10.5 |
| | 60代 | 31 | 13 | 3 | 2 | 5 | 3 | 4 |
| | | 100.0 | 41.9 | 9.7 | 6.5 | 16.1 | 9.7 | 12.9 |
| | 無回答 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

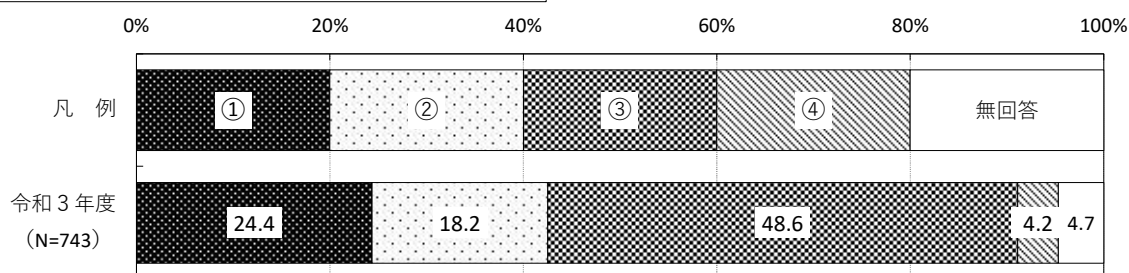
問 12 生活や福祉に関する相談のためには、どんな窓口があると思いますか。【〇は1つ】

1. 中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口
2. 必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口
3. 高齢者・障がい者・子育て世帯・生活困窮者等のどんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口
4. その他〔.....〕

あったら良いと思う生活や福祉に関する相談窓口について尋ねると、「3. 高齢者・障がい者・子育て世帯・生活困窮者等のどんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口」が5割弱（48.6%）で最も多く、他に「1. 中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口」（24.4%）、「2. 必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口」（18.2%）となっている。

年代別にみると、「1. 中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口」については20～40代の若い世代が3割弱～4割弱程度と多くなっている。

問12 あったら良いと思う生活や福祉に関する相談窓口



- ①中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口
- ②必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口
- ③高齢者・障がい者・子育て世帯・生活困窮者等のどんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口
- ④その他
- 無回答

【その他】分からない（4件）/法律事務所/ライン等、SNSで気軽に相談できる環境/困っている時は誰でも低金利でお金を貸してくれる窓口/電話で総合的な相談を聞いて、適切な機関を教え、又は紹介してくれる。何度も関係のない所、又は何もできない所に出向かなくて済むように/対面の窓口よりも電話相談。よろず相談のような、どんな内容でも一先ず聞いてくれて、担当部署に適切に繋げてくれる電話窓口/匿名で答えてくれるネットとか/若者向けの相談窓口/窓口はすでにあると思うので、支援者の質の高い所がいい/老人ホーム情報をまとめているところ/そもそも信頼できない。個人情報とか言うけど、あつてないようなものだから/専門家が対応してくれる窓口/あまりあてにしない/土日もやっているところ/全て必要ではない/まず窓口の職員が絶対的に大変なので、そこのエリアを思っている以上にやってあげてほしい/こういった相談窓口があるかの広報/ホームページ等で情報があれば困ったときに活用する/LINE等の気軽にできる問い合わせ窓口/公民館/オンライン窓口

問12 生活や福祉に関する相談窓口に希望すること

(単数回答)

| | | 1. 中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口 | 2. 必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口 | 3. 高齢者・障がい者・子育て世帯・生活困窮者等のどんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口 | 4. その他 | 無回答 |
|------------------|------|--|--------------------------------------|--|--------|------|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | |
| 全 体 | | 743 | 181 | 135 | 361 | 31 |
| | | 100.0 | 24.4 | 18.2 | 48.6 | 4.2 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 57 | 49 | 116 | 9 |
| | | 100.0 | 23.8 | 20.4 | 48.3 | 3.8 |
| | 真志喜中 | 215 | 54 | 37 | 101 | 11 |
| | | 100.0 | 25.1 | 17.2 | 47.0 | 5.1 |
| | 嘉数中 | 168 | 44 | 29 | 83 | 5 |
| | | 100.0 | 26.2 | 17.3 | 49.4 | 3.0 |
| | 宜野湾中 | 109 | 26 | 18 | 55 | 5 |
| | | 100.0 | 23.9 | 16.5 | 50.5 | 4.6 |
| | 無回答 | 11 | 0 | 2 | 6 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 18.2 | 54.5 | 9.1 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 26 | 17 | 57 | 0 |
| | | 100.0 | 25.5 | 16.7 | 55.9 | 0.0 |
| | 30代 | 147 | 55 | 26 | 53 | 10 |
| | | 100.0 | 37.4 | 17.7 | 36.1 | 6.8 |
| | 40代 | 173 | 49 | 30 | 83 | 7 |
| | | 100.0 | 28.3 | 17.3 | 48.0 | 4.0 |
| | 50代 | 152 | 33 | 25 | 77 | 5 |
| | | 100.0 | 21.7 | 16.4 | 50.7 | 3.3 |
| | 60代 | 162 | 18 | 36 | 86 | 8 |
| | | 100.0 | 11.1 | 22.2 | 53.1 | 4.9 |
| | 無回答 | 7 | 0 | 1 | 5 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 14.3 | 71.4 | 14.3 |

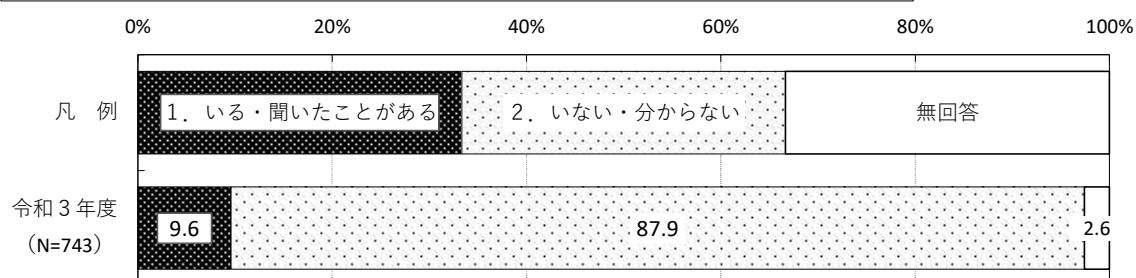
日常生活の課題について【あなたが住むの地域ごと】

問13 あなたが住む地域で、課題や困難を抱えているが、どこかの相談先にもつながっていない（ように見える）方はいますか、または聞いたことがありますか。【〇は1つ】

1. いる・聞いたことがある 2. いない・分からない

地域で課題や困難を抱えていながら、どこかの相談先にもつながっていない（ように見える）方の有無を尋ねると、大多数は「2. いない・分からない」とする回答が占めていたが、「1. いる・聞いたことがある」とした回答も9.6%見られた。

問13 地域で課題や困難を抱えているが相談先につながらない（ように見える）方の有無



問13 地域で課題や困難を抱えているが相談先につながらない（ように見える）方の有無 (単数回答)

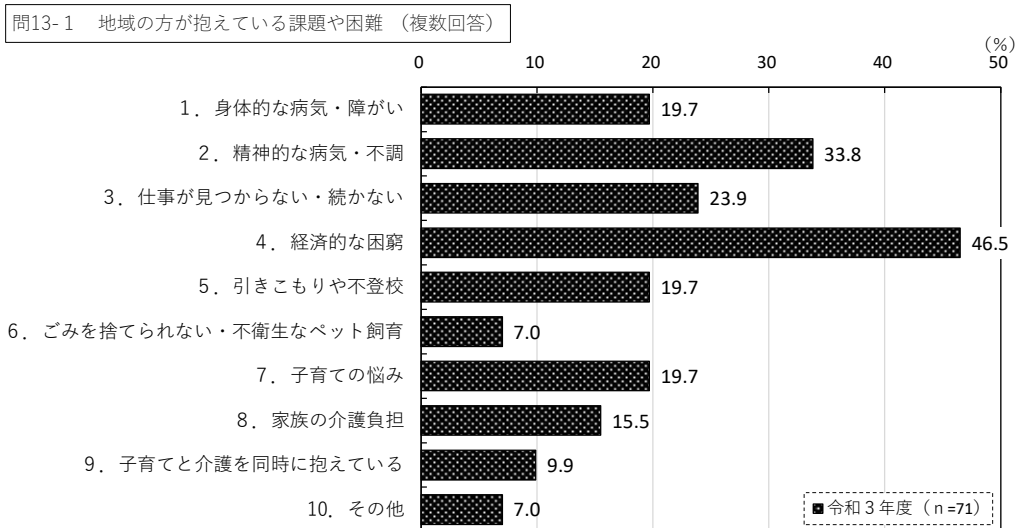
| | | 上段:件数、下段:横% | 1. いる・聞いたことがある | 2. いない・分からない | 無回答 |
|---------|------|--------------|----------------|--------------|-----------|
| 全 体 | | 743 100.0 | 71 9.6 | 653 87.9 | 19 2.6 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 100.0 | 27 11.3 | 209 87.1 | 4 1.7 |
| | 真志喜中 | 215 100.0 | 22 10.2 | 182 84.7 | 11 5.1 |
| | 嘉数中 | 168 100.0 | 17 10.1 | 149 88.7 | 2 1.2 |
| | 宜野湾中 | 109 100.0 | 4 3.7 | 105 96.3 | 0 0.0 |
| | 無回答 | 11 100.0 | 1 9.1 | 8 72.7 | 2 18.2 |
| | | | | | |
| 年 齢 | 20代 | 102 100.0 | 8 7.8 | 91 89.2 | 3 2.9 |
| | 30代 | 147 100.0 | 16 10.9 | 127 86.4 | 4 2.7 |
| | 40代 | 173 100.0 | 18 10.4 | 152 87.9 | 3 1.7 |
| | 50代 | 152 100.0 | 14 9.2 | 131 86.2 | 7 4.6 |
| | 60代 | 162 100.0 | 15 9.3 | 146 90.1 | 1 0.6 |
| | 無回答 | 7 100.0 | 0 0.0 | 6 85.7 | 1 14.3 |
| | | | | | |
| | | | | | |

※前問で「いる・聞いたことがある」と回答した方にお尋ねします。該当する方が複数名いる場合は、あなたがよくご存じの方お一人について、ご回答ください。

問13-1 その方が抱えている課題や困難は次のどれにあたりますか。【当てはまる全てに○】

- | | | |
|----------------|--------------|------------------------|
| 1. 身体的な病気・障がい | 2. 精神的な病気・不調 | 3. 仕事が見つからない・続かない |
| 4. 経済的な困窮 | 5. 引きこもりや不登校 | 6. ごみを捨てられない・不衛生なペット飼育 |
| 7. 子育ての悩み | 8. 家族の介護負担 | 9. 子育てと介護を同時に抱えている |
| 10. その他〔.....〕 | | |

前問で『いる・聞いたことがある』と回答した方に、対象の方が抱えている課題や困難について尋ねると、「4. 経済的な困窮」が5割弱（46.5%）で最も多く、次いで「2. 精神的な病気・不調」（33.8%）、「3. 仕事が見つからない・続かない」（23.9%）と続いている。



【その他】いつも同じ高架下にいます。家がないのかなと思います/家族が誰もいない様子で、認知症の疑いがある/近隣住民とのコミュニケーションがない/コロナでみんな収入が減ったと思うので、宜野湾市も何か対策をお願いします/生活保護は受けているが、買物や病院への送迎等で困っている様子

問13-1 地域の方が抱えている課題や困難 (複数回答)

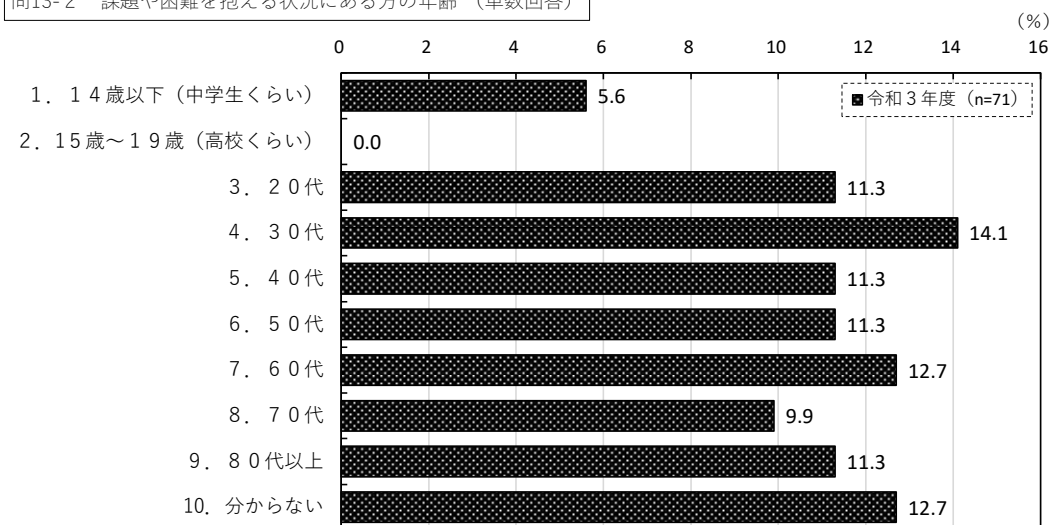
| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 身体的な病気・障がい | 2. 精神的な病気・不調 | 3. 仕事が見つからない・続かない | 4. 経済的な困窮 | 5. 引きこもりや不登校 | 6. ごみを捨てられない・不衛生なペット飼育 | 7. 子育ての悩み | 8. 家族の介護負担 | 9. 子育てと介護を同時に抱えている | 10. その他 |
|---------|------|-------------|---------------|--------------|-------------------|-----------|--------------|------------------------|-----------|------------|--------------------|---------|
| 全 体 | | 71 | 14 | 24 | 17 | 33 | 14 | 5 | 14 | 11 | 7 | 5 |
| | | - | 19.7 | 33.8 | 23.9 | 46.5 | 19.7 | 7.0 | 19.7 | 15.5 | 9.9 | 7.0 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 27 | 5 | 8 | 7 | 11 | 5 | 1 | 2 | 5 | 1 | 4 |
| | | - | 18.5 | 29.6 | 25.9 | 40.7 | 18.5 | 3.7 | 7.4 | 18.5 | 3.7 | 14.8 |
| | 真志喜中 | 22 | 5 | 9 | 3 | 13 | 4 | 2 | 6 | 2 | 5 | 0 |
| | | - | 22.7 | 40.9 | 13.6 | 59.1 | 18.2 | 9.1 | 27.3 | 9.1 | 22.7 | 0.0 |
| | 嘉数中 | 17 | 3 | 5 | 4 | 6 | 3 | 2 | 5 | 4 | 1 | 0 |
| | | - | 17.6 | 29.4 | 23.5 | 35.3 | 17.6 | 11.8 | 29.4 | 23.5 | 5.9 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 4 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 年 齢 | | - | 25.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 |
| | 無回答 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | - | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 20代 | 8 | 0 | 2 | 2 | 6 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| | | - | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 75.0 | 12.5 | 0.0 | 25.0 | 12.5 | 0.0 | 12.5 |
| | 30代 | 16 | 5 | 4 | 3 | 8 | 3 | 1 | 6 | 2 | 2 | 1 |
| | | - | 31.3 | 25.0 | 18.8 | 50.0 | 18.8 | 6.3 | 37.5 | 12.5 | 12.5 | 6.3 |
| | 40代 | 18 | 4 | 7 | 6 | 7 | 2 | 3 | 5 | 1 | 1 | 0 |
| | | - | 22.2 | 38.9 | 33.3 | 38.9 | 11.1 | 16.7 | 27.8 | 5.6 | 5.6 | 0.0 |
| | 50代 | 14 | 3 | 4 | 4 | 5 | 3 | 1 | 1 | 3 | 4 | 3 |
| | | - | 21.4 | 28.6 | 28.6 | 35.7 | 21.4 | 7.1 | 7.1 | 21.4 | 28.6 | 21.4 |
| | 60代 | 15 | 2 | 7 | 2 | 7 | 5 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| | | - | 13.3 | 46.7 | 13.3 | 46.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 26.7 | 0.0 | 0.0 |

問13-2 その方の年齢は次のどれにあたりますか。【〇は1つ】

- | | | |
|------------------|-------------------|-----------|
| 1. 14歳以下（中学生くらい） | 2. 15歳～19歳（高校くらい） | 3. 20代 |
| 4. 30代 | 5. 40代 | 6. 50代 |
| 8. 70代 | 9. 80代以上 | 10. 分からない |

課題や困難を抱えている状況にある方の年齢について尋ねると、「4. 30代」が14.1%で最も多く、次いで「7. 60代」（12.7%）、「3. 20代」・「5. 40代」・「6. 50代」・「9. 80代以上」がそれぞれ11.3%と続いている。困難を抱えているものの支援の手が足りていない方が、20代以上の幅広い世代で一定数存在している状況がうかがえる。

問13-2 課題や困難を抱える状況にある方の年齢（単数回答）



問13-2 課題や困難を抱える状況にある方の年齢

（単数回答）

| | | 1. 14歳以下 (中学生くらい) | 2. 15歳～19歳 (高校くらい) | 3. 20代 | 4. 30代 | 5. 40代 | 6. 50代 | 7. 60代 | 8. 70代 | 9. 80代以上 | 10. 分からない |
|---------------|------|----------------------|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|-----------|
| 上段: 件数、下段: 横% | | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 71 | 4 | 0 | 8 | 10 | 8 | 8 | 9 | 7 | 8 | 9 |
| | - | 5.6 | 0.0 | 11.3 | 14.1 | 11.3 | 11.3 | 12.7 | 9.9 | 11.3 | 12.7 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 27 | 0 | 0 | 3 | 1 | 4 | 3 | 4 | 4 | 5 |
| | - | - | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 3.7 | 14.8 | 11.1 | 14.8 | 14.8 | 18.5 |
| | 真志喜中 | 22 | 2 | 0 | 2 | 7 | 3 | 3 | 1 | 2 | 0 |
| | - | - | 9.1 | 0.0 | 9.1 | 31.8 | 13.6 | 13.6 | 4.5 | 9.1 | 0.0 |
| | 嘉数中 | 17 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 |
| | - | - | 11.8 | 0.0 | 5.9 | 11.8 | 5.9 | 5.9 | 17.6 | 5.9 | 11.8 |
| | 宜野湾中 | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | - | - | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 |
| 年 齢 | 無回答 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 20代 | 8 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | - | - | 0.0 | 0.0 | 37.5 | 0.0 | 12.5 | 12.5 | 0.0 | 12.5 | 0.0 |
| | 30代 | 16 | 1 | 0 | 2 | 5 | 3 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| | - | - | 6.3 | 0.0 | 12.5 | 31.3 | 18.8 | 0.0 | 6.3 | 6.3 | 12.5 |
| | 40代 | 18 | 2 | 0 | 0 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 1 |
| | - | - | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 11.1 | 11.1 | 5.6 |
| 50代 | 14 | 1 | 0 | 3 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 3 |
| | - | - | 7.1 | 0.0 | 21.4 | 0.0 | 7.1 | 21.4 | 7.1 | 0.0 | 21.4 |
| | 60代 | 15 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 5 | 3 | 2 |
| | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 13.3 | 0.0 | 6.7 | 33.3 | 20.0 | 13.3 |

成年後見制度の利用について

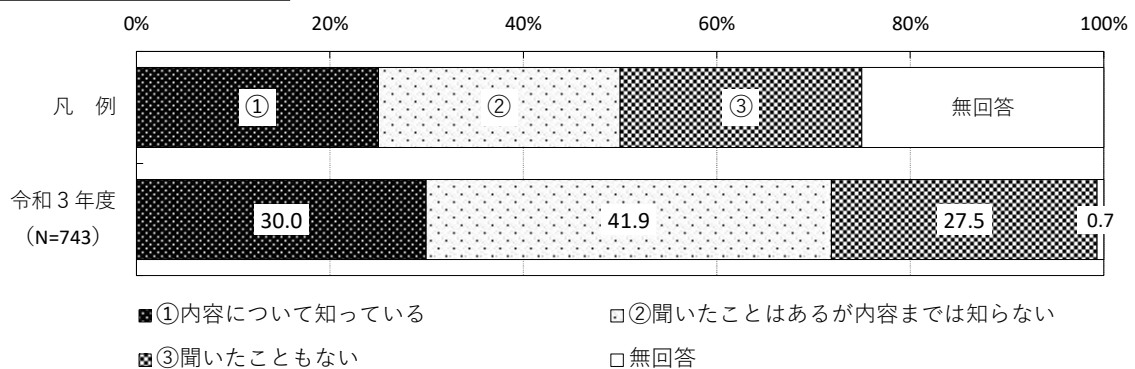
問 14 あなたは、成年後見制度についてご存じですか。【〇は1つ】

1. 内容について知っている 2. 聞いたことはあるが内容までは知らない 3. 聞いたこともない

成年後見制度の認知度について尋ねると、「2. 聞いたことはあるが内容までは知らない」が4割強（41.9%）で最も多く、「1. 内容について知っている」が約3割（30.0%）、「3. 聞いたこともない」が3割弱（27.5%）と続いていた。

年代別にみると、「3. 聞いたこともない」は「20代」（47.1%）で多く見られるなど、若い世代ほど制度への認知度が低い傾向にあることがうかがえる。

問14 成年後見制度の認知度



問14 成年後見制度の認知度

(単数回答)

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 内容について知っている | 2. 聞いたことはあるが内容までは知らない | 3. 聞いたこともない | 無回答 |
|------------------|------|-------------|----------------|-----------------------|-------------|------|
| 全 体 | | 743 | 223 | 311 | 204 | 5 |
| | | 100.0 | 30.0 | 41.9 | 27.5 | 0.7 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 71 | 102 | 65 | 2 |
| | | 100.0 | 29.6 | 42.5 | 27.1 | 0.8 |
| | 真志喜中 | 215 | 70 | 89 | 54 | 2 |
| | | 100.0 | 32.6 | 41.4 | 25.1 | 0.9 |
| | 嘉数中 | 168 | 52 | 68 | 48 | 0 |
| | | 100.0 | 31.0 | 40.5 | 28.6 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 109 | 29 | 48 | 32 | 0 |
| | | 100.0 | 26.6 | 44.0 | 29.4 | 0.0 |
| | 無回答 | 11 | 1 | 4 | 5 | 1 |
| | | 100.0 | 9.1 | 36.4 | 45.5 | 9.1 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 24 | 30 | 48 | 0 |
| | | 100.0 | 23.5 | 29.4 | 47.1 | 0.0 |
| | 30代 | 147 | 43 | 61 | 43 | 0 |
| | | 100.0 | 29.3 | 41.5 | 29.3 | 0.0 |
| | 40代 | 173 | 52 | 79 | 42 | 0 |
| | | 100.0 | 30.1 | 45.7 | 24.3 | 0.0 |
| | 50代 | 152 | 45 | 68 | 37 | 2 |
| | | 100.0 | 29.6 | 44.7 | 24.3 | 1.3 |
| | 60代 | 162 | 58 | 70 | 32 | 2 |
| | | 100.0 | 35.8 | 43.2 | 19.8 | 1.2 |
| | 無回答 | 7 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | | 100.0 | 14.3 | 42.9 | 28.6 | 14.3 |

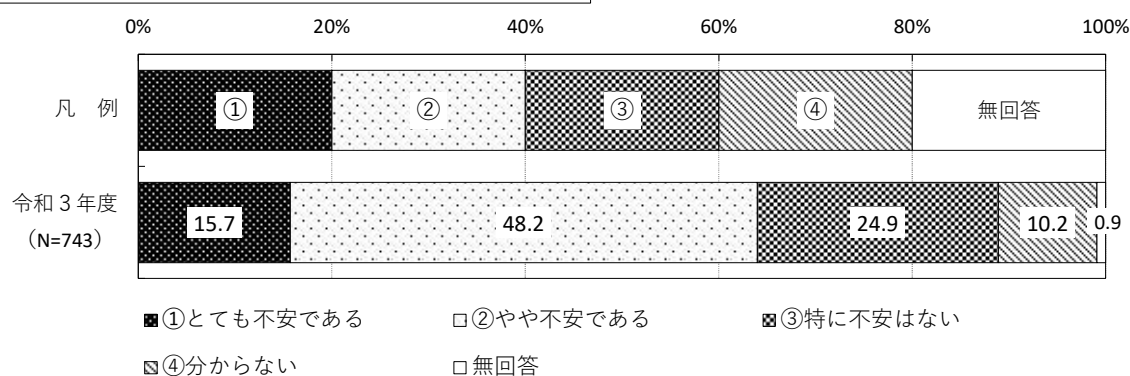
問15 将来、あなた自身や親族が高齢になったときに、福祉サービスなどの身の回りの契約手続や財産の管理を適切に行っていけるか不安がありますか。【〇は1つ】

1. とても不安である 2. やや不安である 3. 特に不安はない 4. 分からない

将来、福祉サービス等の契約手続や財産管理を適切に行うことへの不安を尋ねると、「2. やや不安である」が5割弱（48.2%）で最も多く、次いで「3. 特に不安はない」（24.9%）、「1. とても不安である」（15.7%）と続いている。

年代別にみると、「1. とても不安である」は「20代」（25.5%）で多く、「3. 特に不安はない」は「60代」（40.7%）、「50代」（30.3%）が多かった。福祉サービスや財産管理などが身近でなかったり、まだ所帯を持っていない方も多いため、若い世代ほど漠然とした不安を抱えている傾向が見受けられる。

問15 将来、契約手続や財産管理を適切に行うことへの不安



問15 将来、契約手続や財産管理を適切に行うことへの不安の有無

(単数回答)

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. 特に不安はない | 4. 分からない | 無回答 |
|------------------|------|-------------|-------------|------------|------------|----------|------|
| 全 体 | | 743 | 117 | 358 | 185 | 76 | 7 |
| | | 100.0 | 15.7 | 48.2 | 24.9 | 10.2 | 0.9 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 33 | 121 | 58 | 27 | 1 |
| | | 100.0 | 13.8 | 50.4 | 24.2 | 11.3 | 0.4 |
| | 真志喜中 | 215 | 36 | 98 | 58 | 20 | 3 |
| | | 100.0 | 16.7 | 45.6 | 27.0 | 9.3 | 1.4 |
| | 嘉数中 | 168 | 28 | 84 | 42 | 14 | 0 |
| | | 100.0 | 16.7 | 50.0 | 25.0 | 8.3 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 109 | 17 | 53 | 25 | 13 | 1 |
| | | 100.0 | 15.6 | 48.6 | 22.9 | 11.9 | 0.9 |
| | 無回答 | 11 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 100.0 | 27.3 | 18.2 | 18.2 | 18.2 | 18.2 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 26 | 49 | 13 | 14 | 0 |
| | | 100.0 | 25.5 | 48.0 | 12.7 | 13.7 | 0.0 |
| | 30代 | 147 | 27 | 85 | 20 | 13 | 2 |
| | | 100.0 | 18.4 | 57.8 | 13.6 | 8.8 | 1.4 |
| | 40代 | 173 | 26 | 91 | 39 | 16 | 1 |
| | | 100.0 | 15.0 | 52.6 | 22.5 | 9.2 | 0.6 |
| | 50代 | 152 | 19 | 72 | 46 | 13 | 2 |
| | | 100.0 | 12.5 | 47.4 | 30.3 | 8.6 | 1.3 |
| | 60代 | 162 | 17 | 58 | 66 | 20 | 1 |
| | | 100.0 | 10.5 | 35.8 | 40.7 | 12.3 | 0.6 |
| | 無回答 | 7 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 28.6 | 42.9 | 14.3 | 0.0 | 14.3 |

問16 将来、あなた自身や親族が認知症などになったとき、この制度を利用したいと思いますか。

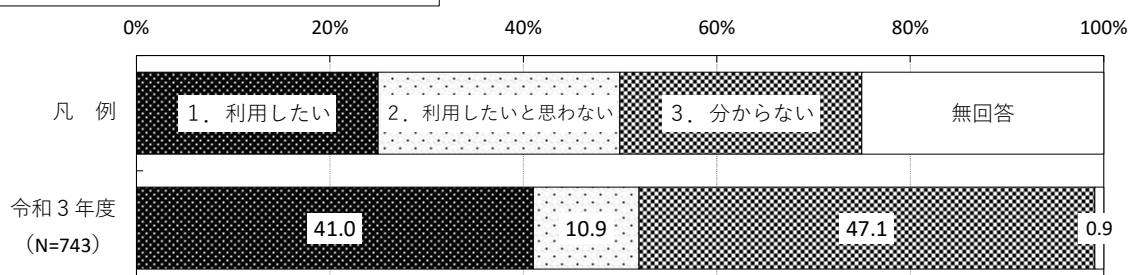
【〇は1つ】

| | | |
|----------|---------------|----------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したいと思わない | 3. 分からない |
|----------|---------------|----------|

将来における成年後見制度の利用意向を尋ねると、「3. 分からない」が5割弱（47.1%）で最も多く、次いで「1. 利用したい」（41.0%）、「2. 利用したいと思わない」（10.9%）と続いている。

年代別にみると、「2. 利用したいと思わない」が「60代」（19.1%）で他の年代に比べ多くなっている。

問16 将来における成年後見制度の利用意向



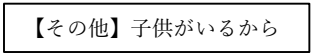
問16 将来における成年後見制度の利用意向

（単数回答）

| | | 上段: 件数、下段: 横% | 1. 利用したい | 2. 利用したいと思わない | 3. 分からない | 無回答 |
|------|------|---------------|----------|---------------|----------|------|
| 全 体 | | 743 | 305 | 81 | 350 | 7 |
| | | 100.0 | 41.0 | 10.9 | 47.1 | 0.9 |
| 中学校区 | 普天間中 | 240 | 94 | 26 | 119 | 1 |
| | | 100.0 | 39.2 | 10.8 | 49.6 | 0.4 |
| | 真志喜中 | 215 | 84 | 25 | 103 | 3 |
| | | 100.0 | 39.1 | 11.6 | 47.9 | 1.4 |
| | 嘉数中 | 168 | 72 | 20 | 75 | 1 |
| | | 100.0 | 42.9 | 11.9 | 44.6 | 0.6 |
| | 宜野湾中 | 109 | 50 | 7 | 51 | 1 |
| | | 100.0 | 45.9 | 6.4 | 46.8 | 0.9 |
| | 無回答 | 11 | 5 | 3 | 2 | 1 |
| | | 100.0 | 45.5 | 27.3 | 18.2 | 9.1 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 39 | 7 | 56 | 0 |
| | | 100.0 | 38.2 | 6.9 | 54.9 | 0.0 |
| | 30代 | 147 | 63 | 14 | 68 | 2 |
| | | 100.0 | 42.9 | 9.5 | 46.3 | 1.4 |
| | 40代 | 173 | 68 | 13 | 91 | 1 |
| | | 100.0 | 39.3 | 7.5 | 52.6 | 0.6 |
| | 50代 | 152 | 71 | 15 | 64 | 2 |
| | | 100.0 | 46.7 | 9.9 | 42.1 | 1.3 |
| | 60代 | 162 | 61 | 31 | 69 | 1 |
| | | 100.0 | 37.7 | 19.1 | 42.6 | 0.6 |
| | 無回答 | 7 | 3 | 1 | 2 | 1 |
| | | 100.0 | 42.9 | 14.3 | 28.6 | 14.3 |

| | |
|----------------------|--|
| 1. 後見人でなくても家族がいるから | 2. 手続きのことなど、どこに相談していいかわからないから |
| 3. 制度自体がよくわからないから | 4. 他人（家族含む）に財産等を任せることに不安があるから |
| 5. 費用がどのくらいかかるか不安だから | 6. その他〔 〕 |

問16-1 成年後見制度を利用したいと思わない理由（複数回答）



問16-1 成年後見制度を利用したいと思わない理由

(複数回答)

| | | 1. 後見人でなくても家族がいるから | 2. 手続きのことなど、どこに相談していか分からないから | 3. 制度自体がよく分からないから | 4. 他人(家族含む)に財産等を任せることに不安があるから | 5. 費用がどのくらいかかるか不安だから | 6. その他 |
|------------------|------|--------------------|------------------------------|-------------------|-------------------------------|----------------------|--------|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | |
| 全 体 | | 81 | 68 | 1 | 6 | 26 | 11 |
| | | － | 84.0 | 1.2 | 7.4 | 32.1 | 13.6 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 26 | 22 | 0 | 1 | 6 | 2 |
| | | － | 84.6 | 0.0 | 3.8 | 23.1 | 7.7 |
| | 真志喜中 | 25 | 19 | 1 | 2 | 9 | 3 |
| | | － | 76.0 | 4.0 | 8.0 | 36.0 | 12.0 |
| | 嘉数中 | 20 | 19 | 0 | 1 | 6 | 3 |
| | | － | 95.0 | 0.0 | 5.0 | 30.0 | 15.0 |
| | 宜野湾中 | 7 | 6 | 0 | 1 | 5 | 2 |
| | | － | 85.7 | 0.0 | 14.3 | 71.4 | 28.6 |
| | 無回答 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | | － | 66.7 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 |
| 年 齢 | 20代 | 7 | 6 | 0 | 1 | 2 | 1 |
| | | － | 85.7 | 0.0 | 14.3 | 28.6 | 14.3 |
| | 30代 | 14 | 11 | 1 | 2 | 6 | 4 |
| | | － | 78.6 | 7.1 | 14.3 | 42.9 | 28.6 |
| | 40代 | 13 | 8 | 0 | 0 | 7 | 3 |
| | | － | 61.5 | 0.0 | 0.0 | 53.8 | 23.1 |
| | 50代 | 15 | 15 | 0 | 2 | 6 | 2 |
| | | － | 100.0 | 0.0 | 13.3 | 40.0 | 13.3 |
| | 60代 | 31 | 28 | 0 | 1 | 5 | 0 |
| | | － | 90.3 | 0.0 | 3.2 | 16.1 | 0.0 |
| | 無回答 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | － | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |

災害への備えや災害時の対応について

問 17 地域における災害への備えとして、あなたの地域で早めに必要だと思うことは何ですか。

【〇は3つまで】

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1. 防災（減災）に関する学習会 | 2. 日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい |
| 3. 防災訓練、避難訓練 | 4. 危険な箇所の把握 |
| 5. 自主防災組織の結成や活性化 | 6. 非常食などの備蓄 |
| 7. 地域に居住する避難行動要支援者※ ⁴ の把握 | 8. 避難行動要支援者の避難を支援する体制づくり |
| 9. 避難所や避難ルートの確保・整備 | 10. その他〔.....〕 |
| 11. 分からない | |

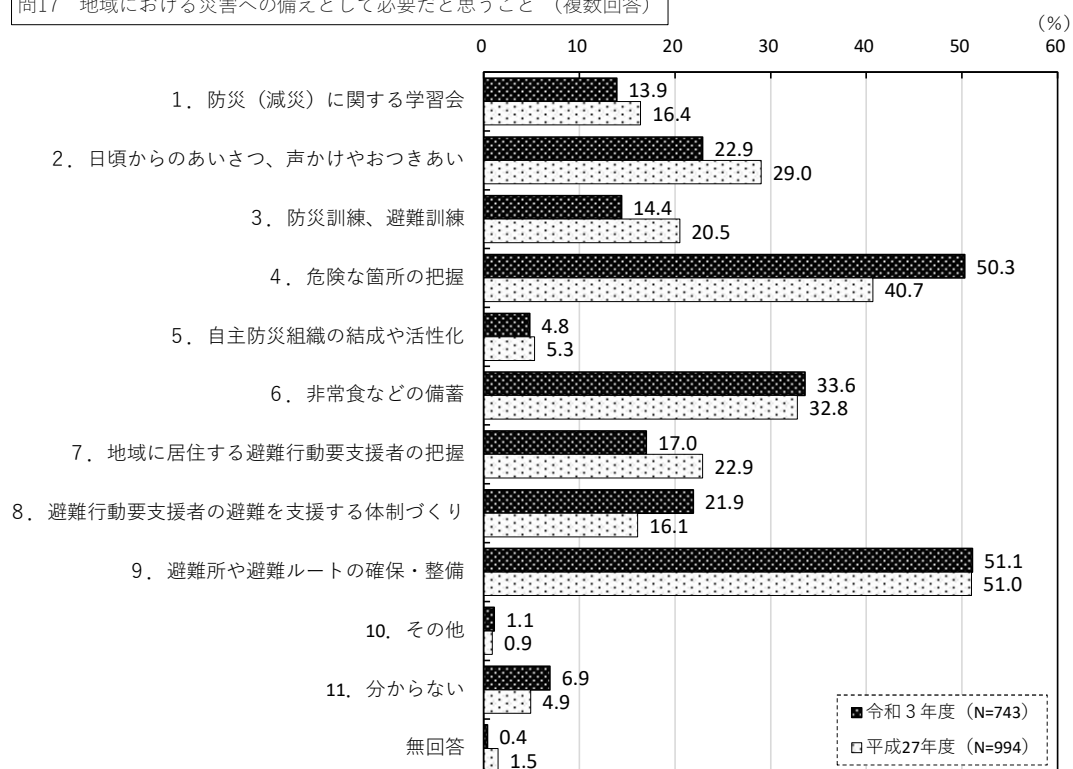
地域における災害への備えとして、必要と思うことを尋ねたところ、「9. 避難所や避難ルートの確保・整備」が5割強（51.1%）で最も多く、次いで、「4. 危険な箇所の把握」（50.3%）、「6. 非常食などの備蓄」（33.6%）と続いている。

中学校区別でみると、「6. 非常食などの備蓄」は「宜野湾中学校区」（41.3%）で多くなっている。

年代別にみると、「4. 危険な箇所の把握」については「20代」（62.7%）、「30代」（56.5%）で多く、「6. 非常食などの備蓄」についても同様に「20代」（47.1%）、「30代」（38.8%）が多い。

前回調査と比較すると、「4. 危険な箇所の把握」（前回調査結果 40.7%）が9.6ポイント増加している。また、上位の順は変わらないものの「8. 避難行動要支援者の避難を支援する体制づくり」が前は8番手（同 16.1%）だったものが5番手になっており、5.8ポイントの増加となっている。なお、「2. 日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい」（同 29.0%）・「3. 防災訓練、避難訓練」（同 20.5%）はどちらも6.1ポイントの減少となっている。

問17 地域における災害への備えとして必要だと思うこと（複数回答）



【その他】公民館、市役所のスピーカーで何を言っているのかはっきり聞こえない（２件）/古い家やコンクリートが落ちそうな家の対策を家主に促す/防災マップ、ハザードマップの情報へのアクセスのしにくさ。誰でも簡単に情報にアクセスできるような工夫/不審者もしくは、要注意人物の住所情報/女性の生理用品の備蓄やペット同伴の避難所開設/災害別防災マップ

問17 地域における災害への備えとして必要だと思うこと

(複数回答)

| | | 1. 防災(減災)に関する学習会 | | | | | | | | | | | | | 2. 日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい | 3. 防災訓練、避難訓練 | 4. 危険な箇所の把握 | 5. 自主防災組織の結成や活性化 | 6. 非常食などの備蓄 | 7. 地域に居住する避難行動要支援者の把握 | 8. 避難行動要支援者の避難を支援する体制づくり | 9. 避難所や避難ルートの確保・整備 | 10. その他 | 11. 分からない | 無回答 |
|-------------|------|------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------------------------|--------------|-------------|------------------|-------------|-----------------------|--------------------------|--------------------|---------|-----------|-----|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全 体 | | 743 | 103 | 170 | 107 | 374 | 36 | 250 | 126 | 163 | 380 | 8 | 51 | 3 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 13.9 | 22.9 | 14.4 | 50.3 | 4.8 | 33.6 | 17.0 | 21.9 | 51.1 | 1.1 | 6.9 | 0.4 | | | | | | | | | | | |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 32 | 63 | 37 | 114 | 15 | 76 | 45 | 51 | 114 | 4 | 20 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 13.3 | 26.3 | 15.4 | 47.5 | 6.3 | 31.7 | 18.8 | 21.3 | 47.5 | 1.7 | 8.3 | 0.4 | | | | | | | | | | | |
| | 真志喜中 | 215 | 31 | 44 | 29 | 107 | 9 | 69 | 36 | 52 | 110 | 1 | 15 | 0 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 14.4 | 20.5 | 13.5 | 49.8 | 4.2 | 32.1 | 16.7 | 24.2 | 51.2 | 0.5 | 7.0 | 0.0 | | | | | | | | | | | |
| | 嘉数中 | 168 | 27 | 36 | 22 | 94 | 7 | 57 | 28 | 32 | 95 | 2 | 9 | 0 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 16.1 | 21.4 | 13.1 | 56.0 | 4.2 | 33.9 | 16.7 | 19.0 | 56.5 | 1.2 | 5.4 | 0.0 | | | | | | | | | | | |
| | 宜野湾中 | 109 | 13 | 25 | 18 | 55 | 5 | 45 | 16 | 28 | 56 | 0 | 6 | 0 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 11.9 | 22.9 | 16.5 | 50.5 | 4.6 | 41.3 | 14.7 | 25.7 | 51.4 | 0.0 | 5.5 | 0.0 | | | | | | | | | | | |
| 無回答 | 11 | 0 | 2 | 1 | 4 | 0 | 3 | 1 | 0 | 5 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | |
| | - | 0.0 | 18.2 | 9.1 | 36.4 | 0.0 | 27.3 | 9.1 | 0.0 | 45.5 | 9.1 | 9.1 | 18.2 | | | | | | | | | | | | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 11 | 21 | 13 | 64 | 3 | 48 | 17 | 16 | 58 | 0 | 7 | 0 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 10.8 | 20.6 | 12.7 | 62.7 | 2.9 | 47.1 | 16.7 | 15.7 | 56.9 | 0.0 | 6.9 | 0.0 | | | | | | | | | | | |
| | 30代 | 147 | 21 | 30 | 27 | 83 | 6 | 57 | 25 | 33 | 88 | 2 | 4 | 0 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 14.3 | 20.4 | 18.4 | 56.5 | 4.1 | 38.8 | 17.0 | 22.4 | 59.9 | 1.4 | 2.7 | 0.0 | | | | | | | | | | | |
| | 40代 | 173 | 27 | 37 | 19 | 76 | 9 | 53 | 31 | 39 | 82 | 3 | 19 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 15.6 | 21.4 | 11.0 | 43.9 | 5.2 | 30.6 | 17.9 | 22.5 | 47.4 | 1.7 | 11.0 | 0.6 | | | | | | | | | | | |
| | 50代 | 152 | 24 | 37 | 22 | 72 | 11 | 45 | 30 | 43 | 76 | 1 | 5 | 0 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 15.8 | 24.3 | 14.5 | 47.4 | 7.2 | 29.6 | 19.7 | 28.3 | 50.0 | 0.7 | 3.3 | 0.0 | | | | | | | | | | | |
| | 60代 | 162 | 20 | 43 | 25 | 76 | 7 | 47 | 22 | 31 | 74 | 1 | 16 | 0 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 12.3 | 26.5 | 15.4 | 46.9 | 4.3 | 29.0 | 13.6 | 19.1 | 45.7 | 0.6 | 9.9 | 0.0 | | | | | | | | | | | |
| | 無回答 | 7 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | | | | | | | | | | | |
| | | - | 0.0 | 28.6 | 14.3 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 0.0 | 28.6 | | | | | | | | | | | |

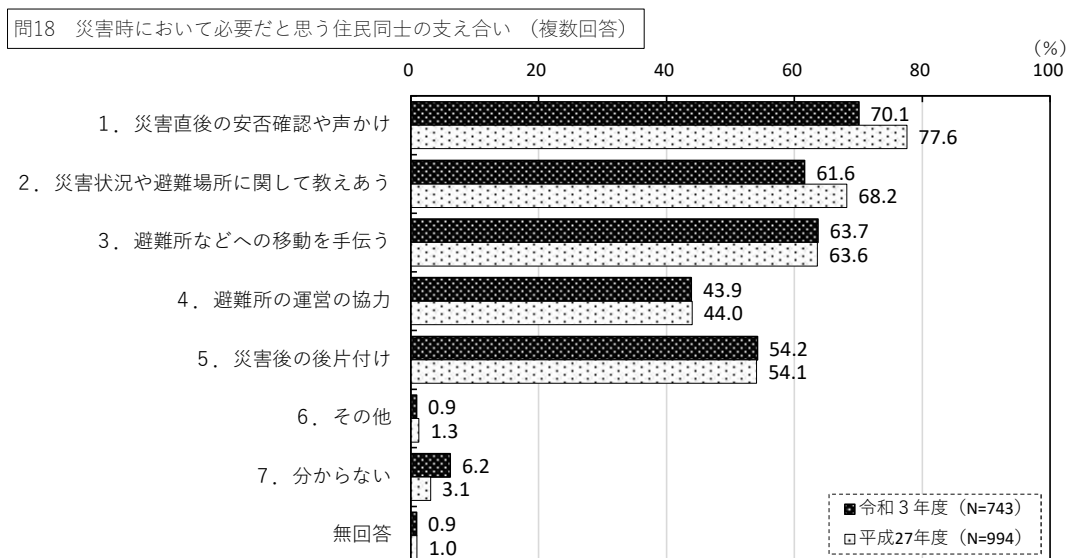
問18 災害（地震や津波、台風等）が起こった場合、あなたは住民同士でどのような支え合いが必要だと思いますか。【当てはまる全てに○】

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 災害直後の安否確認や声かけ | 2. 災害状況や避難場所に関して教えあう |
| 3. 避難所などへの移動を手伝う | 4. 避難所の運営の協力 |
| 5. 災害後の後片付け（被災した住宅や道路の清掃等） | 6. その他〔.....〕 |
| 7. 分からない | |

災害時に必要な支え合いについて尋ねたところ、「1. 災害直後の安否確認の声かけ」が約7割（70.1%）で最も多く、次いで、「3. 避難場所などへの移動を手伝う」（63.7%）、「2. 災害状況や避難場所に関して教えあう」（61.6%）と続いている。

年代別にみると、「30代」ではほとんどの選択肢について必要だと答えた方が多くっており、特に「4. 避難所の運営の協力」（54.4%）は他の年齢と比べて多い傾向がうかがえる。一方で、「60代」では「3. 避難所などへの移動を手伝う」（55.6%）や「4. 避難所の運営の協力」（35.2%）、「5. 災害後の後片付け（被災した住宅や道路の清掃等）」（48.1%）で回答者の割合が低くなっており、体力面から身体を使う支え合いの協力のが難しいことがうかがえる。

前回調査と比較すると、上位であることは変わらないが「1. 災害直後の安否確認や声かけ」（前回調査結果 77.6%）が7.5ポイントの減少、「2. 災害状況や避難場所に関して教えあう」が6.6ポイントの減少となっている。



【その他】 今後に備えての安全対策、環境整備/公民館周辺の安全確保/防犯情報の周知/災害レベルによっては、治安確保の為に協力/医療機関との連携/メンタルケア・サポート

問18 災害時において必要だと思う住民同士の支え合い

(複数回答)

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 災害直後の安否確認や声かけ | 2. 災害状況や避難場所に関して教えあう | 3. 避難所などへの移動を手伝う | 4. 避難所の運営の協力 | 5. 災害後の後片付け(被災した住宅や道路の清掃等) | 6. その他 | 7. 分からない | 無回答 |
|------------------|------|-------------|------------------|----------------------|------------------|--------------|----------------------------|--------|----------|-----|
| 全 体 | | 743 | 521 | 458 | 473 | 326 | 403 | 7 | 46 | 7 |
| | | - | 70.1 | 61.6 | 63.7 | 43.9 | 54.2 | 0.9 | 6.2 | 0.9 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 172 | 148 | 158 | 106 | 133 | 2 | 19 | 2 |
| | | - | 71.7 | 61.7 | 65.8 | 44.2 | 55.4 | 0.8 | 7.9 | 0.8 |
| | 真志喜中 | 215 | 143 | 130 | 139 | 93 | 116 | 1 | 11 | 3 |
| | | - | 66.5 | 60.5 | 64.7 | 43.3 | 54.0 | 0.5 | 5.1 | 1.4 |
| | 嘉数中 | 168 | 124 | 109 | 102 | 74 | 85 | 2 | 8 | 0 |
| | | - | 73.8 | 64.9 | 60.7 | 44.0 | 50.6 | 1.2 | 4.8 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 109 | 75 | 65 | 67 | 49 | 62 | 1 | 7 | 1 |
| | | - | 68.8 | 59.6 | 61.5 | 45.0 | 56.9 | 0.9 | 6.4 | 0.9 |
| | 無回答 | 11 | 7 | 6 | 7 | 4 | 7 | 1 | 1 | 1 |
| | | - | 63.6 | 54.5 | 63.6 | 36.4 | 63.6 | 9.1 | 9.1 | 9.1 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 67 | 59 | 68 | 42 | 54 | 1 | 7 | 0 |
| | | - | 65.7 | 57.8 | 66.7 | 41.2 | 52.9 | 1.0 | 6.9 | 0.0 |
| | 30代 | 147 | 112 | 97 | 104 | 80 | 88 | 0 | 5 | 2 |
| | | - | 76.2 | 66.0 | 70.7 | 54.4 | 59.9 | 0.0 | 3.4 | 1.4 |
| | 40代 | 173 | 119 | 105 | 109 | 75 | 91 | 2 | 12 | 2 |
| | | - | 68.8 | 60.7 | 63.0 | 43.4 | 52.6 | 1.2 | 6.9 | 1.2 |
| | 50代 | 152 | 106 | 97 | 96 | 70 | 87 | 3 | 8 | 3 |
| | | - | 69.7 | 63.8 | 63.2 | 46.1 | 57.2 | 2.0 | 5.3 | 2.0 |
| | 60代 | 162 | 111 | 95 | 90 | 57 | 78 | 0 | 14 | 0 |
| | | - | 68.5 | 58.6 | 55.6 | 35.2 | 48.1 | 0.0 | 8.6 | 0.0 |
| | 無回答 | 7 | 6 | 5 | 6 | 2 | 5 | 1 | 0 | 0 |
| | | - | 85.7 | 71.4 | 85.7 | 28.6 | 71.4 | 14.3 | 0.0 | 0.0 |

問19 宜野湾市では、避難行動要支援者（避難に際して介助等が必要な方）の安全な避難のため、「避難行動要支援者名簿」の作成に取り組んでいます。あなたはこの取り組みをご存じですか。
【〇は1つ】

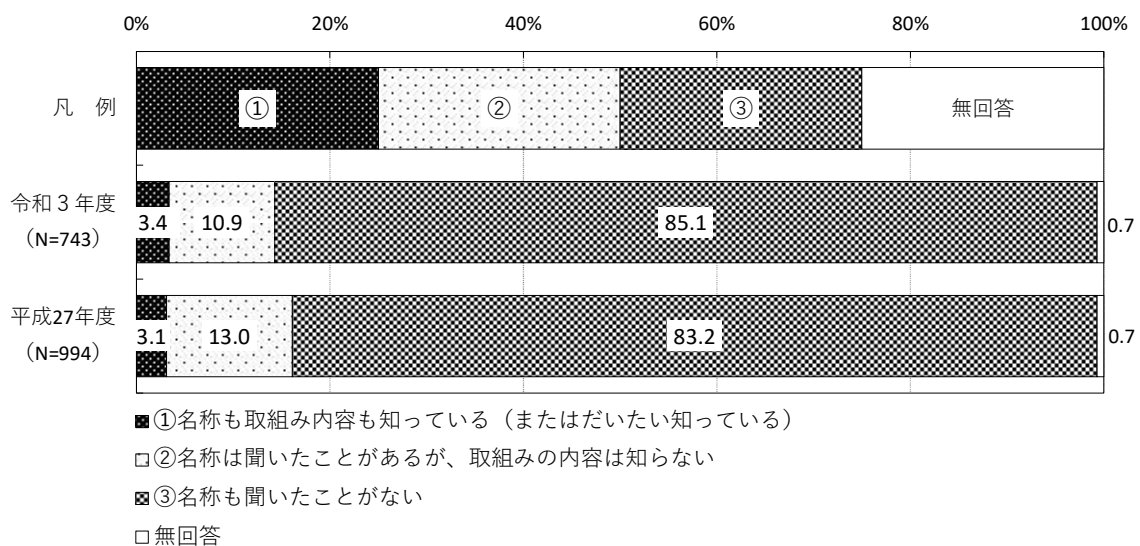
- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 名称も取組み内容も知っている（またはだいたい知っている） | 3. 名称も聞いたことがない |
| 2. 名称は聞いたことがあるが、取組みの内容は知らない | |

災害時要援護者登録制度の認知状況についてみると、「3. 名称も聞いたことがない」が9割弱（85.1%）を占めており、次いで、「2. 名称は聞いたことがあるが、取組みの内容は知らない」（10.9%）、「1. 名称も取組み内容も知っている（またはだいたい知っている）」（3.4%）となっている。

年代別でみると、「1. 名称も取組み内容も知っている」について全ての年代で1割に満たない状況である。また、「3. 名称も聞いたことがない」については「20代」（92.2%）で比較的多くなっている。

前回調査との比較を見ても本制度の認知状況は低いままとなっていることから、登録制度の周知及び登録促進を図っていく必要がある。

問19 「避難行動要支援者名簿」の認知度



問19 「避難行動要支援者名簿」の認知度

(単数回答)

| | | 1. 名称も 取組み内 容も知っ ている | 2. 名称は 聞いたこ とがあるが、 取組みの 内容は知 らない | 3. 名称も 聞いたこ とがない | 無回答 | | |
|------------------|--------------|-------------------------------|---|------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 上段:件数、下段:横% | | | | | | | |
| 全 体 | | 743 100.0 | 25 3.4 | 81 10.9 | 632 85.1 | 5 0.7 | |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 100.0 | 10 4.2 | 27 11.3 | 202 84.2 | 1 0.4 | |
| | | 真志喜中 | 215 100.0 | 8 3.7 | 23 10.7 | 180 83.7 | 4 1.9 |
| | 嘉数中 | | 168 100.0 | 3 1.8 | 20 11.9 | 145 86.3 | 0 0.0 |
| | | 宜野湾中 | 109 100.0 | 4 3.7 | 9 8.3 | 96 88.1 | 0 0.0 |
| | 無回答 | | 11 100.0 | 0 0.0 | 2 18.2 | 9 81.8 | 0 0.0 |
| | | 年 齢 | 20代 | 102 100.0 | 2 2.0 | 5 4.9 | 94 92.2 |
| | 30代 | | | 147 100.0 | 6 4.1 | 16 10.9 | 125 85.0 |
| | | | 40代 | 173 100.0 | 4 2.3 | 18 10.4 | 149 86.1 |
| 50代 | 152 100.0 | | | 4 2.6 | 20 13.2 | 126 82.9 | 2 1.3 |
| | 60代 | | 162 100.0 | 9 5.6 | 21 13.0 | 132 81.5 | 0 0.0 |
| 無回答 | | | 7 100.0 | 0 0.0 | 1 14.3 | 6 85.7 | 0 0.0 |

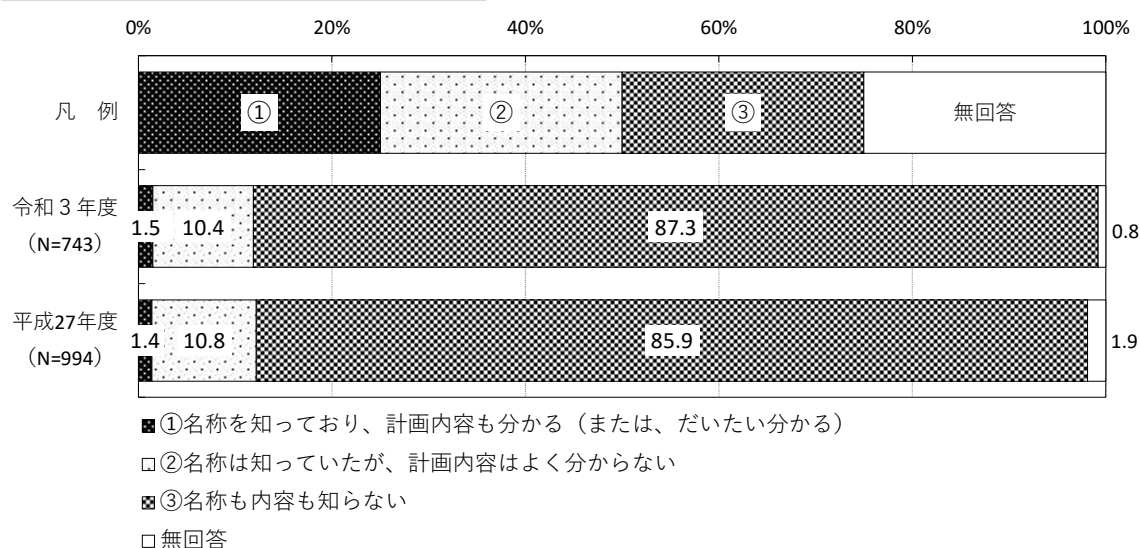
問20 「第三次宜野湾市地域福祉計画」について、ご存じですか。【〇は1つ】

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 1. 名称を知っており、計画内容も分かる（または、だいたい分かる） | 3. 名称も内容も知らない |
| 2. 名称は知っていたが、計画内容はよく分からない | |

第三次宜野湾市地域福祉計画の認知状況についてみると、「3. 名称も内容も知らない」が9割弱（87.3%）を占めており、「2. 名称は知っていたが、計画内容はよく分からない」（10.4%）、「1. 名称を知っており、計画内容も分かる」（1.5%）と続いている。

前回調査で尋ねた『第二次宜野湾市地域福祉計画』の認知状況と比較すると、「3. 名称も内容も知らない」（前回調査結果 85.9%）がわずかに増加しているものの、依然として認知度は低く、引き続き同計画が市民に認知されていない状況にある。

問20 「第三次宜野湾市地域福祉計画」の認知度



問20 「第三次宜野湾市地域福祉計画」の認知度

(単数回答)

| | | 上段:件数、下段:横% | 1. 名称を知っており、計画内容も分かる | 2. 名称は知っていたが、計画内容はよく分からない | 3. 名称も内容も知らない | 無回答 |
|------------------|------|-------------|----------------------|---------------------------|---------------|-----|
| 全 体 | | 743 | 11 | 77 | 649 | 6 |
| | | 100.0 | 1.5 | 10.4 | 87.3 | 0.8 |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 | 4 | 27 | 207 | 2 |
| | | 100.0 | 1.7 | 11.3 | 86.3 | 0.8 |
| | 真志喜中 | 215 | 5 | 23 | 184 | 3 |
| | | 100.0 | 2.3 | 10.7 | 85.6 | 1.4 |
| | 嘉数中 | 168 | 0 | 18 | 150 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 10.7 | 89.3 | 0.0 |
| | 宜野湾中 | 109 | 2 | 9 | 97 | 1 |
| | | 100.0 | 1.8 | 8.3 | 89.0 | 0.9 |
| | 無回答 | 11 | 0 | 0 | 11 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 1 | 11 | 90 | 0 |
| | | 100.0 | 1.0 | 10.8 | 88.2 | 0.0 |
| | 30代 | 147 | 3 | 18 | 126 | 0 |
| | | 100.0 | 2.0 | 12.2 | 85.7 | 0.0 |
| | 40代 | 173 | 3 | 13 | 155 | 2 |
| | | 100.0 | 1.7 | 7.5 | 89.6 | 1.2 |
| | 50代 | 152 | 1 | 16 | 133 | 2 |
| | | 100.0 | 0.7 | 10.5 | 87.5 | 1.3 |
| | 60代 | 162 | 3 | 19 | 138 | 2 |
| | | 100.0 | 1.9 | 11.7 | 85.2 | 1.2 |
| | 無回答 | 7 | 0 | 0 | 7 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 |

問21 地域福祉を推進する宜野湾市内の以下の関係団体や施設、人材について、ご存じですか。

【〇は1つつ】

| 地域福祉を推進する関係団体や人材 | 名前も活動内容も知っている | 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない | 名前も聞いたことがない |
|------------------|---------------|------------------------|-------------|
| 宜野湾市社会福祉協議会（社協） | 1 | 2 | 3 |
| チュイシージーセンターさんさん | 1 | 2 | 3 |
| 権利擁護支援センターうるる | 1 | 2 | 3 |
| 民生委員・児童委員 | 1 | 2 | 3 |
| 地域福祉コーディネーター | 1 | 2 | 3 |
| 見守りおかえりサポーター | 1 | 2 | 3 |

地域福祉を推進する宜野湾市内関係団体や施設、人材について、それぞれの認知度についてうかがった。

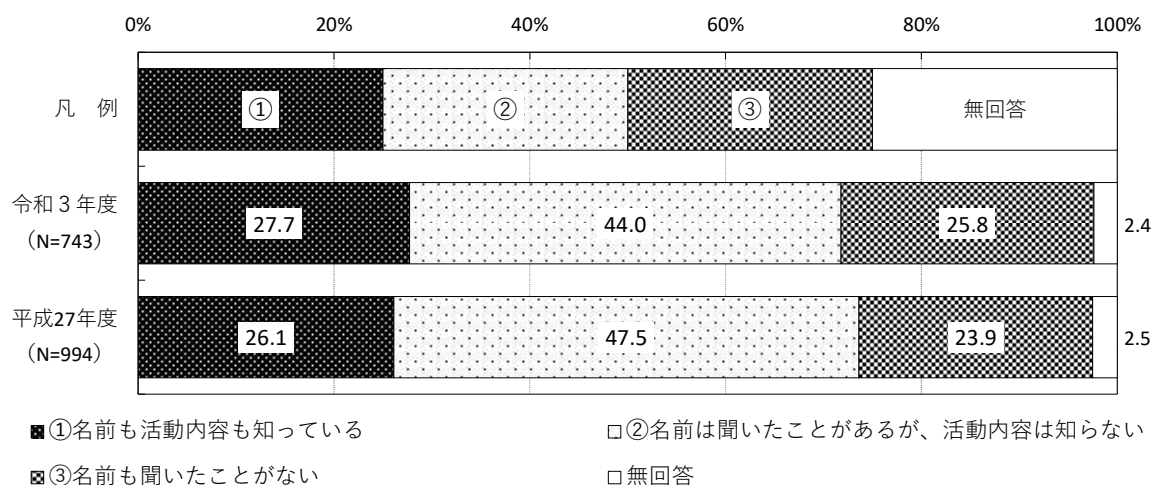
【宜野湾市社会福祉協議会（社協）】

宜野湾市社会福祉協議会の認知状況についてみると、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が4割強（44.0%）で多く、次いで、「1. 名前も活動内容も知っている」（27.7%）、「3. 名前も聞いたことがない」（25.8%）となっている。

中学校区別でみると、「1. 名前も活動内容も知っている」については社協の所在地とも近い「普天間中学校区」（32.1%）、「宜野湾中学校区」（31.2%）で多くなっている。一方で、「3. 名前も聞いたことがない」については「嘉数中学校区」（31.0%）、「真志喜中学校区」（24.2%）で多くなっている。

年代別でみると、「1. 名前も活動内容も知っている」については「50代」（33.6%）、「60代」（32.7%）で多くなっている。また、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」は「20代」（31.4%）で多く、「3. 名前も聞いたことがない」は「20代」（51.0%）、「30代」（37.4%）で多くなっており、若い年代ほど認知状況が低いことがうかがえる。

問21 ①宜野湾市社会福祉協議会（社協）の認知度



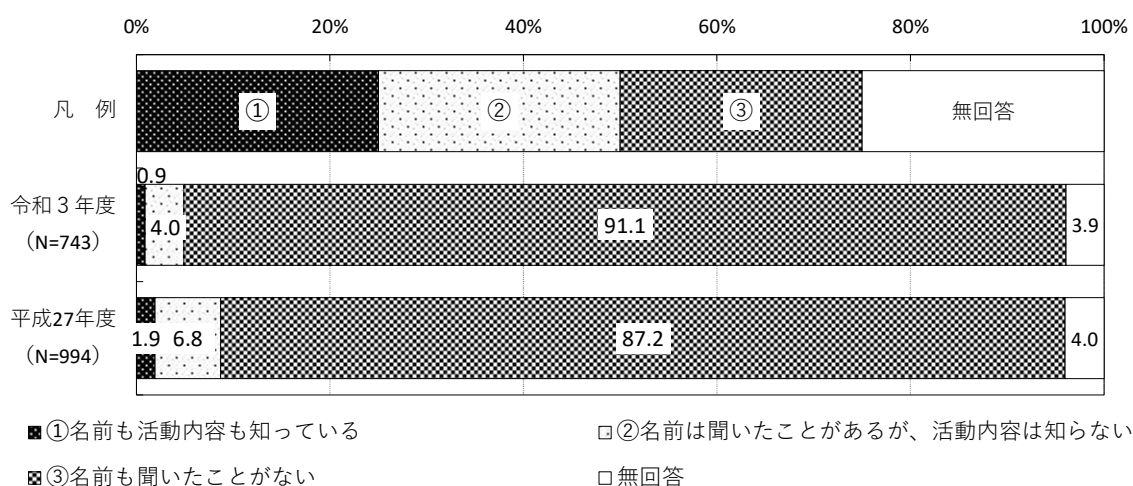
【チュイシージーセンターさんさん】

「チュイシージーセンターさんさん」の認知状況についてみると、「3. 名前も聞いたことがない」が9割強（91.1%）と殆どを占めており、次いで、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」（4.0%）「1. 名前も活動内容も知っている」（0.9%）となっており、同センターが多くの市民に対し認知度が低いことがうかがえる。

年代別でみると、「3. 名前も聞いたことがない」は「20代」（97.1%）で多くなっている。

前回調査よりも認知度が低くなっている傾向にあることから、より一層同センターの周知を図る取組みが必要と思われる。

問21 ②チュイシージーセンターさんさんの認知度

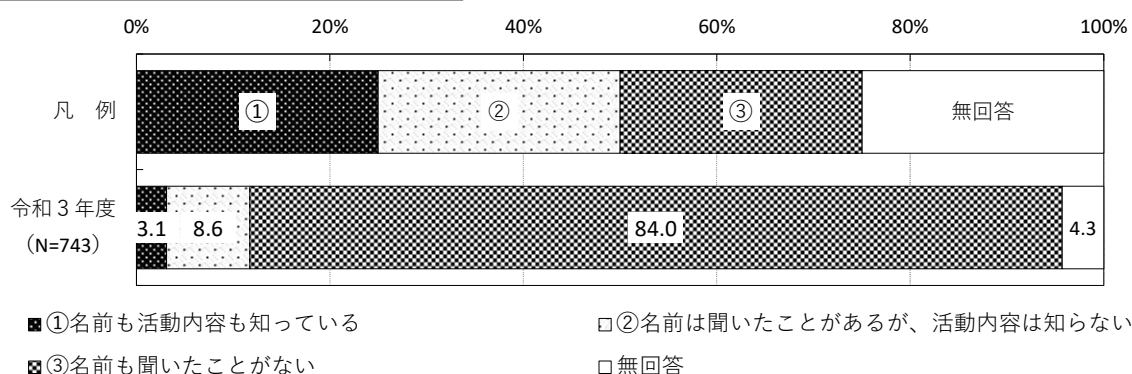


【権利擁護支援センターうるる】

「権利擁護支援センターうるる」の認知状況についてみると、「3. 名前も聞いたことがない」が8割強（84.0%）で多く、次いで、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」（8.6%）「1. 名前も活動内容も知っている」（3.1%）となっている。

年代別でみると、「3. 名前も聞いたことがない」は「20代」（91.2%）、「30代」（88.4%）で多くなっており、同センターの取組みである福祉サービスの手続きや財産管理が未だ身近でない分、若い世代ほど認知度が低いものと思われる。

問21 ③権利擁護支援センターうるるの認知度



【民生委員・児童委員】

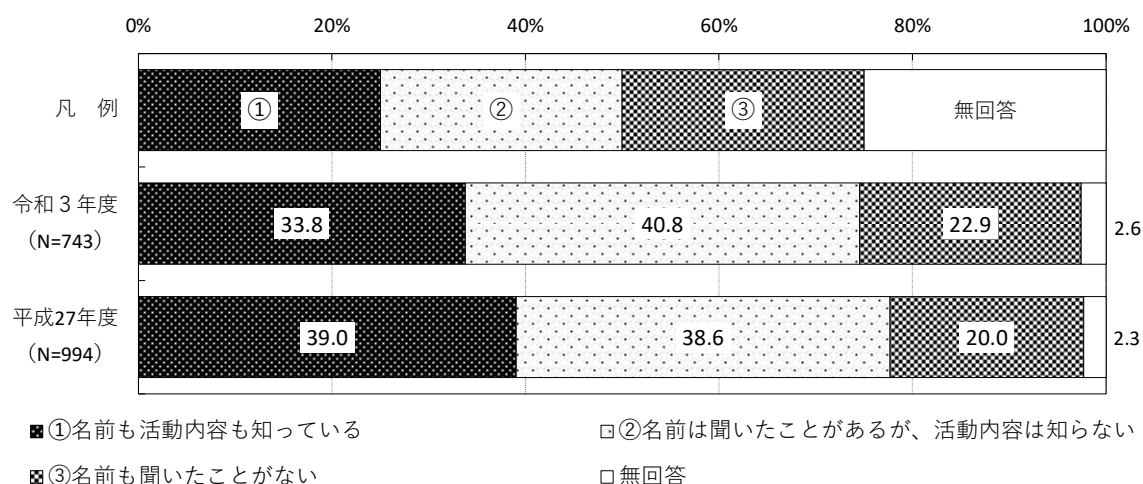
民生委員・児童委員の認知状況についてみると、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が約4割(40.8%)で多く、次いで、「1. 名前も活動内容も知っている」(33.8%)、「3. 名前も聞いたことがない」(22.9%)となっている。

中学校区別でみると、「1. 名前も活動内容も知っている」について「宜野湾中学校区」(39.4%)で多くなっている。

年代別でみると、「1. 名前も活動内容も知っている」については40～60代でいずれも4割程度と多くなっており、一方で「3. 名前も聞いたことがない」は「20代」(52.0%)で最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「1. 名前も活動内容も知っている」(前回調査結果 39.0%)が5.2ポイント減少し、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」と順位が逆転していることから、民生委員・児童委員についての認知度が低くなっていることがうかがえる。

問21 ④民生委員・児童委員の認知度



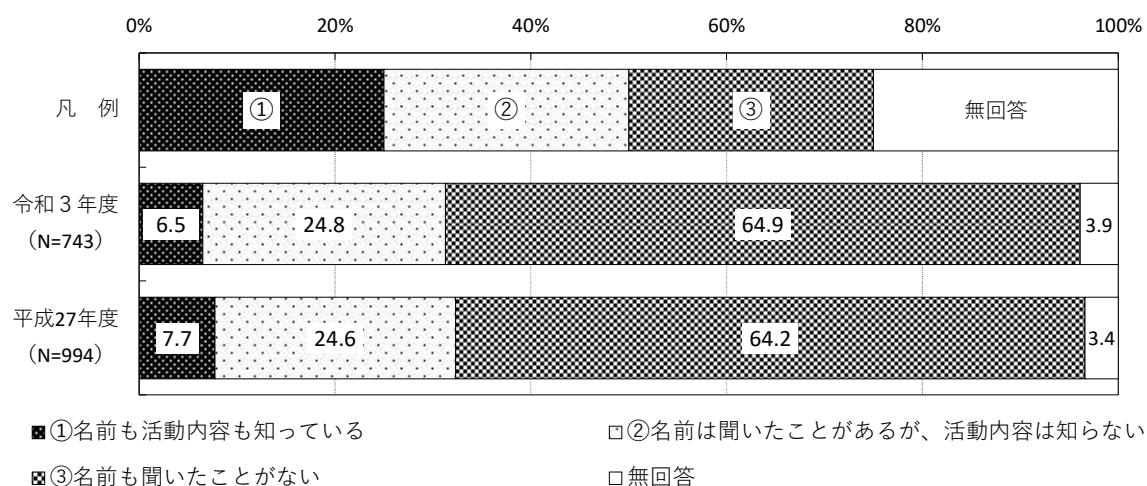
【地域福祉コーディネーター】

「地域福祉コーディネーター」の認知状況についてみると、「3. 名前も聞いたことがない」が6割強（64.9%）で多く、次いで、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」（24.8%）、「1. 名前も活動内容も知っている」（6.5%）となっている。

中学校区別でみると、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が「宜野湾中学校区」（34.9%）で多く、「3. 名前も聞いたことがない」が「嘉数中学校区」（70.2%）で多くなっている。

年代別でみると、「3. 名前も聞いたことがない」については「20代」（70.6%）で最も多くなっている。

問21 ⑤地域福祉コーディネーターの認知度



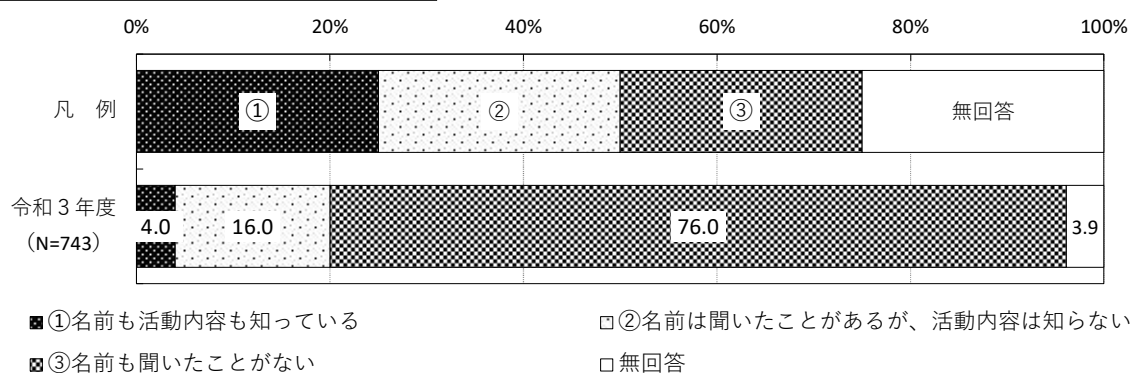
【見守りおかえりサポーター】

「見守りおかえりサポーター」の認知状況についてみると、「3. 名前も聞いたことがない」が8割弱（76.0%）で多く、次いで、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」（16.0%）、「1. 名前も活動内容も知っている」（4.0%）となっている。

中学校区別でみると、「3. 名前も聞いたことがない」について「嘉数中学校区」（82.7%）で多くなっている。

年代別でみると、「2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」は「30代」（21.1%）で多くなっており、「3. 名前も聞いたことがない」については「20代」（85.3%）で最も多くなっている。

問21 ⑥見守りおかえりサポーターの認知度



問21 ①宜野湾市社会福祉協議会(社協)の認知度

(単数回答)

| | 上段 件数、下段 割合 | ①宜野湾市社会福祉協議会(社協)の認知度 | | | | ②チュニジーゼンセンターさんさんの認知度 | | | | ③福利施設支援センターさんの認知度 | | | | ④民生委員・児童委員の認知度 | | | | ⑤地域福祉コーディネーターの認知度 | | | | ⑥見守りおかえりサポーターの認知度 | | | | |
|---------|-------------|-----------------------|--|---------------------|-----|-----------------------|--|---------------------|-----|-----------------------|--|---------------------|------|-----------------------|--|---------------------|------|-----------------------|--|-----------------------|--|-----------------------|--|------|------|----|
| | | 名前も活 動内容も 知っている | 名前は聞 いたことが あるが、活 動内容は 知らない | 名前も聞 いたことが ない | 無回答 | 名前も活 動内容も 知っている | 名前は聞 いたことが あるが、活 動内容は 知らない | 名前も聞 いたことが ない | 無回答 | 名前も活 動内容も 知っている | 名前は聞 いたことが あるが、活 動内容は 知らない | 名前も聞 いたことが ない | 無回答 | 名前も活 動内容も 知っている | 名前は聞 いたことが あるが、活 動内容は 知らない | 名前も聞 いたことが ない | 無回答 | 名前も活 動内容も 知っている | 名前は聞 いたことが あるが、活 動内容は 知らない | 名前も活 動内容も 知っている | 名前は聞 いたことが あるが、活 動内容は 知らない | 名前も活 動内容も 知っている | 名前は聞 いたことが あるが、活 動内容は 知らない | | | |
| 中 学 校 区 | 全 体 | 743 | 206 | 327 | 192 | 18 | 7 | 30 | 677 | 29 | 23 | 64 | 624 | 32 | 251 | 303 | 170 | 19 | 48 | 184 | 482 | 29 | 30 | 119 | 565 | 29 |
| | 100.0 | 27.7 | 44.0 | 25.8 | 2.4 | 0.9 | 4.0 | 91.1 | 3.9 | 3.1 | 8.6 | 84.0 | 4.3 | 33.8 | 40.8 | 22.9 | 2.6 | 6.5 | 24.8 | 64.9 | 3.9 | 4.0 | 16.0 | 76.0 | 3.9 | |
| | 240 | 77 | 107 | 51 | 5 | 5 | 11 | 217 | 7 | 10 | 21 | 201 | 8 | 90 | 98 | 49 | 3 | 18 | 59 | 154 | 9 | 16 | 45 | 171 | 8 | |
| | 100.0 | 32.1 | 44.6 | 21.3 | 2.1 | 2.1 | 4.6 | 90.4 | 2.9 | 4.2 | 8.8 | 83.8 | 3.3 | 37.5 | 40.8 | 20.4 | 1.3 | 7.5 | 24.6 | 64.2 | 3.8 | 6.7 | 18.8 | 71.3 | 3.3 | |
| | 215 | 57 | 90 | 61 | 7 | 2 | 8 | 195 | 10 | 7 | 22 | 176 | 10 | 71 | 88 | 48 | 8 | 15 | 50 | 140 | 10 | 2 | 38 | 165 | 10 | |
| | 100.0 | 26.5 | 41.9 | 28.4 | 3.3 | 0.9 | 3.7 | 90.7 | 4.7 | 3.3 | 10.2 | 81.9 | 4.7 | 33.0 | 40.9 | 22.3 | 3.7 | 7.0 | 23.3 | 65.1 | 4.7 | 0.9 | 17.7 | 76.7 | 4.7 | |
| | 168 | 37 | 77 | 52 | 2 | 0 | 5 | 157 | 6 | 3 | 10 | 148 | 7 | 45 | 71 | 48 | 4 | 9 | 35 | 118 | 6 | 7 | 16 | 139 | 6 | |
| | 100.0 | 22.0 | 45.8 | 31.0 | 1.2 | 0.0 | 3.0 | 93.5 | 3.6 | 1.8 | 6.0 | 88.1 | 4.2 | 26.8 | 42.3 | 28.6 | 2.4 | 5.4 | 20.8 | 70.2 | 3.6 | 4.2 | 9.5 | 82.7 | 3.6 | |
| | 109 | 34 | 46 | 27 | 2 | 0 | 6 | 99 | 4 | 3 | 11 | 90 | 5 | 43 | 42 | 22 | 2 | 5 | 38 | 64 | 2 | 5 | 19 | 82 | 3 | |
| | 100.0 | 31.2 | 42.2 | 24.8 | 1.8 | 0.0 | 5.5 | 90.8 | 3.7 | 2.8 | 10.1 | 82.6 | 4.6 | 39.4 | 38.5 | 20.2 | 1.8 | 4.6 | 34.9 | 58.7 | 1.8 | 4.6 | 17.4 | 75.2 | 2.8 | |
| 11 | 1 | 7 | 1 | 2 | 0 | 0 | 9 | 2 | 0 | 0 | 0 | 9 | 2 | 2 | 4 | 3 | 2 | 1 | 2 | 6 | 2 | 0 | 1 | 8 | 2 | |
| 100.0 | 9.1 | 63.6 | 9.1 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 81.8 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 81.8 | 18.2 | 18.2 | 36.4 | 27.3 | 18.2 | 9.1 | 18.2 | 54.5 | 18.2 | 0.0 | 9.1 | 72.7 | 18.2 | |
| 年 齢 | 20代 | 102 | 18 | 32 | 52 | 0 | 1 | 1 | 99 | 1 | 4 | 4 | 93 | 1 | 24 | 25 | 53 | 0 | 10 | 20 | 72 | 0 | 5 | 10 | 87 | 0 |
| | 100.0 | 17.6 | 31.4 | 51.0 | 0.0 | 1.0 | 1.0 | 97.1 | 1.0 | 3.9 | 3.9 | 91.2 | 1.0 | 23.5 | 24.5 | 52.0 | 0.0 | 9.8 | 19.6 | 70.6 | 0.0 | 4.9 | 9.8 | 85.3 | 0.0 | |
| | 147 | 32 | 58 | 55 | 2 | 1 | 3 | 141 | 2 | 3 | 12 | 130 | 2 | 33 | 67 | 45 | 2 | 8 | 40 | 97 | 2 | 0 | 31 | 114 | 2 | |
| | 100.0 | 21.8 | 39.5 | 37.4 | 1.4 | 0.7 | 2.0 | 95.9 | 1.4 | 2.0 | 8.2 | 88.4 | 1.4 | 22.4 | 45.6 | 30.6 | 1.4 | 5.4 | 27.2 | 66.0 | 1.4 | 0.0 | 21.1 | 77.6 | 1.4 | |
| | 173 | 52 | 83 | 37 | 1 | 1 | 0 | 162 | 3 | 3 | 17 | 150 | 3 | 67 | 77 | 26 | 3 | 9 | 49 | 111 | 4 | 8 | 27 | 135 | 3 | |
| | 100.0 | 30.1 | 48.0 | 21.4 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 93.6 | 1.7 | 1.7 | 9.8 | 86.7 | 1.7 | 38.7 | 44.5 | 15.0 | 1.7 | 5.2 | 28.3 | 64.2 | 2.3 | 4.6 | 15.6 | 78.0 | 1.7 | |
| | 152 | 51 | 72 | 23 | 6 | 2 | 7 | 135 | 8 | 6 | 13 | 125 | 8 | 57 | 65 | 25 | 5 | 11 | 33 | 100 | 8 | 7 | 19 | 118 | 8 | |
| | 100.0 | 33.6 | 47.4 | 15.1 | 3.9 | 1.3 | 4.6 | 88.8 | 5.3 | 3.9 | 8.6 | 82.2 | 5.3 | 37.5 | 42.8 | 16.4 | 3.3 | 7.2 | 21.7 | 65.8 | 5.3 | 4.6 | 12.5 | 77.6 | 5.3 | |
| | 162 | 53 | 78 | 24 | 7 | 3 | 11 | 135 | 13 | 7 | 18 | 121 | 16 | 69 | 66 | 20 | 7 | 9 | 42 | 98 | 13 | 10 | 32 | 106 | 14 | |
| | 100.0 | 32.7 | 48.1 | 14.8 | 4.3 | 1.9 | 6.8 | 83.3 | 8.0 | 4.3 | 11.1 | 74.7 | 9.9 | 42.6 | 40.7 | 12.3 | 4.3 | 5.6 | 25.9 | 60.5 | 8.0 | 6.2 | 19.8 | 65.4 | 8.6 | |
| 7 | 0 | 4 | 1 | 2 | 0 | 0 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 0 | 4 | 2 | 0 | 0 | 5 | 2 | |
| 100.0 | 0.0 | 57.1 | 14.3 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 71.4 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 71.4 | 28.6 | 14.3 | 42.9 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 0.0 | 57.1 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 71.4 | 28.6 | |

問22 宜野湾市が進める地域福祉の以下の取組みの満足度や重要度について、ご記入ください。

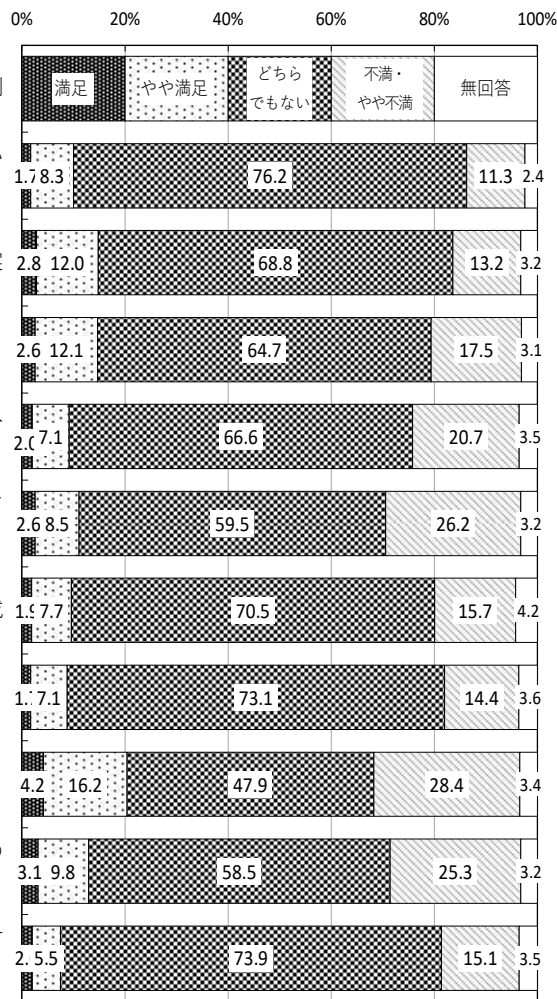
| ※満足度や重要度について、あなたご自身の感じ方をお答えください。 ※○は全部で20か所にご記入ください (10問×2箇所) | | 満足度 | | | | | 重要度 | | | | |
|---|----------------------|---------|-----------|--------------|-----------|---------|---------|-----------|--------------|----------------|-------------|
| | | 1 満足 | 2 やや満足 | 3 どちらでもない | 4 やや不満 | 5 不満 | 1 重要 | 2 やや重要 | 3 どちらでもない | 4 あまり重要ではない | 5 重要ではない |
| ① | 地域で住民同士が互いに支え合う活動の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② | 福祉活動の場の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ | 地域で取り組む防犯・防災対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ | 生活課題を抱える方への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ | 経済的に厳しい子育て家庭への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ | 地域を担う人材の育成 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ | ボランティアの育成・活動の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ | 人にやさしいまちづくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ | 相談窓口や情報提供の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ | 判断能力が不十分な方の権利を守るしくみ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

宜野湾市の地域福祉の取組みにおいて、10個の項目に対し満足度や重要度を尋ねた。

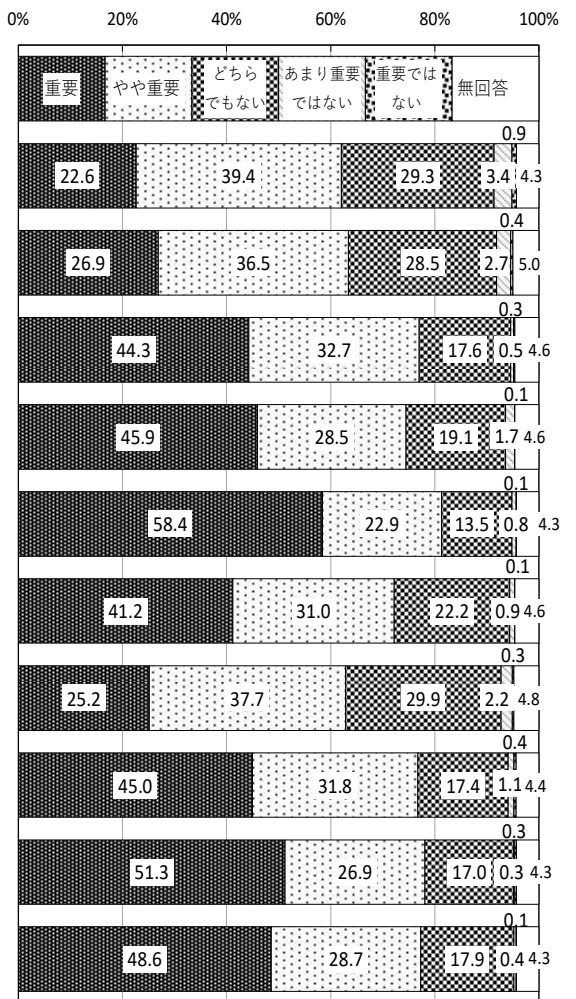
満足度については、「⑧人にやさしいまちづくり」で『満足』（「1満足」＋「2やや満足」）とした回答が約2割（20.4%）と多くみられたものの、『不満』（「4やや不満」＋「5不満」）とした回答も3割弱（28.4%）で最も多くなっている。また、『不満』とした取組みについて「⑤経済的に厳しい子育て家庭への支援」（26.2%）や「⑨相談窓口や情報提供の充実」（25.3%）が多くなっている。

重要度については、「⑤経済的に厳しい子育て家庭への支援」が『重要』（「1重要」＋「2やや重要」）とした回答が8割強（81.3%）で最も多く、次いで「⑨相談窓口や情報提供の充実」（78.2%）、「⑩判断能力が不十分な方の権利を守るしくみ」（77.3%）、「③地域で取り組む防犯・防災対策」（77.0%）と続いている。また、「①地域で住民同士が互いに支え合う活動の充実」については『重要でない』（「4あまり重要ではない」＋「5重要ではない」）とした回答が他の取組みと比較して僅かに多く、4.3%となっている。

問22 取り組みの満足度



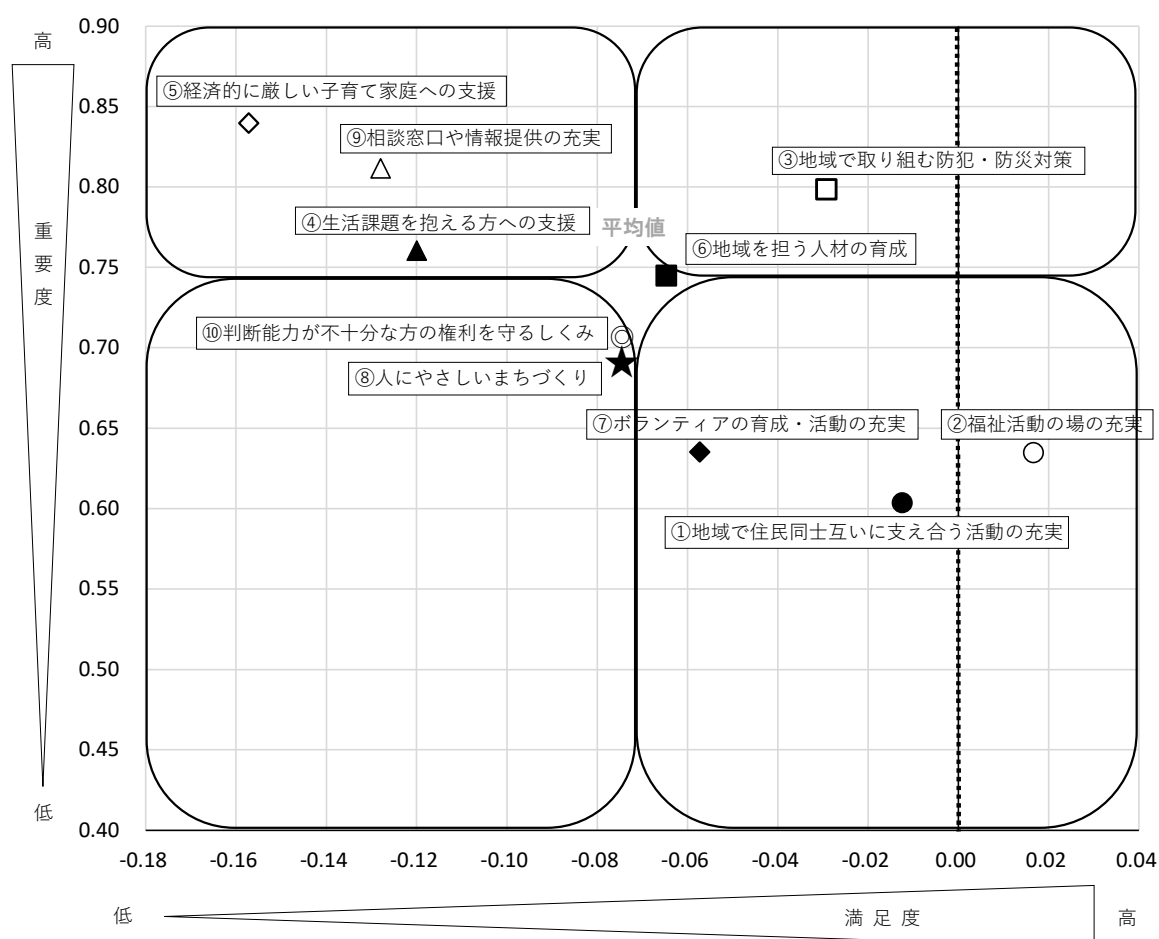
問22 取り組みの重要度



①～⑩の選択肢について今後宜野湾市が優先的に取り組むべき施策を抽出するため、以下の散布図で満足度評価と重要度評価の相関を示した。図中の右側に近づくほど現状の満足度が高く、上部に近づくほど重要度が高いと市民が感じている取組みを示している。

このグラフにおいて、左上の枠に収まる選択肢が『重要度は高いが満足度は低い』取組みとなり、将来的に地域福祉計画で優先的に取り組まなければならない施策といえる。

問22 宜野湾市の取り組み（満足度と重要度）



散布図左上の枠をみると、最も優先度の高い取組みは「⑤経済的に厳しい子育て家庭への支援」（満足度 11.1%，重要度 81.3%）となっている。次いで「⑨相談窓口や情報提供の充実」（満足度 12.9%，重要度 78.2%）、「④生活課題を抱える方への支援」（満足度 9.2%，重要度 74.4%）と続いている。

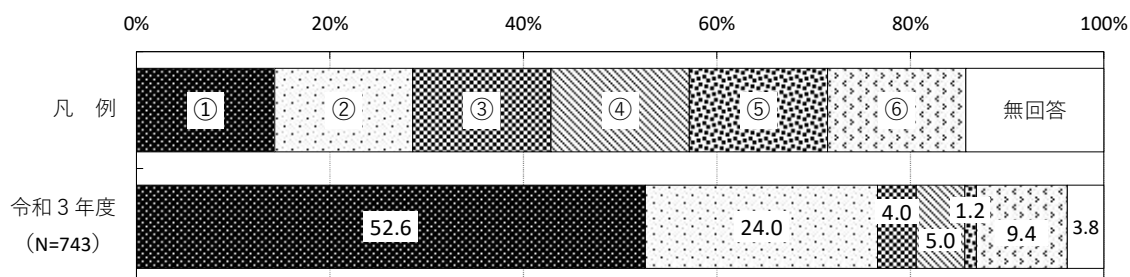
| | |
|-------------------------|------------------------|
| ●：①地域で住民同士が互いに支え合う活動の充実 | ■：⑥地域を担う人材の育成 |
| ○：②福祉活動の場の充実 | ◆：⑦ボランティアの育成・活動の充実 |
| □：③地域で取り組む防犯・防災対策 | ★：⑧人にやさしいまちづくり |
| ▲：④生活課題を抱える方への支援 | △：⑨相談窓口や情報提供の充実 |
| ◇：⑤経済的に厳しい子育て家庭への支援 | ◎：⑩判断能力が不十分な方の権利を守るしくみ |

問23 地域福祉における行政と地域住民の関係はどうあるべきだと思いますか。【〇は1つ】

1. 行政と地域住民が互いに協力して地域の課題に取り組む
2. 行政の取り組みとともに、行政の手が届かない課題は地域住民が協力して取り組む
3. 地域の福祉を充実させるのは行政の責任であって、地域住民が協力する必要はない
4. 地域住民で助け合い、それで十分でない場合に行政が支援する
5. その他〔.....〕
6. わからない

地域福祉における行政と地域住民の関係についての考えを尋ねると、「1. 行政と地域住民が互いに協力して地域の課題に取り組む」が5割強（52.6%）で最も多く、次いで「2. 行政の取り組みとともに、行政の手が届かない課題は地域住民が協力して取り組む」（24.0%）となっている。

問23 地域福祉における行政と地域住民の関係についての考え



- ☒ ①行政と地域住民が互いに協力して地域の課題に取り組む
- ☐ ②行政の取り組みとともに、行政の手が届かない課題は地域住民が協力して取り組む
- ☒ ③地域の福祉を充実させるのは行政の責任であって、地域住民が協力する必要はない
- ☒ ④地域住民で助け合い、それで十分でない場合に行政が支援する
- ☒ ⑤その他
- ☐ ⑥わからない
- ☐ 無回答

【その他】先ずは行政のやる気から/主体は行政。手が届くような人材増員が必要ではないか/基地問題に取り組む組織がまったくないのはどうしてか。一番の問題/行政のリーダーシップ/親しみやすさ、どういう人なのか、どういう活動をしている人なのか分かりやすくしてほしい/地域の声をもとに行政が計画し、しっかり情報提供する/相互に協力し合う事が重要だが、体制が整うまでは行政にリーダーシップを多くもってもらいたい/行政がサービスを手厚くすると、より甘えにつながるケースはないか。いつも税金を納めるだけ納めて、行政のサービスの対象外になるのは不満である/内容による

問23 地域福祉における行政と地域住民の関係についての考え

(単数回答)

問20 地域福祉における行政と地域住民の関わりについて

（平成30年度）

| | | 1. 行政と地域住民が互いに協力して地域の課題に取り組む | 2. 行政の取り組みとともに、行政の手が届かない課題は地域住民が協力して取り組む | 3. 地域の福祉を充実させるのは行政の責任であって、地域住民が協力する必要はない | 4. 地域住民で助け合い、それで十分でない場合に行政が支援する | 5. その他 | 6. わからない | 無回答 | | |
|------------------|--------------|------------------------------|--|--|---------------------------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|
| 上段：件数、下段：横% | | | | | | | | | | |
| 全 体 | | 743 100.0 | 391 52.6 | 178 24.0 | 30 4.0 | 37 5.0 | 9 1.2 | 70 9.4 | 28 3.8 | |
| 中 学 校 区 | 普天間中 | 240 100.0 | 122 50.8 | 63 26.3 | 11 4.6 | 9 3.8 | 4 1.7 | 26 10.8 | 5 2.1 | |
| | | 真志喜中 | 215 100.0 | 110 51.2 | 51 23.7 | 8 3.7 | 13 6.0 | 1 0.5 | 20 9.3 | 12 5.6 |
| | 嘉数中 | | 168 100.0 | 98 58.3 | 36 21.4 | 5 3.0 | 10 6.0 | 2 1.2 | 11 6.5 | 6 3.6 |
| | | 宜野湾中 | 109 100.0 | 58 53.2 | 27 24.8 | 6 5.5 | 5 4.6 | 1 0.9 | 10 9.2 | 2 1.8 |
| | 無回答 | | 11 100.0 | 3 27.3 | 1 9.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 9.1 | 3 27.3 | 3 27.3 |
| | | 年 齢 | 20代 | 102 100.0 | 55 53.9 | 21 20.6 | 4 3.9 | 7 6.9 | 1 1.0 | 14 13.7 |
| | 30代 | | | 147 100.0 | 75 51.0 | 41 27.9 | 4 2.7 | 8 5.4 | 3 2.0 | 14 9.5 |
| | | | 40代 | 173 100.0 | 94 54.3 | 39 22.5 | 7 4.0 | 8 4.6 | 2 1.2 | 17 9.8 |
| 50代 | 152 100.0 | | | 85 55.9 | 36 23.7 | 6 3.9 | 9 5.9 | 2 1.3 | 10 6.6 | 4 2.6 |
| | 60代 | | 162 100.0 | 79 48.8 | 41 25.3 | 9 5.6 | 5 3.1 | 1 0.6 | 13 8.0 | 14 8.6 |
| 無回答 | | | 7 100.0 | 3 42.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 28.6 | 2 28.6 |

【 自由意見 】

| 1. 情報提供（SNS・LINE 含む）・相談窓口 19 件 |
|---|
| 社協の活動が見えてこないかな。 |
| 様々な活動の内容がわかる情報等の発信があれば、自分の今の問題、必要にあった活動が選択することができるので大切だと思います。特に私共は他市から移り住んだ者として、まだ1年少しの時間ではそこまで詳しい情報が入ってこないのが現実です。 |
| テレビCMやローカルニュース、ローカル番組にて放映されると、自ずと見聞きするようになると思うので、関心が高まるかと思います。 |
| 今回のアンケートで初めて「第三次宜野湾市地域福祉計画」の取組みを知りました。多くの団体職員の方々が日々計画の推進に尽力されているかと思っています。しかしながら、どのような事をしているのか全く知りませんでした。活動内容の周知にも工夫などが必要ではないでしょうか。宜野湾市報ぎのわんを受け取っていますが、たまにしか目を通していません。本当に申し訳ないですが、おじいちゃん、おばあちゃん世代の紙媒体が便利だと思いますが、若い世代には SNS（特に Twitter や Instagram）が身近だと考えます。LINE などでも有効ではないでしょうか。SNS を使うことで市民の方々も気軽に意見を投稿でき、地域福祉等関心が強くなると思います。改善されることを願っています。他市から転入してきて日々宜野湾市で良かったと実感しております。 |
| 元々地域の付き合いが薄い世の中に、更にコロナの影響で挨拶すら無くなっているように感じます。近所の方と会いません。地域の活動は満足とも不満足とも言えないくらいに、まず何の活動があるのかわからない状態です。 |
| 受けられるサービス等があっても、分からない人たちが多いような気がするので、こういう場合はこのような保障、受給が受けられますと言った内容の情報を広範囲でもっと発信してほしい。 |
| コロナ禍での地域との関わりや活動が見えにくくなっているように思えます。高齢者にも分かりやすい情報発信をしてほしいですね。この時期頑張っている皆さん、ご苦勞様、ありがとうございます。 |
| 介護の経験もなく、「近い将来我が身にも」と思うと不安になりますが、いつでも相談できる場所を事前に知って置くことは大切だと思う。相談所、老人ホーム、施設等々、情報もほしいです。 |
| 地域でどんな活動をしているのかもっと拡散してほしい。今、福祉関係の仕事をしていますが、利用者さんから障がい者は住みにくいと聞きました。自分自身、知識も少ない為、私みたいな者が言うのは間違っているかもしれませんが、障がい者の方や、高齢者に優しい社会になってほしいと思います。 |
| 受けられるサービス等があっても、分からない人たちが多いような気がするので、こういう場合はこのような保障、受給が受けられますと言った内容の情報を広範囲でもっと発信してほしい。 |
| 地域福祉の必要性は理解することができますが、「宜野湾市」はここ数年、県外からの移住の方が増加しているので少し難しい部分があるのかと思います。個々の考え方が様々なので「プライバシー」に踏み込まれたくないと思われる為に「地域福祉」の認知や必要性を重視されていないのではと考えております。これも時代なのでしょう。メディアを通して、又は SNS を利用し「地域福祉活動」を視覚化していれば分かりやすいかと思います。「活字」だけではイメージが分かりづらいです。 |
| 現在コロナウイルスにより普段の生活が脅かされている今、経済的困難や、子育てへの不安が全国民に襲い掛かっていると思います。そういう人たちが気軽に相談できる場があれば、少しでも不安を取り除けるのではと思っています。 |
| 子育てにおいて、利用できる制度やサービス等を SNS やインターネットを通して、情報発信を多く分かりやすく行ってほしいです。必要な情報はそれぞれで選別するので、目に触れたり、耳にする機会が少しでも増えれば良いと思う。 |
| 地域福祉について、取り組み内容を分かりやすくネットなどで手軽に情報収集できるようにしてほしい。宜野湾市の LINE はコロナ情報ばかりだが、LINE でも福祉に関することをもっと伝えたら良いと思う。 |
| 地域においての活動内容を把握していないので、活動状況や参加の仕方などもっと情報発信した方がよい。 |
| ボランティア活動にどうやって参加したらよいか分からないし どのような活動があるのか 普通に暮らしていたら全然見えないです。市報に募集をのせて貰えたらとても嬉しいです |

| |
|---|
| SNSをもっと活用したほうがいいと思います。 |
| 気楽に相談が出来る場所があると言います。行政的じゃなくてね。 |
| 避難行動要支援者の把握し、実際にどのように利用するのか、誰にその情報が共有されるのか知りたい。成年後見制度利用促進の取り組みを知りたい。 |
| 2. 児童福祉・サービス 18 件 |
| ファミリーサポートのまかせて会員の増加に向けた取り組み。ファミリーサポートの利用料を低くする、又はクーポンを共働き世帯へ。日、祝日などの休日保育の対応。子育て支援センターの土日の開所。 |
| 子育てしている家族に、もっと充実した支援をして欲しい。給食費無料や医療費無料（小学生～高校生） |
| 障がい児の学校への送迎の支援を行政として行ってほしい。障がい児は通常の校区ではなく、自宅から離れた特別支援学校に通学しなければならず、保護者の負担は大きい。障がい児の保護者をサポートする体制づくりに積極的に取り組んで欲しいです。 |
| 昨年よりコロナの状況の下、行き届かないところがあるとは思いますが、小中学生において、学校への行きしぶりがあるとは思いますが、子育て支援、登校支援等、学校の周りの登下校の環境、見守りが不十分に感じられる。 |
| 夫婦と子の生活ですが、夫は出張が多く頼れるところがない為、ファミリーサポートに登録しましたが、必要な場面は突然にきます。事前の顔合わせをする時間もなく、結局一度も出番はありません。ベビーシッターを利用したり、家事代行を利用すると助成金が出る自治体もあると聞きました。突然の対応に对应してくれる、欲しい場面に多く遭遇するのでそういったサポートがあると有難いです。育児相談や働くお母さんのコミュニケーションの場として、平日だけでなく土曜日にも利用できる支援センターが増えてくれると嬉しいなと個人的に思います。周りの移住ママや、同じくらいの子どもを持ち、友だちがいない人がどこに行っているのか、誰に相談していいのかわからない不安をよく聞きます。どうか子育てを安心してできる宜野湾市へ、よろしくお願いします。 |
| 県のひとり親生活支援をときどき利用させてもらっています。近くに親戚や親もなく、コロナ禍の中利用しづらくなり、病児保育の環境がもっと充実すれば助かります。 |
| 子育てをするようになり、子どもの成長過程や経済面での悩みが増えました。不安になった時に、すぐに保健センターに連絡しています。担当の保健師さんが親身になって応えてくれました。また、予定外でしたが、身体測定をこまめにしてくれて相談、アドバイスをしてくれました。不安になった時にすぐに対応してくれたのが安心しました。経済面では、子育てのための援助があり、助かっています。保健センターの職員や役所の方には色々助けてもらって、頼りやすいと感じています。子育てを機に身近に感じています。いつも市民のために動いてくれてありがとうございます。 |
| 宜野湾市の子育てや介護、特に子育て支援は非常に頼りにならないし、遅れていると思う。沖縄市、うるま市、糸満市、嘉手納町はすごく充実していて、子育てがしやすいイメージ。市内のママ友や、助産師などからも宜野湾市の子育てへの支援は良くないと聞きます。住みやすいまちではあるが、行政の動きや支援としては全く満足していません。基地問題も大切だが、市民の生活を優先にして市民のために支援し、納得行く税金の使い方をしていただきたい。待機児童の対策、発達障がい児へのサポート、認可外への手厚い支援等、将来を担う子どもたちへ、しっかりしたサポートのある市を目指してほしい。ここなら安心して過ごせるというまちを目指してほしい。市民の事よりも基地に目がいつているように感じます。とにかく、子ども、保育士、老人、介護士への支援を手厚くしてください。 |
| 小学校、中学校でいじめの問題が取り上げられずに苦しんでいる人がいます。最近の世の中は、先生方や父兄などが子どもたちに善悪の意味を体罰はいけない事だと思い手を出せずに、子どもたちの勝手なわがままを聞く時代になっています。少なくとも悪い事をしたら、叱ったり、良い事をする褒めてあげる、そんな普通のことができたらと願っています。 |
| 是非とも待機児童をなくしてほしいです。 |
| 沖縄県内では子育て、高齢者のサポートがしっかり出来ていると思うので自慢の市町村です。私自身は、子どもがいないので詳しくは分かりませんが、シングルのサポートにもう少し力を入れてくれたら助かります。支援団体の活動がコンビニのトイレに掲示されていたら分かりやすいかと思いました。 |

| |
|--|
| 子どもが産まれて「ふたば健康相談」を利用しています。これまでどんな支援があるのか分かりませんでした。まだ数ヶ月ですが助かっています。他にも様々な支援をおこなっていると思うのですが、情報を得るのが難しいです。HPも見づらくて、検索しづらいです。 |
| 公園の整備や明石市を参考に毎月オムツやミルクを支援する。ベビーシッター利用補助金など支援をして欲しい。お願いします。 |
| 双子や三つ子などの育児サポートがない。他の市町村はあるのに。 |
| 障害児世帯の生活経済的支援をもっと充実させてほしい |
| 私と主人も親が県外のため、子供に何かあった場合や何かしらトラブルが起きたら頼る身寄りがいません。お互い仕事をしているので何かあったときに頼る人がいないのでとても苦労しています。子育てに関して、もう少し充実した支援や情報が欲しいと思います。 |
| ひとり親で不正している人もいます。共働きでも子育ては経済的にキツイです。 |
| ひとり親世帯への十分な援助を行なって欲しい。親の収入で子供の未来が決まるなんてあり得ない。子供が安心して学べる自治体にしてほしいです。大変だと思いますがよろしくお願いします。 |
| 3. 福祉全般 16件 |
| 福祉・介護職、保育士の賃金アップが必須。人材育成など市、県、国で強化すべき課題だと思います。福祉国家に学び、車イス障がい者が住みよいまちづくりをすることで全ての方にとって住みよいまちづくりになると思います。 |
| 将来、私が年老いて暮らしていく事を考えた時、日々の生活に充実できるかをイメージすることが普段なかったので、今回のアンケートは良いキッカケになりました。今は子育てがメインですが、これからは別の視点で見ることも大切ですね。 |
| 宜野湾市は地域で課題が違うと思うので、区などの地域毎に対策を考え企画してほしいです。あと、中学校の教育に地域福祉に対しての力を入れてほしい。 |
| 特別養護老人ホーム入所希望の際、各施設に直接申し込む仕組みになっていますが、保育所・保育園への入所申し込みのように市役所で申し込めるようにするべきだと思います（一括で第3希望まで）。困っている人への支援はスピード感が不可欠だと思います。最近では“生理貧困”が取り上げられ心を痛める人も多かったと思います。その際すぐに支援をすれば賛同、協力してくれる人も多いのではと思います。 |
| 地域福祉はこれからますます重要になってくると思います。コロナ禍で難しい状況が続きますが、頑張っていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。 |
| 私は、子どもも、介護も必要な者も身近にいない為、地域福祉について知りませんでしたが、今回のアンケートをきっかけに様々な施設、団体があることを知れたのでいい機会でした。 |
| 今まで仕事中心の生活の為、地域福祉に関わることができず申し訳なく感じました。アンケートの内容を受け、今後は地域福祉にもっと関心をもって関わっていったらと思います。 |
| 生活困窮の場合は生活保護を受けられ、また、高齢になれば介護認定に応じたサービスが受けられる恵まれた時代になったと感じる。また、障がいを持っている人は障害年金が受けられ、引きこもりや精神的な病の人はそれに応じた支援があり、福祉事業は充実していると思う。一点だけ気になるのが、生活保護を受けている人に仕事をしたらいけないというのは、高齢であれば理解できるが、若い人に対しては理解が難しい。働いて収入を得るといのもひとつの目標としてあって良いのではないかなと思う。もちろん、身体も心も元気になって、働けるようになっての事だが。働けるっていい事、社会貢献にもなる。自分の興味のある事が仕事に繋がり生きがいになれば良いと思う。 |
| 身内で突然に身体障害が発症し、知識もなく病院内にケアマネが居ることや、市役所での福祉の窓口など、どこに相談したら良いかなど困りました。現在は落ち着きましたが、今回のアンケートで地域福祉の組織も勉強になり有難く思っています。 |
| 福祉は仕事とボランティアの線引きをはっきりしてほしい。職員の職場環境改善をしっかりと。病気で長期療養者がいないように。外に目を向けるのはそれからだと思います。 |
| 行政や社協、自治会、地域住民が主体となって地域の問題解決に取り組むことが一番大切なこと。その他、若い方が地域福祉活動へ参加しやすくなるよう商工会青年部、女性部、その他事業者組合などに呼びかけを行い、協力を求めてみることも一つの手ではないかなと思う。特に若い方は、役割さえ明確に与えれば積極的に活動へ参加してくれる方もいるかも知れません。 |
| 障がいを持っている方の働ける為の支援の仕組み作りを促進、障がい者を持っている方の職業訓練の |

| |
|--|
| 機会 介護職の方々の働きやすい仕組み作り、地域の見守りボランティアの提示方法の拡大、ボランティアの学習講座の拡大、 高齢者を孤立させない為のさらなる仕組み作りの向上、 団地の募集期間を一年を通しておこなってほしい（急な経済困窮者がいる場合）、コロナ禍の地域住民との交流の方法の提示 |
| 地域福祉について、宜野湾市がどのような取り組みをしているのかが具体的にわからないので、もっと普及啓発活動の必要性があると思った。 |
| リモートワーク等で在宅時間が長くなれば地域の活動にも積極的に参加できるチャンスは出てくると思いますが、市外でフルタイム勤務だと活動に参加すること自体が厳しいと感じます(余裕がない) |
| このアンケートを通して、宜野湾市の福祉について知らないことがわかりました。他市町村の先進的な活動もわからないし、今後どうあるべきかよくわからないことに気づきました。 大山高層住宅は自治会として認められていないですし、大山自治会への活動には参加は難しいです。 |
| 協力したい思いはあるが、仕事が忙し過ぎて協力できない。せめて、他人に迷惑をかけないように生きていく事で社会に貢献しようと思う。 |
| コロナ禍で地域福祉活動に参加している方はすごいと思います。頑張ってください。 |
| 4. 地域の安全（交通・防犯・防災・基地） 16 件 |
| 志真志小学校の通学路が狭く児童の登下校時の車の往来、カーブなど危険です。ガードレールの設置が必要だと痛感しているので、改善できればと思います。 |
| 以前家の近くでボヤ騒ぎがありましたが、消防車が坂を登ることが出来ずに大変でした。ボヤだから良かったものの、もし火事だった場合非常に危険だと感じました。防災について、地域でもっと力を入れるように、行政も取り組んでいただきたいです。また、基地騒音についても市が強く抗議していただきたいです。 |
| 野嵩2丁目、大山畳店前とユニオン普天間店前にある信号が夜間は点滅しており、朝7時過ぎに通常信号に切り替わるのですが、大山畳店前は道幅も広い為、スピードが出ている車も多く、ユニオン前は見通しが悪い為、朝6時50分頃に通過する場合かなり怖いです。6時45分頃から一気に交通量が増えているように思います。点滅信号から通常に変わる時間の見直しをしてほしいです。 |
| 大山小学校の前の58号線に子どもたちが安全に横断できる歩道橋を作ってほしい。 |
| 大山地区内で電動車イスを使用されている方を見かけました。気になったのが、歩道の状態です。ガタガタしていて段差もあるようで、何かの拍子で車イスが転倒してしまうのではないかとヒヤヒヤしました。歩道だけではなく道路の車線等が消えているところが多く見受けられます。バリアフリー化、道路舗装を進めてほしいです。 |
| アパートの住民の中に、親子で一緒にたばこを吸っている人がいる。夜中はうるさいし、深夜にバイクであっちこっちで迷惑をかけている。夜のパトロールも残念ながら意味がない状態です。昼は小学生がスケボーでうるさい。また、近くのスーパーでは、お年寄りが集まって酒を飲んでいる。私の住んでいる場所が悪いのかもしれないが、こういう若者やお年寄りたちが身近に居ると、彼らの為にボランティアとかする気が失せる。このような事が改善されると良いと思う。また、街灯が少ないと感じる。他市から越してきた時暗すぎて歩くのが怖いという印象を受けた。市の予算で街灯を設置してほしい。 |
| 普天間基地が真ん中にあるので、交通の便が悪い。バスで野嵩から宇地泊に行くには、バスの乗り換えが必要。宜野湾を一周できるコミュニティバスが早く通れば良いと思う。 |
| 小学校低学年の子の横断歩道での立ち方、渡り方をもっと学ばせた方が良いと思います。縁石に立つ、座るなど危ないと思う時が何度もあります。 |
| 通学路のガードレール設置徹底 |
| 普天間基地のジェット機、オスプレイなどの騒音がすごいです。子どもが音になるたびに耳を抑えて泣いています。普天間基地の停止を強く願っています。宜野湾市に住む子どもたちの未来の為にも、とにかく早く騒音となる飛行機等を止めさせてください。 |
| 防犯灯を増やし、墓など住宅街の整備。青色防犯パトロールの重要性はあるのですか。予算の無駄では。大通りでしか見ない。暗いところをもっと見回った方が良い。また、歩道の整備など、白線が消えかかっているところも多い。お墓周辺の木が伸びすぎて道が暗くなっている。 |
| アンケートが長い。もっと短く、分かりやすいものが良いです。こんなに細かく書くよりも市民の声 |

| |
|---|
| をもっと大切に。子どもの通学路の雑草が伸びています。きれいにしてほしい。9時以降のヘリコプターのうるさい事。市民の声を聞いてほしい。 |
| 中原区通り、中原保育園通りの道は路肩の駐車が多く、車の通行も多い為、常に子どもたちが危ない。路上駐車が多く、中道は道が狭く不満だらけ。なかなか改善されなくて残念である。このアンケート調査で、子どもたちや地域周辺の事をもっと理解していただきたいと思う。 |
| 高齢者や歩行に難がある方、車椅子の方等が通りづらい、渡りづらいような道が多数あるように見えるので見直して欲しい。 |
| 伊佐方面にパーキングできる駐車場を増やして欲しい。 |
| 視覚障害の方の為の歩道の点字ブロックを常に整備、管理してほしい。市内では場所によって設置したまま数年に一度しか管理していないのではありませんか壊れている所が目につきます。歩行者、特に小中学生の為に街路樹を管理できないものか。雑草も伸びて、車から見えずひかれそうになったり、歩きづらさが為に車道にはみ出して歩いていて危ない。年に1回~2回の草刈りでは間に合わない。どうか組織立てて巡回して整備できないものか。地域に任されているのか、地域差が目立つ。不自由な方が住む場所が限られてしまわないと良いなと思います。 |
| 5. 地域活動・ボランティア 12件 |
| 普天間第二小学校に子どもが通っていますが、毎朝ボランティアの方々が信号機前で旗振りをしてくれています。安心して小学校まで歩いて行かせられるので助かっています。 |
| 一度参加したら、次も参加するようなプレッシャーがあたり、何かの役員を押し付けられたり、日時が決まっていなくて、急に決まったり、変更になったりと終わるまでダラダラと1日過ごしたり、初対面の人に色々個人的な事を聞かれたり、仕切る人がいて、部下のように指示されたり、長いあいさつかスピーチに時間をとられたり等がないような、押し付けがましくないボランティアならやってみたいと思う。 |
| 毎朝子どもを校門まで送っているのですが、黄色のニッコリ運動バッチをつけたたくさんの方々が、子ども一人ひとりに「おはよう」と声をかけてくれます。とても気持ちよく学校生活が始められること、見守ってくれる安心感にいつも感謝しています。あいさつを返さず、通り過ぎる子どもが多いのが少し残念ですが、素敵な笑顔であいさつをしてくれるボランティアの方々の明るい声は子どもの心に響いていると思っています。この活動は、いつまでも続けていただきたいなと思います。 |
| 小さい事から聖書教育がなされれば自ずとボランティア精神が養われ、助け合いが当然の社会になると思います。 |
| 私自身自治会加入者で、自治会活動も経験。加入者同士の家族構成や障がい者の有無などの情報を得られるが、未加入者の情報（特に集合住宅）が不足で、加入者運動でも成果がでず、自治会での会合では常にテーマになっている。加入、未加入者に関係なく声かけ運動で輪が広がれば良いと思います。 |
| 年配の方が多く居る地域なので、自治会のイベントもそちらに偏ってしまうのは仕方がないが、子どもに関わる事が少ない為参加する機会がない。 |
| アンケートにもありましたが、地域住民の会話や、情報がなかなか入ってきません。市役所の地域担当さんが、何か良い情報があれば教えてくれるので有難いです。コロナで更に集まる事が難しくなったが、子どもたちが喜んでくれるイベントが少ないと思う。連休や長期休みの時に何か行事があったら嬉しい。 |
| 自営業の為ボランティア活動等の協力はできませんが、リタイヤしたら活動に参加したいと思います。 |
| 他市町村で福祉関係の行事をしているが、反面、自分の住んでいる市については全く知らない事に改めてこのアンケートで実感しました。恥ずかしい話ですが、あまり人の関わりを好まなかった結末だと思います。ひきこもりの経験があるので、長期ひきこもりの方のお手伝いをしたいとは考えています。しかし、この経験が果たして問題解決に至るのかは自信はありません。 |
| 自治会に加入していますが、なかなか活動に参加出来ず心苦しいです。小学校が近い地域で、朝には児童生徒達が安全に交差点を渡る用に誘導するボランティアさんも毎日いらっしゃるのでありがたいです。 |
| 自治会に入っている世帯とそうでない世帯の感覚の差があるように感じる。自治会発信の情報だけでは響かないこともあるように思う。具体的な策は思いつかないのですが、もっと広く浅く、細く長く地域活動ができる仕組みができるといいなと思います。 |
| 福祉活動やボランティアの皆さんのお陰で安心して生活できているので、引き続き未来の為の活動し |

| |
|--|
| てください。 |
| 6. 行政サービスのあり方・体制 12 件 |
| 私が手術後に体が動かしづらく困ってしまい、市役所に「何か力になってもらえるような制度はありませんか」と伺ったが、一言「ありません」と言われました。福祉課の方のその一言だけの対応に何も言う気が失せました。 |
| 計画策定は色々な分野で定められるが、実行性が重要だと考える。計画倒れにならない、高すぎないハードルを設定し、実行性の高い計画を望みます。 |
| 困っている家庭には、積極的に声かけや行動を起こして欲しい。ただ連絡を待つだけではなく、もっと親身に力になって、問題が解決するまでずっと責任をもってサポートしてほしい。 |
| 福祉の充実は強く望まれることですが、人材、予算は充実していると言い難い状況で、行政の方々、皆大変なご苦労なさっていると思います。命を支えている皆さんのお仕事に敬意を表し感謝しています。がんばろう宜野湾市。 |
| 入院の可能性があるので役所を訪れたら、一時保育をしている所の一覧を渡され「自分で連絡してください」とのこと。沖縄に頼れる身内がいらないから役所に相談に行ったのに、あまりにも親身になってもらえずびっくり。一時保育はなかなか人がいっぱい受入れてもらえない事もあると聞いていたので、役所から一言伝えて欲しかったのに残念な対応です。もう少し子育てしやすいところになって欲しいと思います。 |
| コロナ禍の対策も他の地域と違い不公平感を感じることがあります。同じ納税をしているのに手厚い人との差を感じます。確かにこのようなアンケートは必要かもしれませんが、今する必要があるのでしょうか。コロナで感染者が他県より多く出ている中、市としてどのような対策をするのか。感染者に対しての支援などが全く聞こえてきません。他県では受けた人がすぐに PCR 検査が受けられるような支援がされています。他県出身者ですが、なぜこんなにも差があるのか分かりません。旅行者に対しては PCR、抗原検査が受けられるようにしっかり県に意見して欲しいです。 |
| どこの市町村にも言える事だが、公務員の縦割りの組織体制が改善されない限り、市民が宜野湾市に住んで良かったと言える日はこないでしょう。 |
| 地域福祉の重要性は以前から取り上げられているが、地域福祉と宜野湾市の経済のバランスも大事だと思います。福祉を充実するあまり経済が悪くなったり、経済を重視するあまり福祉が悪くなったり、福祉をさらに発展し充実していく為にも、若い人の人材育成が大きなカギになるのではないかな。人、モノ、金を上手く回転させ無理、無駄を省いて、どこに無理があるのか、無駄があるのか効率の良い福祉を実現できればと思います。福祉専門のコンサル等を参加させ、検証しても良いのでは。すでに実行していれば恐縮です。宜野湾市の未来は明るいと思います。 |
| 行政は、市民を巻き込んでの取り組みは定期的な集会する場所の確保、市広報や自治会だよりなどで、それぞれのボランティア内容、区域によって必要な人数などの周知を行うことが重要ではないかと思います。活動も楽しくかつ、それぞれ重要な箇所はしっかり学んで取り組んでいく事で、永く上手くやっていけると思います。行政が行う新たな取り組み、団体は市民は知らない事が多いと思うので、それらの改善。子育て困窮家庭への経済的支援などは厳しい意見ではあるが、支援をやり過ぎてはいけな。すでに手当など受けている家庭では、特に問題なく生活出来ている家庭も多い。行政職員は、仕事では大変苦労も多いと思いますが、市民の為に頑張ってください。私自身、協力できることはやっていきたいと思っています。 |
| 外国人の為、言葉の壁があります。知人が北谷に住んでいるが、もう少し外国人へのサポートが手厚いです。 |
| 今まで色々和相談してきたが、窓口までで、何ひとつ助けてもらった事はないので、これからも自分たちで色々乗り越えていきます。 |
| 保険証の支払いや今回のアンケートもですが、締め切り 1 週間前にしか届かないのはどうかと思います。せめて 2 週間前までに届ける等の改善や努力をしていただきたいです。 |
| 7. 自治会や地域のつながり 11 件 |
| 普天間小学校の地域は見守り感がある地域だと思います。 |
| 今と昔はあまりにも違いすぎて、人との関わりがなくなりつつある。近くの家には誰が住んでいて、何人暮らしでと普通に知っていたことが今は全くわからない。困っている年寄りに手をかけてあげたら、 |

| |
|--|
| <p>「娘さんですか」と言われ「違いますよ」と言ったら不思議がられた。子ども事でも大人が注意するのが当たり前だったのに、注意したら逆に親に変な顔をされる。何か災害が起きても自分たちの家族は心配するけど、近所の人を気にする人が果たしているだろうか。他の地域みたいに協力し合えるのかすごく不安な市である。</p> |
| <p>マンションに住んでいることもあり、自治会の活動内容や地域の活動情報が入ってこない。活動に参加したくてもできないという状況があります。幸いに広報が配られているので、広報から情報を得ていますが、自治会の活動については終わった後の報告を目にするので参加できる状況にはありません。やはり、災害時などには近所の助け合いが重要と考えますので、清掃活動等には参加したいと思っていますのですが、何か良い方法はないでしょうか。同じように思っている人が多いと思います。広報で意見を集めてみてはいかがでしょうか。</p> |
| <p>みんなで仲良くとは言わないが、子どもには優しく住みやすいまちが良い。車にボールが当たるからボール遊びができない。子どもがうるさいなど、昔と比べて子どもの遊び場が減っていると思う。ゲームセンターもない。子どもが育たないと思う。</p> |
| <p>宜野湾市に引越して4年目になりましたが、年々好きになっています。ラジオ体操とかしたいです。</p> |
| <p>ここに住んで半世紀、空地にポツンポツンと家がある程度でした。60代近い私を未だに「〇〇ちゃん」と呼ぶ昔からのご近所さんもいます。でも、何かにつけ「寄留民」と区別だか差別だかされるところで。子どもの頃は、公民館活動が地域で一体感があり、子ども会、盆踊り、青年会、老人会と年間通してありました。運動会では皆頑張ったものです。令和の今、アパートが建ち並び「寄留民」だらけです。シマナイチャーの寄留民の友人は、煩わしいから公民館に入らないそうです。ニュースでは、「〇〇地区で子どもに声をかける大人がいた」と悪意も善意も分からない人間関係になった人がと実感します。そんな今、どこまで他人と繋がっていけるのか。以前都会に住んでいた頃、隣室に干渉ないルールが楽だった気がします。お節は時代遅れなのかもしれません。でも、ニュースで見聞きする、子ども食堂、ホームレス、老人の孤独死は胸が痛みます。子どもがいっぱいご飯を食べて、人並みに休める家があってオジー、オーバーは幸せに死んで欲しいです。</p> |
| <p>地域活性化へ向けがんばりましょう。個人の見解として、発展するまちはマンションやアパートが増え、交流や会話が少ない。または、しないが現状だと思います。大きな課題とは思いますが、頑張りましょう。</p> |
| <p>コロナ渦の中、人と人との接触を避けなければならないという課題と地域福祉の中で助けを求める人への援助や協力、またはその様な人を探す事自体が活動幅の縮小に伴い、かなり難しいとは思いますが、ただ、今後コロナがある程度落ち着いてきたときに、そのような現状になった時でも今よりは、情報を共有できるというシステムを考えて構築していく事はできるのではないかと思います。自治会はどちらかというと高齢の方々が多く、イベントやアイデアというものも限られてしまったりもあるように感じます。例えば宜野湾市で自治会に加入した若者にIoT (internet of Things) などを取り入れたコミュニティーを作り上げる技術を教育するような取り組みをすることで各自自治会自体オンラインでも繋がりを持てたり、一人暮らしのお年寄りのいる家などには、医療関連のグッズを提供し、それを自治会でネット上にて判断したり、必要な場合は代表者が家に尋ねる等、色々な事ができるようになるのではないかと思います。そのような事はすぐには難しい事かもしれませんが、ある一定の技術の教育を市が若者に提供することで、若い人達がより自治会に入りやすく、またその地域を紹介していったり（たとえばネットでその地域の特産物特集や頑張っているお店、また歴史に触れる町ブラなど）そうすれば自分の住んでいる地域についてより関心もふえ、またその地域を知ってくださる方が増えていくというような事にもならないかと思ったりしています。私が以前暮らしていた地域の自治会がインターネットを利用して様々な取り組みを行っていたのですが、やはり若い人たちのアイデアを柔軟に取り入れ、またそこに年齢関係なく参加できるようなアイデアを若者たちも提案し、かなりよい感じでしたよ。子供も若者もお年寄りも全ての人達が自分らの地域という事に誇りをもって協力して作り上げていく物こそ、今後の発展だったり、伝承にもなるのではないかと思います。その為には、ある程度このイベント本当に必要なのか、この地域みんなが参加したいと思うようなイベントなのかを市もきちんと精査していく仕組みは必要かなとも思いました。一部の人たちだけの自治会だったらたぶん、その人達以外、だれも入りたくないと思います。</p> |
| <p>自治会の取り組みがよく分からない。ネットワークで繋がれる仕組みがあると良いと思う。</p> |

| |
|---|
| 自治体は加入者のみの連絡募だけでなく、地域の連絡網を作成する必要がある。災害が起きたときように連絡確認がとれるようにする必要がある。 |
| 地域福祉の充実はとても大切だと思いますが、個人的にどう関わっていいか分からない。情報があっても入りにくい等もあると思います。まずは、地域の繋がりが広まっていけるような仕組みがあるといいなと思います。 |
| 8. 行政と地域・市民との連携 11 件 |
| どこでどのような相談ができるのか分からない方が多いように思います。総合的に困りごと相談の窓口や困っている方のところ（家）へ訪問して相談できれば、外出ができない方は助かると思います。本当は民生委員等が増え、話を聞いてくれる人の存在が必要なのかなと思います。私もそうですが、仕事や子育て、介護に追われる年代は家族のことで手がいっぱいの状況。2, 3軒隣くらいの人との交流もごくたまに話す程度。自治会への加入率も少ない中、ますます地域交流は減少していく。ネットや回覧などでの情報発信は家で見れるので助かります。住民が意見などを言える、このようなアンケートの働きかけは良いと思います。これからもどんどんよろしくお願いします。 |
| 宜野湾市民のために、いつもありがとうございます。 |
| 行政が各地域福祉や防犯・防災の現状を把握し、各家庭や地域へ確実に連絡や情報伝達がされていると私の住む地域では感じています。その地区の独特な状況等もあるかと思いますが、その状況を把握し、地区へ情報を伝達するというのを行政の業務がやっているように見受けられます。行政の方が行動しなければ、地区、地域の人はどうに行動してよいか分からないのが現状だと思います。例えば、今のワクチン接種等に関しても、ただラインやメール等だけの情報発信であるし、本当にそれだけで良いのか、実際には現場（各家庭）へ巡回して状況を把握する等が必要なのではないのか。便利になっても人と人が顔を合わせて話をするという基本に立ち返り、役所がそれを最初に行なわなければ、行政、福祉も現状を把握し、市民へフィードバックができると思います。顔が見える、直接声が聞こえることが今の世の中に必要ではないかと考えます。行動あるのみ、机上では絶対に現状は掴めません。自分の目で見回ってください。 |
| 一切不満はありません。役所職員及び議員、他の市町村と比べても宜野湾市の為に頑張ってくれていると思います。良い市だと思って感謝しています。 |
| とても静かなキレイな地区です。せせらぎシーサー通り会や、地域見守り活動の方々の頑張りのお陰だと思います。 |
| 市役所で働く皆さま、私たちのためにいつもありがとうございます。体に気をつけて頑張ってください。 |
| お世話になっています。ありがとうございます。 |
| 個人情報法で情報が取れない、出てこない中で、ローカルコミュニティを形成するのは至難の技です。個人の生活に介入し、援助するには法的に担保されないと何もできないし、逆にそんな法ができてしまうと自分たちの情報を悪用される恐れもある。難しいですが、役所しかそれを判断できないと思います。本当の意味での住民、市民目線の人が必要なのだと思います。 |
| 父の介護の手続きなどで市役所にお世話になっています。いつも丁寧に対応していただきありがとうございます。 |
| コロナ禍の中ご苦勞様です。 |
| 現在小学1年生を育てています。日頃から学校や地域の人たちに支えられて育児ができていると感謝しております。経済的に不安な部分が残っているので積極的に行政を利用できればと思います。 |
| 9. 公園・施設 10 件 |
| 美術館、科学館、博物館の充実及び新設。子どもの体験機会の充実（農業、化学実験、昆虫など）。子どもの伝統文化体験の充実。茶道、華道、舞踊、囲碁、将棋、歌舞伎など。子どもの国際交流の場など。担当外のものもあるかと思いますが、思いつくまま書かせていただきました。 |
| 新しい公園が作られているのも目にしました。子どもたちにとっても住みやすい環境が整うことはとても良いと思いました。 |
| 遊具のある、駐車場もあるような公園も少なく、他の市や村に行って遊んでいます。他の市や村のように他の地域から遊びに行きたくなるような公園をつくってもらえませんか。 |
| 0歳～2歳くらいまでの子どもが遊べるような公園をつくってほしい。コンベンションセンター |

| |
|--|
| <p>の近くに住んでいますが、そのあたりの公園は広場が大きく、小中学生がサッカー等をしています。ボールが飛んできたりすると危ないので公園があっても遊ばせにくいです。小さい子も遊べるようにしてもらいたい。他の市ではフェンスで囲む等しています。そのようなものを作ってもらいたい。</p> |
| <p>経済的に厳しい家庭の子育て支援について、公民館などを利用して、教職を退職された方や、教育に興味のある方を募り、無償で学習支援の場を増やしていただきたい。共働きの家庭が多いため、両親が帰宅するまでの間（17時～18時）の子どもたちが安心して待てられる場所の確保。</p> |
| <p>大謝名地区にもっと公園等があれば嬉しいです。</p> |
| <p>子どもの学習や子ども同士の居場所など、誰でも利用できるスペース（居場所や街中のちょっとした広場）などがあれば良いのと思います。経済的な面で学童を利用できない、習い事をできない子どもたちは多くいると思います。そんな子どもたちの心の居場所のような、学校後にでもちょっとしたサポートや子どもたちが行きたい時に通える場所があれば良いと思います。以前、あった普天間の「パラソル」は、子どもたちからの声もすごく多く「良かったのにまたやらないかな」とよく聞きます。ちょっとした公園や広場を使って子どもたちが笑顔でお金を気にする事なく通えるところがあるととても助かります。</p> |
| <p>自分自身が不登校の経験があって、社会に出た時仕事を探したり、人との関わりがとても難しいので、そういう人の為に社会経験を積む事のできる場所や機会をもっと作ってほしい。現在も社会との関わりが難しく悩んでいるので、具体的には、一定の条件の人とか社会に出る為の訓練場みたいな所をつくらせてほしいです。行政か県、市など様々な機関がそういった人にチャンス、きっかけをくれれば、甘えかも知れませんが社会に出て自立する人が増えるきっかけになるとと思います。自分自身もそういうところがあったら助かります。</p> |
| <p>全ての公園におむつ交換ができる多目的トイレの設置</p> |
| <p>1～2km圏内に必要な書式が受け取れる施設（住民票等）を作り、住民が気軽に集まれる所を作った方が良い。</p> |
| <p>10. 助成金・補助金 7件</p> |
| <p>コロナの影響で食費や生活費が大きく変わり、子ども達にとっても不便に感じていることもたくさんあると思います。食料支援などもよく活用し、利用できるサービスはなるべく利用しようと思います。子ども4人のシングルマザーで、末っ子はまだ1歳。コロナが流行り始めた頃が育休中であつたこともあり、今年度仕事復帰をしても、どんなに生活が苦しくても家賃補助などのサービスは受けられません。コロナ前の給料明細と言われも産休中であつた為、明細はありませんし、親も低所得な為、育休中で自粛中の間は消費者金融から借入するとかして生活していましたが、返済も大変です。ひとり親だからと周りに言われるのが嫌で、子どもたちには不自由な思いはさせないようにしてきたつもりでしたが、もっと支援金など増やしてほしいです。コロナ禍で遊ぶ場所を制限されて、子ども達もかわいそうです。1日も早く収束するように、もっと早く厳しい措置を取るべきだったのに、それを怠った為に長引き、増えて緊急事態宣言やコロナ陽性者が出たことで休園、休校などで仕事も休まないといけなくなり、給料は減るばかりです。本当にどうにかしてほしいです。</p> |
| <p>自分自身も去年うつ病になり、市役所の方の案内で通院代が無料になるという手続きをしてもらい、今安心して病院の方に通っています。ありがとうございます。三男が現在18歳、中学3年の頃から障がいだと言われ、手続きして今も給付金をもらっています。皆、市役所の方の声かけで来ています。コロナになり、ひとり親世帯にあつた5万円も本当にありがたくて、助かりました。うつ病が完治した後は市役所の皆さんにお返しができたと思います。</p> |
| <p>宜野湾市で年間所得が低い家庭に対し、もっと免除（医療面、保育面、給食面等）するべきだと思う。このままでは少子化が進み、未来や希望を持つ人もいなくなる。市長が中心になってやるべきだと思う。</p> |
| <p>生活保護等の手続き認定のスピードアップ。生活保護費の増額。</p> |
| <p>母子家庭で実家に住んでいます。一緒に住んでる兄弟が課税で色々な援助も受けられません。お家は一緒でも、財布は別々。そういう子育て世帯でも安心して生活出来る環境にしてほしい。生活保護を受給されてる人でも好き放題な生活をしてる人もいるのに。</p> |
| <p>コロナ禍での生活困難の方や飲食業の方へ給付金などの制度を作った方がいい</p> |
| <p>子ども手当は、毎月か2ヶ月毎に支給してほしい。それと、名護市みたいに学校の給食費無料にしてほしい。</p> |

| |
|--|
| 11. 高齢者福祉・関連サービス 6件 |
| 同じ市内ではあるが、離れて暮らす高齢の親が気がかり。仕事の為、様子を見ることができないため、今は介護支援包括センターを利用し、安心しているが、本人が希望していた終活をどうするか。お墓や持家、税金など相談できる窓口があったら良いと思います。 |
| 高齢者の見守り支援等 |
| 最近、一人暮らしの高齢の方が多くなっていると思うので、時々は安否確認をした方が良いと思います。 |
| 見守りが必要な高齢者が、見守りおかえりサポーターや、地域包括支援センターの人と繋がるのに時間がかかった。本人にこの人たちは味方であると説明し、理解させるのに大変だった。しかし、何度か相談をしに行ったり、高齢者の家に訪問してもらう等で、今ではどうにか繋がることできている。とても助かっているし、こういう家族以外の方が、家族の大変なところを助けてくれる機関や人たちがいると思うと安心できた。ここまでいくまでに市役所に行ったり、包括支援センターや見守りサポーターの方のところに行ったりと、行かなければいけない所が多すぎて心が折れそうになった。もう少し簡易的にしてくれたら助かると思います。今では高齢者の方も地域の人に助けられながら生活でき、私たち家族も安心して生活ができています事に感謝しています。 |
| 扶養家族に入ってから介護保険があまりにも高い為、結果、独居老人が増える事になっているのではないかと。また、親の介護の為、結婚を諦める事になるのではないかと。思う。 |
| 介護や支援が必要であっても、家族の同居を理由に手当が受けられないと聞いたことがある。同居していても介護や支援が必要など細かく確認して福祉が受けられる様になれば良いと思う。 |
| 12. アンケート 4件 |
| このアンケートの意味が良くわからない。設問が多すぎる。日頃から職員が足で情報を収集すべき。 |
| このアンケート結果はどこで見られますか。アンケートをもとに何をどう変えていく事になったか結果も知りたいし、結果もこのように封書などで配って欲しいです。 |
| このようなアンケート調査は、もう少し人数を増やして調査してほしい。 |
| 現在、自分自身に困りごとがない為、アンケートの内容にピンとこなかったように感じます。 |
| 13. その他 5件 |
| 自分自身ちゃんとした生活ができるようになり、体の調子を整えていきたいと思います。 |
| 未就学児二人を育てています。元気ですが子どもの騒音が気になり2DK~2LDKのアパートを探し中ですが、家賃が高額か築年数が古く衛生的な面で心配な物件しか見つかりません。ペットも飼っている為なかなか間の条件に合う物件がないのが残念です。スーパーやドラッグストア、公園も近くにあり交通の面でも高速も近く、道路も坂が少なく散歩もしやすくとても住みやすいですが、住む物件が見つからないのが残念です。 |
| 世代の違う先輩の言葉や話、態度を身近で接することで、生き方の姿勢を学び、感じられるもの。何気ない会話の中でやさしさを感じます。沖縄の相手を敬う精神、誉れ高い精神を繋げていくために「言葉」「方言」はとても大切なキーポイントになると思います。日常で方言が聞ける機会を作っていく、方言のできる方を学校訪問、幾度か機会を作る。子どもたちを見守る隊のようなサークル活動を発足させる。身近な問題、不登校、学校に行きたくても行けないような地域、そのようなことを許すと、との土地が汚される。地域が悪くならないよう、不登校をなくす対策は必要最低限のものを考えます。 |
| 皆様いつもありがとうございます。 |
| 私は20代後半の女性です。パートナーと同居しています。経済的な不安から、子どもをつくろうとは考えていません。子育て支援の充実はもちろん重要だと思いますが、女性が正社員で長く働ける仕組み作りや、女性の給与を上げて欲しいです。(管轄でない話題ですみません) そうでないと、そもそも妊活する気が起きません。子どもは嫌いではないし、少しでも経済的に余裕があれば(正社員、手取り18万円くらい)妊活したい気持ちはあります。 よろしくをお願いします。 |

地域福祉に関するアンケート調査 調査票

隣近所や地域との関わりについて

問1 あなたは普段、ご近所との程度のおつきあいがありますか。 【○は1つ】

1. 因りごとを相談するなど家族同様の付き合い 2. 簡単な頼みごとをしあう付き合い
3. 会えば、立ち話をする程度 4. あいさつをする程度
5. ほとんど付き合いはない

問2 宜野湾市では、人と人の輪がつながり地域が活性化するよう、平成20年度から地域や関係団体との連携により、あいさつや声かけを促進する「まちでニッコリ（*まちでニッコリ*）あいさつ・声かけ運動」^{※1}に取り組んでいます。あなたはこの運動をご存じですか。 【○は1つ】

1. 本運動の名称も活動内容も知っている（またはたいい知っている）
2. 本運動の名称は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
3. 本運動の名称も聞いたことがない

問3 あなたはあなたの世帯は自治会に加入していますか。 【○は1つ】

1. 加入している 2. 加入していない 問3-1へ

問3-1 前問で「2. 加入していない」と回答した方にお聞きします。 【○は1つ】

自治会に加入していない主な理由は何ですか。

1. 必要性を感じないから 2. 長く住む予定がないから
3. 仕事や学業、育児・介護で忙しいから 4. 自治会活動に魅力がないから
5. 会費などの出費がかかるから 6. 自治会からの誘いがいいから
7. 人間関係がわずらわしいから 8. どこに連絡すればよいか分からないから
9. その他〔.....〕

問4 あなたは、どのような地域活動やボランティア活動に参加していますか。 【当てはまる全てに○】

1. 地域の災害対策に関する活動 2. 地域の清掃や緑化などの環境美化
3. 健康づくりや文化活動など 4. 高齢者の見守りや援助などの助け合い
5. 子育て支援や子どもの健全育成のための環境づくり 6. 見回りなどの防犯対策
7. 祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり 8. 因りごとの相談対応
9. その他〔.....〕
10. 参加していない 問4-1へ

問4-1 前問で「10. 参加していない」と回答した方にお聞きします。 【○は1つ】

地域活動やボランティア活動に参加していない主な理由は何か。

1. 仕事や学業、育児や介護で忙しい（時間に余裕がない） 2. 興味のある活動がない
3. どのような活動があるか分からない（情報が入ってこない） 4. 一緒に活動する知り合いがない
5. 人間関係がわずらわしい 6. 家族の理解がない
7. 自分の健康に自信がない、体調を崩している 8. その他〔.....〕

問5 どうすれば地域活動やボランティアに参加しやすくなったり、活性化したりすると思いますか。【○は3つまで】

1. 活動内容が分かる情報の発信・提供がある 2. 活動を推進するリーダーがいる
3. ボランティアなどの人材養成の仕組みがある 4. 自分の経験や特技を活かせる活動がある
5. 気軽に参加できる活動やしくみがある 6. 活動経費の支援がある
7. 活動できる場所が確保されている 8. 活動を後押ししてくれる機関がある
9. その他〔.....〕

問6 あなたは、どのような地域活動に興味がありますか。 【○は3つまで】

1. 地域の災害対策に関する活動 2. 地域の清掃や緑化などの環境美化
3. 健康づくりや文化活動など 4. 高齢者の見守りや援助などの助け合い
5. 子育て支援や子どもの健全育成のための環境づくり 6. 見回りなどの防犯対策
7. 祭りやイベント、地域行事等の住民間の交流の場づくり 8. 因りごとの相談対応
9. その他〔.....〕 10. 興味がある地域活動は特にならない

問7 あなたは、地域課題の解決に向けて住民主体の取り組みを行っている「地域支え合い活動委員会」^{※2}をご存じですか。 【○は1つ】

1. 活動に参加したことがある
2. 参加したことはないが、名前も取組み内容も知っている（もしくは、だいたいわかる）
3. 名前は聞いたことがあるが、取組みの内容は知らない
4. 名前も聞いたことがない

問8 あなたは、「地域支え合い活動委員会」など地域の生活課題について話し合う機会があれば参加したいですか。 【○は1つ】

1. ぜひ参加したい 2. 都合が合えば参加してみたい 3. 誘われれば参加してもよい
4. あまり参加したくない 5. 参加しない

問9 市の福祉（子育てや介護、地域の支え合いなど）に関する情報を、どのような方法で知りたいたいですか。 【○は3つまで】

1. 市のホームページ 2. 市広報誌
3. 市役所や公共施設の掲示板やチラシ 4. 地域情報誌（「杜協だより」など）
5. 自治会のお知らせ 6. 新聞・テレビ・ラジオなど
7. 市のSNS（LINE やFacebook など） 8. 社会福祉協議会のSNS（LINE やFacebook など）
9. その他〔.....〕

日常生活の課題や相談先について【あなた自身やご家族のこと】

問10 あなたは日常生活の中でどのような悩みや不安を感じていますか。 【○は3つまで】

1. 自分や家族の健康 2. 自分や家族の生活 3. 経済的な問題
4. 子育てに関すること 5. 家族の介護 6. 子育てと介護を同時に抱えている
7. 引きこもりの家族がいる 8. 不登校の家族がいる 9. 経済面で頼っている
10. 災害に関すること 11. 防犯に関すること
12. その他〔.....〕 13. 特に悩みや不安はない

日常生活の課題について【あなたが住むの地域ごと】

問 13 あなたが住む地域で、課題や困難を抱えているが、どこか相談先にもつながっていない（ように見える）方はいいますが、または聞いたことがありますか。 【Oは1つ】

1. いる・聞いたことがある 問 13-1 へ 2. いない・分らない 問 14 へ

※前問で「いる・聞いたことがある」と回答した方にお尋ねします。該当する方が複数名いる場合は、あなたがよくご存じの方お一人について、ご回答ください。

問 13-1 その方が抱えている課題や困難は次のどれにあたりますか。 【当てはまる全てに○】

1. 身体的な病気・障がい 2. 精神的な病気・不調 3. 仕事が見つからない・続かない
4. 経済的な困窮 5. 引きこもりや不登校 6. ごみを捨てられない・不衛生なベット飼育
7. 子育ての悩み 8. 家族の介護負担 9. 子育てと介護を同時に抱えている
10. その他 []

問 13-2 その方の年齢は次のどれにあたりますか。 【Oは1つ】

1. 14歳以下（中学生くらい） 2. 15歳～19歳（高校くらい） 3. 20代
4. 30代 5. 40代 6. 50代
7. 60代 8. 70代 9. 80代以上
10. 分からない

成年後見制度の利用について

問 14 あなたは、成年後見制度^{※3}についてご存じですか。 【Oは1つ】

1. 内容について知っている 2. 聞いたことはあるが内容までは知らない 3. 聞いたこともない

問 15 将来、あなた自身や親族が高齢になったときに、福祉サービスなどの身の回りの契約・手続や財産の管理を適切に行っていくけるか不安がありますか。 【Oは1つ】

1. とても不安である 2. やや不安である 3. 特に不安はない 4. 分からない

問 16 将来、あなた自身や親族が認知症などになったとき、この制度を利用したいと思いますか。 【Oは1つ】

1. 利用したい 2. 利用したいと思わない 3. 分からない

問 16-1 前問 16 で「2. 利用したいと思わない」と回答した方は、その理由は次のどれにあたりますか。 【当てはまる全てに○】

1. 後見人でなくても家族がいるから 2. 手続きのことなど、どこに相談していいか分からないから
3. 制度自体がよく分からないから 4. 他人（家族含む）に財産等を任せることに不安があるから
5. 費用がどのくらいかかるか不安だから 6. その他 []

問 10-1 問 10 で「7. 引きこもりの家族がいる」、「8. 不登校の家族がいる」を選択した方にお尋ねします。その方の年齢は次のどれにあたりますか。 【Oは1つ】

1. 14歳以下（中学生くらい） 2. 15歳～19歳（高校くらい） 3. 20代
4. 30代 5. 40代 6. 50代
7. 60代 8. 70代 9. 80代以上

問 10-2 引きこもっている、または不登校の方の外住状況は次のどれにあたりますか。 【Oは1つ】

1. 自宅からはほとんど出ない 2. 自宅からは出るが、外出はしない
3. 普段は家にいるが近所のコンビニなどには外出する 4. 普段は家にいるが趣味の用事などで外出する
5. その他 []

問 10-3 その方が引きこもるようになった、または不登校になったきっかけは次のどれにあたりますか。 【当てはまる全てに○】

1. 学生時代の不登校 2. 受験がうまくいかなかった
3. 就職がうまくいかなかった 4. 仕事が終わらなくなった
5. 学校や職場での人間関係がうまくいかなかった 6. 家族の介護や看護のために離職した
7. 心身面で長期の療養が必要になった 8. 事故や加齢などで仕事や外出ができなくなった
9. その他 []

問 10-4 その方が引きこもり、または不登校になってからどれくらいになりますか。 【Oは1つ】

1. 6か月未満 2. 6か月～1年未満 3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満 5. 5年～10年未満 6. 10年～20年未満
7. 20年以上

問 11 あなたは、悩みや不安があるとき、主に誰（どこ）に相談していますか、またはしたいと思いますか。【Oは3つまで】

1. 市役所 2. 社会福祉協議会 3. 家族や親戚
4. 友人 5. 医療機関（病院など） 6. 教育機関（学校など）
7. 民生委員・児童委員 8. 地域包括支援センター 9. その他福祉事業所
10. その他 [] 11. 相談していない・したくない

問 11-1 前問 10 で「11. 相談していない・したくない」と回答した方にお聞きします。 【Oは1つ】

相談しない主な理由は何か。

1. 他人に頼りたくない 2. 信頼できる人がいない
3. 周りに知られたくないから 4. どこに相談してよいか分からないから
5. 悪い問題解決していないから 6. その他 []

問 12 生活や福祉に関する相談のためには、どんな窓口があると思いますか。 【Oは1つ】

1. 中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口
2. 必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口
3. 高齢者・障がい者・子育て世帯・生活困窮者のどんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口
4. その他 []

災害への備えや災害時の対応について

問17 地域における災害への備えとして、あなたの地域で早めに必要だと思われることは何ですか。

【2まで3は0】

1. 防災（被災）に関する学習会
2. 日頃からのあいだつ、戸外やおつきあい
3. 防災訓練、避難訓練
4. 危険な箇所の把握
5. 自主防災組織の結成や活性化
6. 非常食などの備蓄
7. 地域へ居住する避難行動要支援者の把握
8. 避難行動要支援者の避難を支援する体制づくり
9. 避難所や避難ルートの確保・整備
10. その他……………
11. 分からない

問18 災害（地震や津波、台風等）が起こった場合、あなたは住民同士でどのような支え合いが必要だと
思いますか。
【当てはまる全てに○】

1. 災害直後の安全確認や声かけ
2. 災害状況や避難場所に関して教えあう
3. 避難所などへの移動を手伝う
4. 避難所の運営の協力
5. 災害直後の後片付け（被災した住宅や道路の清掃等）
6. その他〔 〕
7. 分からない

19 宜野湾市では、避難行動要支援者（避難に際して介助等が必要な方）の安全な避難のため、「避難行動要支援者名簿^{※5}」の作成に取り組んでいます。あなたはこの取り組みをご存じですか。【〇は1つ】

1. 名称も取組み内容も知っている（またはだいたい知っている）
2. 名称は聞いたことがあるが、取組みの内容は知らない
3. 名称も聞いたことがない

地域福祉に関する取り組み等について

問20 「第三次野洲市地域福祉計画」について、ご存じですか。

1. 名称を知っており、計画内容も分かる (または、だいたい分かる)
2. 名称は知っていたが、計画内容はよく分からない
3. 名称も内容も知らない

【問21】 地域福祉を推進する宣野湾市内の以下の関係団体や施設、人材について、ご存じですか。【〇は1つつづ】

| 地域福祉を推進する 関係団体や人材 | 名前も活動内容も 知っている | 名前も聞いたことがあるが、 活動内容は知らない | 名前も聞いたこと がない |
|-----------------------|-------------------|----------------------------|-----------------|
| ※6 宮野営市社会福祉協議会（社協） | 1 | 2 | 3 |
| チェイシーゼンターさんさん※7 | 1 | 2 | 3 |
| 権利擁護支援センターうる※8 | 1 | 2 | 3 |
| 民生委員・児童委員※9 | 1 | 2 | 3 |
| ※10 地域福祉コーディネーター | 1 | 2 | 3 |
| ※11 県守りおかりサポーター | 1 | 2 | 3 |

5

問22 宜野湾市が進める地域福祉の以下の取組みの満足度や重要性について、ご記入ください。

| | | 満足度 | | | | | 重要度 | | | | |
|---|---|---------|-----------|--------------|------------|----------|---------|-----------|--------------|----------------|-------------|
| | | 1 満足 | 2 やや満足 | 3 どちらでもない | 4 やや不満足 | 5 不満足 | 1 重要 | 2 やや重要 | 3 どちらでもない | 4 あまり重要ではない | 5 重要ではない |
| | ※満足度や重要度について、 あなたご自身の感じ方をお答えください。 ※○は全部で20カ所にご記入ください (10問×2箇所) | | | | | | | | | | |
| ① | 地域で住民同士が互いに支え合う活動の充実 (地域支援合い活動委員会の活性化など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② | 福祉活動の場の充実 (自治会・福祉団体の活性化、活動をサポートするしくみの充実など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ | 地域で取り組む防犯・防災対策 (地域見回りや避難行動要援者の把握など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ | 生活課題を抱える方への支援 (困窮などの生活課題の解決や住居確保の支援など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ | 経済的に厳しい子育て家庭への支援 (子どもの居場所や学習支援など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ | 地域を担う人材の育成 (学校での福祉教育や、地域を担う人材の育成など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ | ボランティアの育成・活動の充実 (ボランティア活動や、活動をサポートする仕組みの充実) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ | 人にやさしいまちづくり (道路・公園等のバリアフリー化、外出しやすいくみなど) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ | 相談窓口や情報提供の充実 (相談窓口の充実や、誰でも情報を入手できる仕組み) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ | 判断能力が不十分な方の権利を守るしくみ (成年後見制度などの利用促進や、虐待の防止・発見など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

60

問 23

地域福祉における行政と地域住民の関係はどうかあるべきだと思いますか。

【○は1つ】

1. 行政と地域住民が互いに協力して地域の課題に取り組む

2. 行政の取り組みとともに、行政の手が届かない課題は地域住民が協力して取り組む

3. 地域の福祉を充実させるのは行政の責任であって、地域住民が協力する必要はない

4. 地域住民で助け合い、それで十分でない場合に行政が支援する

5. その他〔.....〕

6. わからない

最後に、今回の調査結果を統計的にデータ処理するために、いくつかお尋ねします。

F1

あなたの性別は次のどれに当たりますか。

（※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただくなくても結構です。）

【○は1つ】

1. 男性

2. 女性

3. その他・答えたくない

F2

あなたの年齢は次のどれに当たりますか。

【○は1つ】

1. 20代

2. 30代

3. 40代

4. 50代

5. 60代

F3

あなたは、どのような家族構成で暮らしていますか。

【○は1つ】

1. 1人暮らし

2. 夫婦のみ

3. 親と子

4. 親と子と孫

5. 母子または父子家庭

6. パートナーとの同居

7. その他〔.....〕

F4

あなた自身または同居している家族の中に、次のような方はいますか。【当てはまる全てに○】

1. 小学6年生までの子ども

2. 支援や介護を必要とする高齢者

3. 障がいのある方

4. その他〔.....〕

5. いなし

F5

あなたの住んでいる地域（行政区）は次のどれに当たりますか。該当する地域（行政区）が分らない場合は、封筒の宛名ラベルに印字されている「行政区№」を確認し、下記に○をつけて下さい。【○は1つ】

1. 野洲1区

2. 野洲2区

3. 野洲3区

4. 普天間1区

5. 普天間2区

6. 普天間3区

7. 新城区

8. 喜友名区

9. 伊佐区

10. 大山区

11. 真志喜区

12. 宇地泊区

13. 大謝名区

14. 嘉敷区

15. 真栄原区

16. 我如占区

17. 長田区

18. 直野湾区

19. 愛知区

20. 中原区

F6

あなたは、宜野湾市に住んでから通算して何年くらいになりますか。

【○は1つ】

1. 1年未満

2. 1～4年

3. 5～9年

4. 10～19年

5. 20～29年

6. 30年以上

F7

あなたの住んでいる住宅は次のどれに当たりますか。

【○は1つ】

1. 持ち家（一戸建て）

2. 持ち家（マンション）

3. 賃貸（一戸建て）

4. 賃貸（マンション・アパート）

5. 公営団地

6. その他〔.....〕

F8

あなたの就業形態などは次のどれに当たりますか。

【○は1つ】

1. 正社員・正規職員

2. パート・アルバイト等

3. 自営業

4. 学生

5. 無職

6. その他〔.....〕

（２）関係団体意向調査

地域の支え合いや相談の体制づくり等について各関係団体からの意見聴取を行い、今後の宜野湾市の地域福祉施策への意見反映を行うことを目的に、市内の関係団体に対して簡易な意向調査を行った。以下にその結果を示す。

１）相談支援機関（地域包括支援センター・障がい者相談支援事業所・居宅介護支援事業所・病院地域連携室）

| | |
|--|--|
| ① 事業者名 宜野湾市地域包括支援センターかいほう | |
| ②高齢者や障がい者の地域での生活に関して、この５年間で取組が進んだと感じていること、逆に遅れていると感じていることをお聞かせ下さい。 | <p><取り組みが進んだこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口での相談でも権利擁護が必要な方が年々増えていますが、年々対応力、体制等も整えられた感じがします。 <p><遅れている・早急に対応が必要なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の要因となっている、生活習慣病の早期予防、フレイル予防に対する一体的取り組み |
| ③貴相談支援機関では、地域の団体等と連携や、そのための工夫をされていますか。また、今後行っていきたい取り組み等がありますか。 | <p><地域資源との連携・工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働連携をしながら生活課題、地域課題等解決に取り組んでいる。 <p><今後取り組んでいきたいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神、認知面、生活習慣の早期予防の環境づくりを関係機関と情報共有、地域へも発信できるようにする。 |
| ④地域で市民の相談支援に携わるにあたって、対象者世帯の課題の等、貴団体では対応できない、またはどこと一緒に支援したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例がありましたか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族、親族等の疎遠状態の方に対し、認知機能低下、判断力低下、生活機能低下等、予想される段階からの支援の必要性を感じている。業務量等もあり、その場のケース発見導入支援となっている現状である。 |
| ⑤地域で市民の相談支援に携わる中で、本市の相談受理や支援の体制にはどのような強み、逆に課題があると感じますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり ⇒ボランティア等、育成等、活用方法等を提言してフィードバックしてほしい。 |
| ⑥今後、相談支援体制を強化し、ひきこもりや 8050 等といった制度の狭間や多様化するニーズに対応していくためには、本市ではどのような相談支援体制が良いと思いますか。日頃市民の携わっている立場から、提案等がございましたらお書きください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・最近、新聞で「ヤングケアラー」の記事が掲載されていた。家族の介護やケアをしている子ども達が相談できる場所や窓口の案内、情報の周知が必要だと思いました。 ⇒子ども達にわかりやすいような方法など。（学校内にポスターを貼るなど） |
| ⑦その他自由意見 | — |

| | |
|---|--|
| ① 事業者名 | 宜野湾市地域包括支援センターふれあい |
| ② 高齢者や障がい者の地域での生活に関して、この5年間で取組が進んだと感じていること、逆に遅れていると感じていることをお聞かせ下さい。 | <p>＜取り組みが進んだこと＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い委員会へ地道に地域包括支援センターが参加することで、包括ケアシステムに向け、生活圈或(中学校区)で、高齢者、障がい者相談が進められた。 ・居場所づくりを行うことで、気になる世帯の情報や相談があがってきた。 ・包括支援センター主催の地域ケア会議(個別課題型)を進めることで、地域課題があがってきている。 ・地域での居場所づくりを進めた。公民館を利用した通いの場を住民と共に立ち上げ、高齢者自身が健康維持できるよう意識を高められるよう通いの場を設けた。 ・認知症カフェなど定期的に地域と交流できる企画を行っています。 ・銀行へ出張相談窓口2ヶ月に1回開催しています。 <p>※上記内容は、地域包括ケアシステムへ向けて取り組みを進めています。</p> <p>＜遅れている・早急に対応が必要なこと＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段の在り方 ・高齢者のフレイル対策の検討 ・地域の社会資源を発掘して繋げる |
| ③ 貴相談支援機関では、地域の団体等と連携や、そのための工夫をされていますか。また、今後行っていきたい取り組み等がありますか。 | <p>＜地域資源との連携・工夫していること＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護長寿課主導のもと、認知症の方々への支援、見守りお帰りネットワークや自販機での見守り支援など事業として進んでいる。 ・地域自治会とは、何かあるごとに、顔出し、相談、協力を行ってきた。 ・地域民生委員とも連携を図る為、勉強会や情報交換会を行っていたが、コロナ禍で現在は行えていない。 ・地域の企業、ガス会社、宅建協会、コンビニエンスストア、銀行、農協等の高齢者が利用する企業への見守り支援の依頼を行い、必要な勉強会を開催。また、気になる世帯があれば、相談窓口があることを周知、依頼してきた。コロナ禍において活動が止まっている。 <p>＜今後取り組んでいきたいこと＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業への働きかけは、今後も地道に必要と考えている。コロナ禍の中でもできる対策を考えたい。 ・コロナ禍でもボランティアできる企業へのアプローチ。 ・学生とのボランティアコラボ。特に高校生や大学生。社会参加へ繋げる為、若い世代へ地域包括ケアシステムを理解してもらう活動へ繋げる。 |

| | |
|---|---|
| <p>④地域で市民の相談支援に携わるにあたって、対象者世帯の課題の等、貴団体では対応できない、またはどこと一緒に支援したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありましたか。それはどんな事例ですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・結果連携できたのですが、児童の部分で学校カウンセラーなどとの連携が、もどかしい事例がありました。 ・高齢者のみで身寄りがない、支援者がいない方への支援が、増えていること。保証人問題が多い。連携できるところがない。 ・支援を受けていない方へ初回訪問後から支援に繋がるまで見守り訪問が多くなっている。 |
| <p>⑤地域で市民の相談支援に携わる中で、本市の相談受理や支援の体制にはどのような強み、逆に課題があると感じますか。</p> | <p>強み：どの課もすぐに、相談できる体制があり、専門職と繋がりやすい。相談しやすい。</p> <p>課題：多問題ケースが増えているなか、専門職、専門分野の連携が見える化できるといいと思う。より相談がしやすくなる。チームの対応も今よりもスマートになる。</p> |
| <p>⑥今後、相談支援体制を強化し、ひきこもりや 8050 等といった制度の狭間や多様化するニーズに対応していくためには、本市ではどのような相談支援体制が良いと思いますか。日頃市民の携わっている立場から、提案等がございましたらお書きください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活圏域単位で、子供、高齢者、障がい、生活困窮者、社協など担当を明確化(現在もあるが、強化と連携が必要)し、定期的な連携を持つ。市民が、それぞれの課を行き来しないよう(たらい回し)、その末に解決に至らないという事態にならないよう、生活圏域単位で連携チームを作る。行政とは連携するが、地域で活動している子供関連の相談ステーション、障害関連の相談窓口との連携は現在、少ないと思う。 ・添付資料、事例 5 三重県名張市、和光市のようなシステム、良いと思います。 |
| <p>⑦その他自由意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市民が健康推進や、ボランティアなど、率先して行っている場合の市民への還元できるものを政策すると、市民の意識が高まるもの。ポイント制など。 ・企業力を活用し、見守り支援を委託できるシステムを増やす。 ・高齢者の免許証返納によりバス、タクシー利用が、金額的に困難やバス停まで行けないなどの課題がある。コミュニティーバスの検討もお願いしたい。 |

| | |
|--|--|
| ① 事業者名 | 宜野湾市地域包括支援センター ギのわん |
| ②高齢者や障がい者の地域での生活に関して、この5年間で取組が進んだと感じていること、逆に遅れていると感じていることをお聞かせ下さい。 | <p><取り組みが進んだこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の障がい者支援団体との顔の見える関係づくり <p><遅れている・早急に対応が必要なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援機関の一体化（情報共有の場、情報提供の統一、協議する会議の定例化） |
| ③貴相談支援機関では、地域の団体等と連携や、そのための工夫をされていますか。また、今後行っていきたい取り組み等がありますか。 | <p><地域資源との連携・工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会の「地域支え合い活動委員会」へ定例参加し、情報共有を図っている。 ・生活支援コーディネーターとの協働 <p><今後取り組んでいきたいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣大学との連携強化 |
| ④地域で市民の相談支援に携わるにあたって、対象者世帯の課題の等、貴団体では対応できない、またはどこと一緒に支援したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例がありましたか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢の親に関わる中で、同居の子（引きこもり？ 発達障がい未受診？）がいても触れられないケース ⇒ ・相談の同意が得られない ・親世代の発達に対する偏見が強い傾向 |
| ⑤地域で市民の相談支援に携わる中で、本市の相談受理や支援の体制にはどのような強み、逆に課題があると感じますか。 | 記入なし |
| ⑥今後、相談支援体制を強化し、ひきこもりや 8050 等といった制度の狭間や多様化するニーズに対応していくためには、本市ではどのような相談支援体制が良いと思いますか。日頃市民の携わっている立場から、提案等がございましたらお書きください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・世代に合った福祉に関する情報発信や、地域活動の魅力を広く周知できる等を担う相談窓口設置 |
| ⑦その他自由意見 | 記入なし |

| | |
|--|---|
| ① 事業者名 | 沖縄県自立生活センター・イルカ |
| ②高齢者や障がい者の地域での生活に関して、この5年間で取組が進んだと感じていること、逆に遅れていると感じていることをお聞かせ下さい。 | <p><取り組みが進んだこと></p> <ul style="list-style-type: none"> • 重度の医療ケアが必要な方々のサポート体制を整えて、地域生活が送れるようになってきている。 • 特定相談支援事業(計画相談)がスタートしたことで、障がい福祉サービスの利用がしやすくなった。 <p><遅れている・早急に対応が必要なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域生活拠点等整備事業の早急に実施に向けた取り組みが必要だが、現在、宜野湾市では地域自立支援協議会の開催が出来ていない現状である。地域自立支援協議会の開催ができていないという事は、地域の課題解決に向けて話し合うテーブルがない事を指しています。 |
| ④地域で市民の相談支援に携わるにあたって、対象者世帯の課題の等、貴団体では対応できない、またはどこと一緒に支援したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありましたか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> • 触法行為を繰り返す方の支援で、本人自身に病識がない方は支援者を受け入れ拒否するケースが多い。病院も、通院していれば連携は取れるが、医療機関へ定期受診がない場合、時間をかけて関わりながら関係づくりをしていく必要がある。 • 第三者の関わりを拒否する方は、警察にも情報提供して、地域でのトラブルが起きたら医療機関へ繋がれるようにする場合もケースによってはある。 |
| ⑤地域で市民の相談支援に携わる中で、本市の相談受理や支援の体制にはどのような強み、逆に課題があると感じますか。 | <ul style="list-style-type: none"> • 今年度より、障がい者委託相談支援の体制が地区担当制になっているが、関係機関より相談がしにくくなったとの声が寄せられている。役所の相談員や委託相談員によっては、柔軟に動いてくれる方もいるが、そうでない方もいる。相談したはずだがなかなか動いてもらえず、計画相談員が抱え込みになっている現状である。相談員の抱え込み防止として、2年前までやっていた自立支援協議会相談支援部会で主催し、開催していた計画相談ワーキングがそれに当たる為、障がい福祉課へ今年度、早急に開催できるように打診しているところである。 • 強みとしては、2年前までやってきたワーキングの繋がりで相談員同士の繋がりがあため、個々で相談しあえている方もいるが、新しく立ち上がった相談員は、まだ繋がりがもてていない現状である。 |
| ⑥今後、相談支援体制を強化し、ひきこもりや8050等といった制度の狭間や多様化するニーズに対応していくためには、本市ではどのような相談支援体制が良いと思いますか。日頃市民の携わっている立場から、提案等がございましたらお書きください。 | <ul style="list-style-type: none"> • 社会問題となっている8050問題やひきこもりのケース対応については、丁寧な関わりが必要となる為、人手は必要となる。今の体制では、時間をかけた関わりが不十分だと感じる為、人材の確保・人材育成が必要になると思います。 • 具体的には、重層的支援体制整備事業コーディネーターの配置⇔連携 基幹型相談支援センター⇔連携 委託相談支援事業所 • 重層的支援体制整備事業のコーディネーターの配置をして、障がい分野、高齢分野、児童分野、生活困窮分野の専門職を配置する事で、各関係機関との連携が図りやすいと思います。 |
| ⑦その他自由意見 | — |

| | |
|--|---|
| ① 事業者名 在宅介護サービス きずな | |
| ②高齢者や障がい者の地域での生活に関して、この5年間で取組が進んだと感じていること、逆に遅れていると感じていることをお聞かせ下さい。 | <p><取り組みが進んだこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス業者が増えてきている。 ・15～30分、有償ボランティアを活用できている。 ・移動スーパーで買物を楽しむことが出来るようになっている。 <p><遅れている・早急に対応が必要なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居老人、ひとり親世帯で、コロナ禍での買物や食の確保が難しくなり、救援物資等を充実して欲しい。 ・団地等のボランティア活動で、朝食やお弁当の配食を再開して欲しい。 |
| ④地域で市民の相談支援に携わるにあたって、対象者世帯の課題の等、貴団体では対応できない、またはどこと一緒に支援したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありましたか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者への通院介助をすることが増えて、業務負担が大きい。 ・コロナ禍の中で、ミニディが利用できなくなり、集まれる場所が少なく、利用者が閉じこもりがちになっている。 ・利用者だけでなく、家族も含めた支援が必要なケースがあり、包括支援センターは相談窓口として助かっています。ただ、土日祝日は相談できるところがなく困っています。 |
| ⑤地域で市民の相談支援に携わる中で、本市の相談受理や支援の体制にはどのような強み、逆に課題があると感じますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険、障がいサービスの併用がスムーズに出来るようになり、在宅介護が可能になっていると、ご家族や本人から喜ばれています。 |
| ⑥今後、相談支援体制を強化し、ひきこもりや8050等といった制度の狭間や多様化するニーズに対応していくためには、本市ではどのような相談支援体制が良いと思いますか。日頃市民の携わっている立場から、提案等がございましたらお書きください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給対象ではないが、経済的に苦しい人たちのサポートがあればと思う。 ・シルバークーポン（月500円）を再開して頂けると助かります。 |
| ⑦その他自由意見 | 特に無し |

| | |
|--|--|
| ① 事業者名 居宅介護支援事務所 ギのわんおもと園 | |
| ②高齢者や障がい者の地域での生活に関して、この5年間で取組が進んだと感じていること、逆に遅れていると感じていることをお聞かせ下さい。 | <p><取り組みが進んだこと> 記入なし</p> <p><遅れている・早急に対応が必要なこと> 障がいがある方の交通機関やバス停まで行けない方の、外出時の車・送迎の確保が必要と思われます。</p> |
| ④地域で市民の相談支援に携わるにあたって、対象者世帯の課題の等、貴団体では対応できない、またはどこと一緒に支援したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありましたか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護の方で夏場の温暖化の中、クーラーが無く、保護費で賄えないという事で困っているケースがあります。（熱中症の危険あり） |
| ⑤地域で市民の相談支援に携わる中で、本市の相談受理や支援の体制にはどのような強み、逆に課題があると感じますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当者により対応が異なる点があると思います。 |
| ⑥今後、相談支援体制を強化し、ひきこもりや 8050 等といった制度の狭間や多様化するニーズに対応していくためには、本市ではどのような相談支援体制が良いと思いますか。日頃市民の携わっている立場から、提案等がございましたらお書きください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の担当であっても、家庭内の問題にぶつかることがあり、児童～高齢者をトータルで支援できる「支援センター」が必要と思われます。 ・コロナ感染者のシェルター設置が必要と思われます。 |
| ⑦その他自由意見 | — |

| | |
|--|--|
| ① 事業者名 宜野湾記念病院 | |
| ②高齢者や障がい者の地域での生活に関して、この5年間で取組が進んだと感じていること、逆に遅れていると感じていることをお聞かせ下さい。 | <p><取り組みが進んだこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの取り組みが根づいてきており、知名度も上がった。 <p><遅れている・早急に対応が必要なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害サービスの申請から支援開始までに時間がかかり過ぎている。相談支援専門員も足りず、当事者のニーズへの対応が遅れていると感じる。 |
| ④地域で市民の相談支援に携わるにあたって、対象者世帯の課題の等、貴団体では対応できない、またはどこと一緒に支援したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありましたか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・虐待が疑われるケース ・治療に対して本人や家族の協力が得られないケース |
| ⑤地域で市民の相談支援に携わる中で、本市の相談受理や支援の体制にはどのような強み、逆に課題があると感じますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者の新規サービスの導入、各制度の狭間にいる方への受診援助等の健康管理、支援の体制に課題あり。 ・担当者から折り返しの連絡が無かったり、治療を中断せずに継続できるようなサポートが必要と考える。 |
| ⑥今後、相談支援体制を強化し、ひきこもりや 8050 等といった制度の狭間や多様化するニーズに対応していくためには、本市ではどのような相談支援体制が良いと思いますか。日頃市民の携わっている立場から、提案等がございましたらお書きください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民からの相談を引き継いで行く側としては、どの相談支援機関につなげたら良いのかを明確にしてもらいたい。 ・加えて、市民に理解してもらえよう、広報にも力を入れて頂きたい。 |
| ⑦その他自由意見 | — |

2) 地域支え合い活動委員会

| | |
|---|--|
| <p>①貴団体の体制等について教えてください。</p> | <p><団体の名称></p> <p><u>普天間1区地域支え合い活動委員会</u></p> <p><構成メンバー></p> <p>・人数：約 <u>17 名</u> ・平均年齢：約 <u>65 歳</u>くらい</p> <p><定例会について></p> <p>・定例会の開催頻度：年間 <u>12 回</u>程度</p> <p>・定例会への構成メンバー以外の方（地域包括支援センター、相談事業所 等）の参加の有無：<u>ある</u> ・ <u>ない</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>具体的にはどういった方ですか：</p> <p style="text-align: right;"><u>社協・地域包括支援センター・はぴわん</u></p> |
| <p>②活動内容、今後行っていききたいと考えている活動内容があれば教えてください。</p> | <p><現在の主な活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居老人・ひとり親世帯の見守り ・防犯灯点検 ・小学校裏門鍵開け、朝の立哨 ・地域安全見守り（ハブトラップ、違法駐車・危険） <p><現在は行っていないが、過去に行ってきた活動の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入促進、訪問 <p><今後行っていききたい活動の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代を巻き込んだ地域活動（模索中） |
| <p>③活動等を行って「良かった」と感じていることはどんなことですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・活動を続ければ続けるほど横のつながりが強くなっていくのを感じます。それは、とても大きな財産で、関わった人たちの笑顔が見られた時、本当に活動していて良かったと思います。 |
| <p>③活動を活性化させるには、どのようなことが必要だと思いますか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信が必要で、何をどのように取り組んでいるのか「自治会だより」や掲示板等で発信し、視野を深めて頂けるよう考えています。 ・地域の皆さんの求めるニーズをタイムリーにキャッチできるようにアンテナを張り巡らせることを心掛けています。 |
| <p>④活動を通して、見えてきた地域の課題や、今後取り組みが必要と感じていましたら教えてください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会員の高齢化、若者世代の自治会未加入 ・地域の支え合い活動はボランティア精神のもとでの活動となるので、その精神の大切さの育みが必要だと感じます。 |
| <p>⑤活動を通して困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・現状では、相談先が明確になっているので大丈夫です。 ・また、相談先が違っていても、アドバイス・指南して頂けるので、迷子にはなりません。 |

| | |
|--|---|
| <p>⑥人材や担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。</p> | <p><地域人材の確保・育成について工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の人材確保・育成は課題です。 <p><地域の企業等と連携していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電器屋さんには防犯灯の点検時などにアドバイスを頂いています。 ・ミニデイや子どもの居場所等のお弁当相談など。 <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コツコツと活動をアピールし、周知していきたいです。 |
| <p>⑦その他自由意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会へ加入している方は、お顔が見えるので安心ですが、未加入の方々がどのような状況で生活しているのか見えないのが心配です。相談機関へ相談するまでではないが、困っている方がいないか等、予防策として見守り活動ができると良いと思います。 |

| | |
|--|---|
| ①貴団体の体制等について教えてください。 | <p><団体の名称></p> <p><u>喜友名区地域支え合い活動委員会</u></p> <p><構成メンバー></p> <p>・人数：約 <u>15 名</u> ・平均年齢：約 <u>68 歳</u>くらい</p> <p><定例会について></p> <p>・定例会の開催頻度：年間 <u>12 回</u>程度</p> <p>・定例会への構成メンバー以外の方（地域包括支援センター、相談事業所 等）の参加の有無：<u>ある</u> ・ <u>ない</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>具体的にはどういった方ですか：<u>包括支援センター、社協</u></p> |
| ②活動内容、今後行っていきたいと考えている活動内容があれば教えてください。 | <p><現在の主な活動内容></p> <p>・独居、高齢者見守り ・下校時見守り ・美化活動</p> <p><現在は行っていないが、過去に行ってきた活動の内容></p> <p>・食料支援 ・給食宅配</p> <p><今後行っていきたい活動の内容></p> <p>・困窮世帯（生活苦）を救い上げ、支援できればと思っているが、その情報が乏しい。</p> |
| ③活動等を行って「良かった」と感じていることはどんなことですか。 | <p>・配食の時、「自治会はこんなこともしているんですか」と、普段はほとんど話さない人に笑顔で接してもらえた事に、こちらも笑顔になった。</p> |
| ③活動を活性化させるには、どのようなことが必要だと思いますか。 | <p>・どの世帯が困窮世帯（生活苦）なのか、母子家庭等の情報が必要だと思う。</p> |
| ④活動を通して、見えてきた地域の課題や、今後取り組みが必要と感じていましたら教えてください。 | <p>・どの世帯が困窮世帯（生活苦）なのか、母子家庭等の情報が必要だと思う。</p> |
| ⑤活動を通して困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <p>・社協や包括支援センターと連絡をとり、訪問したりしている。</p> |
| ⑥人材や担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。 | <p><地域人材の確保・育成について工夫していること></p> <p>・自治会だよりで呼びかけ（募集）している。</p> <p><地域の企業等と連携していること></p> <p>・特になし</p> <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <p>・こども育成会メンバー等に声かけしたい。</p> |
| ⑦その他自由意見 | — |

| | |
|---|--|
| <p>①貴団体の体制等について教えてください。</p> | <p><団体の名称></p> <p><u>伊佐区地域支え合い活動委員会</u></p> <p><構成メンバー></p> <p>・人数：約 <u>9 名</u> ・平均年齢：約 <u>55 歳</u>くらい</p> <p><定例会について></p> <p>・定例会の開催頻度：年間 <u>12 回</u>程度</p> <p>・定例会への構成メンバー以外の方（地域包括支援センター、相談事業所 等）の参加の有無：<u>ある</u> ・ <u>ない</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>具体的にはどういった方ですか：<u>地域包括支援センターかいほう</u></p> |
| <p>②活動内容、今後行っていきたいと考えている活動内容があれば教えてください。</p> | <p><現在の主な活動内容></p> <p>・地域で気になるひとり暮らしの高齢者の見守り活動</p> <p><現在は行っていないが、過去に行ってきた活動の内容></p> <p>・活発な自治会を訪ねて、交流会を持つ。</p> <p><今後行っていきたい活動の内容></p> <p>・防災訓練等も行い、高齢者の支援にも役立てたい。</p> |
| <p>③活動等を行って「良かった」と感じていることはどんなことですか。</p> | <p>・気になる方の本音や家族の方の本音が聞けて、どのような支援が必要なのかが分かってくる面では、活動は欠かせないものだと思う。</p> |
| <p>③活動を活性化させるには、どのようなことが必要だと思いますか。</p> | <p>・見守りを頻繁に行う。</p> <p>・常にアンテナを巡らせて情報を得る。</p> |
| <p>④活動を通して、見えてきた地域の課題や、今後取り組みが必要と感じていましたら教えてください。</p> | <p>・コロナ禍でますます把握しづらくなる中で、認知症が増えたり、体力の衰えに気づきにくい。家族の方との話し合いも出来ず、介護の苦悩にも気づきにくい。</p> |
| <p>⑤活動を通して困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。</p> | <p>・どこに相談したら良いか分からない場合は、社協の地域支え合い活動の担当の方へ相談しています。対応してくれるので助かります。</p> |
| <p>⑥人材や担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。</p> | <p><地域人材の確保・育成について工夫していること></p> <p>・適している方はいないか常に考え、各団体への呼びかけを行う。</p> <p><地域の企業等と連携していること></p> <p>・区の行事にも誘って、区の方々とコミュニケーションを持てるようにする。</p> <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <p>・地域の人材のつながりを元に呼びかけを行う。</p> |

| | |
|----------|--|
| ⑦その他自由意見 | <ul style="list-style-type: none"> • 地域のコミュニケーションを深める事業を多く持てるようにし、それに伴う助成金を増やして頂きたい。 • コミュニケーションを深めることで、繋がりは孤独感を無くし、心の豊かな地域となる。見守り活動していく上で一番大切な部分だと感じています。 |
|----------|--|

| | |
|---|--|
| <p>①貴団体の体制等について教えてください。</p> | <p><団体の名称></p> <p><u>上大謝名区地域支え合い活動委員会</u></p> <p><構成メンバー></p> <p>・人 数：約 <u>20 名</u> ・平均年齢：約 <u>74 歳</u>くらい</p> <p><定例会について></p> <p>・定例会の開催頻度：年間 <u>12 回</u>程度</p> <p>・定例会への構成メンバー以外の方（地域包括支援センター、相談事業所 等）の参加の有無：<u>ある</u> ・ <u>ない</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>具体的にはどういった方ですか：<u>社協、包括支援センターふれあい</u></p> |
| <p>②活動内容、今後行っていきたいと考えている活動内容があれば教えてください。</p> | <p><現在の主な活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会にて見守り支援の方、気になる方の情報を共有し、今後の取り組みとする。 ・ 防災訓練 ・支え合い人材バンクの活用（草刈り、自宅でヘアカット、家電修理、電気工事等） <p><現在は行っていないが、過去に行ってきた活動の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での助成金活用で弁当お届け（令和3年2～3月） <p><今後行っていきたい活動の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のことを地域で解決することにより、スピードと安心生活につなげる人材バンクの充実と活用。 |
| <p>③活動等を行って「良かった」と感じていることはどんなことですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを感じてもらえること ・ひとり暮らしの方や高齢者に喜んでもらえること |
| <p>③活動を活性化させるには、どのようなことが必要だと思いますか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会に入会して頂き、情報把握できるようになってもらうこと。 ・地域の人材活用 |
| <p>④活動を通して、見えてきた地域の課題や、今後取り組みが必要と感じていることがありましたら教えてください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や独居が進むことは一番の課題であり、早くから老人会・婦人会・ボランティア活動に参加し、身近なつながりを持って欲しいです。 ・週1回のミニデイサービス参加の方の元気が証明していると思っています。 |
| <p>⑤活動を通して困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・あります。 |

| | |
|--|--|
| <p>⑥人材や担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。</p> | <p><地域人材の確保・育成について工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの後継者不足が見えていますが、声かけを心掛けています。 ・定年した方に協力してもらうよう、お願いの声かけをしています。 <p><地域の企業等と連携していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス、ミニデイサービスのお弁当 ・内容に応じて、地域の企業にお願いしています。 <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職を活かして定年後の生きがいにして頂ければ嬉しいです。 |
| <p>⑦その他自由意見</p> | <p>—</p> |

| | |
|---|---|
| <p>①貴団体の体制等について教えてください。</p> | <p><団体の名称></p> <p><u>宜野湾区地域支え合い活動委員会</u></p> <p><構成メンバー></p> <p>・人数：約 <u>13 名</u> ・平均年齢：約 <u>68 歳</u>くらい</p> <p><定例会について></p> <p>・定例会の開催頻度：年間 <u>11 回</u>程度</p> <p>・定例会への構成メンバー以外の方（地域包括支援センター、相談事業所 等）の参加の有無：<u>ある</u> ・ <u>ない</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>具体的にはどういった方ですか： _____</p> |
| <p>②活動内容、今後行っていきたいと考えている活動内容があれば教えてください。</p> | <p><現在の主な活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の交通安全見守り隊 ・見守り訪問活動 ・美化活動 ・見守り弁当配達活動 ・自治会加入促進活動 <p><現在は行っていないが、過去に行ってきた活動の内容></p> <p>記入なし</p> <p><今後行っていきたい活動の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織活動 |
| <p>③活動等を行って「良かった」と感じていることはどんなことですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・朝の交通安全見守り隊を通して、子どもたちの登校を見ることができ、また、朝のあいさつで元気をもらえています。 ・美化活動では、長田交差点の花壇の手入れをして、ドライバーと歩行者の癒しになっています。 ・高齢者の見守り活動をすることで、健康面の異変に気づき、対応することができています。また、話し相手になり、心のケアにもなっています。 |
| <p>③活動を活性化させるには、どのようなことが必要だと思いますか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動の担当は決まっているが、情報の共有をすること、話し合いを持つこと、連絡して早目の対応でつなげることが必要だと思います。 |
| <p>④活動を通して、見えてきた地域の課題や、今後取り組みが必要と感じていることがありましたら教えてください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・活動する際、役割分担する取り組みが必要です。 |
| <p>⑤活動を通して困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会、地域包括支援センターと連携しているので、支援が必要な人には対応しています。 |

| | |
|--|---|
| <p>⑥人材や担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。</p> | <p><地域人材の確保・育成について工夫していること> 記入なし</p> <p><地域の企業等と連携していること> 記入なし</p> <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど> ・地域で活動している若い人材を活動委員会に呼びかけていきたい。</p> |
| <p>⑦その他自由意見</p> | <p>—</p> |

3) 民生委員・児童委員連絡協議会

| | |
|---|--|
| ①単位民協の状況についてお答えください。 | <p><単位民協の名称></p> <p>普天間 中学校区 民生委員・児童委員連絡協議会</p> |
| ②更に活動が活性化するには、どのようなことが必要だと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員としての基本の習得、諸々の事例に対する対処法の学習・必要な知識や情報に関する研修の充実 ・ さらなる活動活性化にはサポートする側の行政からの情報が必要 |
| ③活動を行って「良かった」と感じていることをお答えください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の活動の中で「ご苦労さま」「ありがとう」と言われたとき。 ・ 高齢者が訪問を心待ちにしてくれたとき。 ・ 民生委員の活動を通して知人、友人が増え、福祉に関する知識や情報が増えたこと。 ・ 高齢者から児童まで幅広く接する機会が増えて視野が広がった。 ・ 高齢者を訪問して思い出話などを聞き、その方の歴史と共に地域の歴史も知ることが出来た。 |
| ④活動を通して、見えてきた地域の課題や、今後取り組みが必要と感じることがありましたら教えてください。 | <p><地域の課題等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集合住宅の増加が進み、住民の繋がりが希薄化している。 ・ コロナ禍の影響で訪問活動が難しい状況が続いている。 ・ 民生委員の担い手不足 ・ 欠員解消の一環として、民生委員の活動を紹介するポスターを自治会、銀行、郵便局、スーパー等へ掲示する。 |
| ⑤活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、どこに相談したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のところ、相談先はあります。 |
| ⑥地域の人材・担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。 | <p><地域人材の確保・育成について工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会長へ民生委員の補充、担い手の確保についてお願いし、地域活動と一緒にいる住民への声かけ <p><地域の企業等と連携していること></p> <p>—</p> <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <p>—</p> |
| ⑦その他自由意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ すべての人が生き生きとした生活が出来るよう、「ちゅいしーじーの心で創る 人と人がつながる やさしい都市ぎのわん」の地域福祉計画の策定をお願いします。 |

| | |
|---|--|
| ①単位民協の状況についてお答えください。 | <単位民協の名称> <u>真志喜 中学校区 民生委員・児童委員連絡協議会</u> |
| ②更に活動が活性化するには、どのようなことが必要だと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員・児童委員活動のPR ・ 民生委員・児童委員の知名度UP ・ 自治会との更なる連携 |
| ③活動を行って「良かった」と感じていることをお答えください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人会会員、独居老人等の見守り・安否確認を自治会長と共にできたこと ・ 地域支え合い委員会による見守り・安否確認 |
| ④活動を通して、見えてきた地域の課題や、今後取り組みが必要と感じていることがありましたら教えてください。 | <地域の課題等> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍でほとんどの活動が出来ない ⇒中・高齢者等の見守り活動の方法（訪問、直電 他） ・ いきいきデイサービスの早目の再開 |
| ⑤活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、どこに相談したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社協 ・ 地域包括支援センターかいほう ・ 自治会 <p>（相談先等は社協と相談して決定している。）</p> |
| ⑥地域の人材・担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。 | <地域人材の確保・育成について工夫していること> 特になし <地域の企業等と連携していること> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会のイベントへの協力と協賛 <人材確保に向けて今後行っていきたいことなど> 特になし |
| ⑦その他自由意見 | 特になし |

| | |
|---|--|
| ①単位民協の状況についてお答えください。 | <p><単位民協の名称></p> <p><u>嘉数 中学校区 民生委員・児童委員連絡協議会</u></p> |
| ②更に活動が活性化するには、どのようなことが必要だと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉関係の情報開示が必要だと思う。民生委員には守秘義務があるので、浦添市等では開示している。 |
| ③活動を行って「良かった」と感じていることをお答えください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の状況が把握でき、宜野湾市の予算、福祉行政、行事、市内の会社・NPO の活動、更にいろいろな資料が確認でき、市の将来を見通せることができたこと。 |
| ④活動を通して、見えてきた地域の課題や、今後取り組みが必要と感じることがありましたら教えてください。 | <p><地域の課題等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が閉塞化している。孤立・孤独化により、家族の方でも親族とのつながりが薄くなっている。 ・高齢者も子が世話しなくなっている。すべての世代が共同して行える場が必要である。 ・ボランティア活動を子どもの頃より涵養する必要がある。関係団体のみで行事をこなすのではなく、全ての世代で行える活動はないものか。植樹やゴミ拾い、援農、はごろも祭りのような行事を増やしていくべきである。マラソンを失くしたのは残念である。 ・もっと他団体と密にするべき。 |
| ⑤活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、どこに相談したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員は自治会単位でまとまっているので、すぐ相談し、定例会や会長、まとめ役とで解決できるようになっている。 ・行政や担当課等に連絡できるものの、フィードバックが充分でないように思う。上の決定がどうなっているのか、知らしめるようなシステムが必要であろう。 |
| ⑥地域の人材・担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。 | <p><地域人材の確保・育成について工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単協のみの研修や市連協での研修、そして初任者への研修、定例会を通じて情報提供している。 <p><地域の企業等と連携していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週 30 分番組の FM 放送を活用しながら、ゲストへの理解を図っている。 <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄付行為の充実。普天間未来基金を分野ごとに分けて充実する。（ボランティア基金、先輩方の報徳基金とか） |

| | |
|----------|---|
| ⑦その他自由意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・宜野湾市は他市町村に比べて良いのではと思っている。しかし、障がい者の取り組みは良いとしても、他分野（青少年、青年）の取り組みは不十分と思われる。 ・発表を公的なラジオや地方版新聞に載せる。 ・青年活動が自治会任せになっている。 ・役所の仕事については、住民との連携が薄いように思うし、もっと指導員やボランティア、自治会等と連携していくべきである。 ・役所職員の住民への配慮が大きく、役所の仕事を理解させることができると思う。すべての事業を住民に知らしめるのは、人間的なつながりが大きいものと思う。 |
|----------|---|

| | |
|---|--|
| ①単位民協の状況についてお答えください。 | <p><単位民協の名称></p> <p><u>宜野湾 中学校区 民生委員・児童委員連絡協議会</u></p> |
| ②更に活動が活性化するには、どのようなことが必要だと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員は担い手不足ですが、ただ定数を満たせば良いのではなく、ボランティア意識の高い人が望ましい。 ・言い古されたことですが、自治会が活性化すること。 ・多くの区民が足を運ぶこと（公民館講座、行事等）が定期的に行なわれれば、人材発掘は容易である。 |
| ③活動を行って「良かった」と感じていることをお答えください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修等でいろいろなことを学び、役立ったことや、多くの人と知り合えたこと。 ・民生委員として活動することにより、地域が見えるようになった。 ・老人会、ミニデイ、支え合い委員会等に参加することにより、地域が把握できた。 |
| ④活動を通して、見えてきた地域の課題や、今後取り組みが必要と感じていることがありましたら教えてください。 | <p><地域の課題等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入者を増やすことが先決ですが、行事を開催しても参加者が少なく、賃貸住宅も増えて住民関係が希薄になった。 ・セキュリティ設置のマンション等が多く、調査や訪問が難しくなった。 ・先輩から若い人たちへの良い伝統文化の継承が少なくなった。 ・まずは、公民館の活性化が第一である。人が集まることにより、人材が発掘される。 |
| ⑤活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、どこに相談したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・役所、関係機関の相談窓口が充実しているため、相談等は少ない。 ・民生委員の相談先は主に社会福祉協議会で近隣トラブルが多い。 ・樹木の越境で落ち葉が庭に散らかった、台風で粗大ごみが飛んできた等、直接、隣人に言えず、民生委員として相談を受けたことがある。 |
| ⑥地域の人材・担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。 | <p><地域人材の確保・育成について工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のあらゆる研修に参加して人材発掘に努めている。 <p><地域の企業等と連携していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の活動強化週間の一環として、スーパー店舗前でチラシ配布を実施する広報活動に協力を頂いた。 <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <p>記入なし</p> |
| ⑦その他自由意見 | — |

4) その他の地域活動団体

| | |
|---|---|
| ①貴団体の体制等についてお答えください。 | <p><団体の名称></p> <p><u>普天間3区 子どもの居場所</u></p> |
| ②貴団体の活動内容、今後行っていきたいと考えている活動内容をお答えください。 | <p><主な活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週火・木曜日の下校時から18時まで、子どもたちに宿題・遊べる場所を提供している。 <p><今後行ってきたい活動の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察・体験（宿泊）等の活動をさせてあげたい。 |
| ③地域活動等を行って「良かった」と感じていることはどんなことですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の子どもは地域で」中学生になった子が、小学生（下級生）の遊び相手等、面倒をみてくれて嬉しく思う。 |
| ④貴団体の活動において、課題がありましたら教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館が活動拠点なので、自治会会員以外の方が利用しにくい？ |
| ⑤活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。 また、どこに相談したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉課 自立支援係 子ども支援員に直接相談、もしくは担当部署を紹介してもらっている。 |
| ⑥人材や担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。 | <p><人材の確保・育成について工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアセンター（大学コンソーシアム）から、宿題をみてる大学生の派遣受け入れ <p><地域の企業等と連携していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の弁当屋（2カ所）から定期的に食事の差し入れがある。 <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの保護者の中には、手伝いをしてくれる方々がいるので徐々に行いたい。 |
| ⑦今後、宜野湾市で地域でボランティア活動や、支え合える地域を作っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。 | — |
| ⑧その他自由意見 | — |

| | |
|---|--|
| ①貴団体の体制等についてお答えください。 | <p><団体の名称></p> <p>ゆーでいき家ー</p> |
| ②貴団体の活動内容、今後行っていきたいと考えている活動内容をお答えください。 | <p><主な活動内容></p> <p>週2回 子どもの居場所を開所 (水)15:30~17:30 学習支援(宿題・ドリル・かるた) (土)14:00~18:00 生活支援(木工・自然観察・花植え)</p> <p><(水)おやつ (土)子ども食堂></p> <p>テーマ「良くわかるより良くできる人づくり」</p> <p><今後行ってきたい活動の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人でもチームでも生き抜く力のトレーニング <p>⇒防災訓練への参加を目指して炊き出しや資機材の活用法講習会 例：テント組み立て、水の確保、調理関係、簡易トイレ</p> |
| ③地域活動等を行って「良かった」と感じていることはどんなことですか。 | <ul style="list-style-type: none"> 一人親世帯や不登校の問題を抱える世帯を把握することにより、親と繋がり、微力ながら支援する事が出来たと思います。 コロナ禍での休校や夏休み中に食料配布する世帯への個数割り振りがスムーズに行えた。 子ども食堂への参加者が予定数より少なく、余った弁当を独居訪問に使う事ができた。 |
| ④貴団体の活動において、課題がありましたら教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> 公民館施設利用の為、水道光熱費や消耗品等の補助がなくなった場合には、現在のような支援活動に対する理解が得にくいと思います。 |
| ⑤活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。 また、どこに相談したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> 市の直営でもあり、情報が入りやすく相談先があるのは心強いです。県、市社協からの情報も入りやすいので、研修会や助成に対する知識も得られ、コロナ対策備品(マスクなど)配布もある。 個人情報保護法により、生活保護世帯なのか家族構成の把握が難しいです。 自宅訪問は関係機関にお願いしていますが、不登校や引きこもりがある家庭の中で解決が困難である為に、負の連鎖が起きていないか心配です。 基本的な親学を身につけて欲しいと願っています。 |
| ⑥人材や担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。 | <p><人材の確保・育成について工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月第1土曜日にはスタッフの労をねぎらい、今後の取り組みなど意見交換会を開いています。 中学生OBを呼んで奉仕作業に関わって頂いています。 女子=食事の手伝い 男子=遊具の修繕や畑作業の手伝い等 <p><地域の企業等と連携していること></p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄ヤクルト、E-スペース、FMぎのわんより、お菓子や食料の寄贈をして戴いています。 <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <ul style="list-style-type: none"> 大学生や青年会と子どもたちとの関わりを大切にしていきたい。 |

| | |
|---|--|
| <p>⑦今後、宜野湾市で地域でボランティア活動や、支え合える地域を作っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 楽しい事から始まる地域づくり ⇒地域資源を活用し、祭りや伝統芸能の継承に向けて若い世代へのアプローチ、企画の段階から参画させることにより、異年齢との繋がりや企業との連携を密にしてスケールメリットを高めていく。 |
| <p>⑧その他自由意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 子どもの人権 SOS ミニレターの設置箇所が増えた事により、子どもの人権が守られ、明るい豊かな未来となるよう協働して参りましょう。 |

| | |
|--|--|
| ①貴団体の体制等についてお答えください。 | <p><団体の名称></p> <p>社会福祉法人はごろも福祉会</p> |
| ②貴団体の活動内容、今後行っていきたいと考えている活動内容をお答えください。 | <p><主な活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス：就労継続支援 B 型・共同生活援助・生活介護 ・地域貢献：美化活動・子ども食堂 <p><今後行ってきたい活動の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が安心して働ける、又は休息できるような活動 ・地域で漏れがちな活動 |
| ③地域活動等を行って「良かった」と感じていることはどんなことですか。 | <p>(障害福祉サービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援 B 型：弁当パン製造販売での無料配達や下請作業では地域の企業様から喜ばれております。 ・共同生活援助：家庭の様々な事情から家族と同居できない方がいきいきと生活でき、家族から喜ばれております。 ・生活介護：就労が難しい方が B 型を目指して頑張ることで、家族から喜ばれております。 <p>(地域貢献)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美化活動：地域の方から「綺麗になっているね」と話しかけられたり、水かけしやすいようにホースを準備してくれたり、匿名でスイカを頂いたりする。 ・子ども食堂：学校へは行かない子が「はごろも子ども食堂」には来てくれたり、子どもたちから喜ばれております。 |
| ④貴団体の活動において、課題がありましたら教えてください。 | <p>(障害福祉サービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援 B 型：毎日利用ではない方の就労支援が難しい。ひとつでもできることを増やしていきたいが、成長させるのにとても時間がかかる。また、利用料は 1 日単位での請求だが、人員配置基準による職員給与は 1 日単位とはいかない。 ・共同生活援助：新規利用者の方は慣れるまで帰宅が多くなるため、緊急事態宣言で新規利用者受入れが延長つづきである。 ・生活介護：コロナ禍で外出できず、どうすればストレスケアできるか試行錯誤している。 <p>※福祉業界の人材不足は続いており、コロナで解雇等の話やニュースを見るものの応募はゼロの状態</p> <p>(地域貢献)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂：貧困の子がご飯をお腹いっぱい食べて成長して欲しいと子ども食堂を行っているが、個人情報の関係で特定するのが難しいとの事で、本当に必要な子が来てくれているか心配。また、子どもたちは向き合う人がいれば様子が見えてくるため人材が必要である。 |
| ⑤活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、どこに相談した | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な関係機関につなげている。 |

| | |
|---|--|
| <p>らよいかわからない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。</p> | |
| <p>⑥人材や担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。</p> | <p><人材の確保・育成について工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得支援として県外スクリーニング等を出勤扱い ・新入職者にメンターをつけ、言いやすい環境づくり ・カバー体制で休みやすい <p><地域の企業等と連携していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単発的な軽作業を受ける ・子ども食堂への食品寄贈 <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップできる仕組みづくり |
| <p>⑦今後、宜野湾市で地域でボランティア活動や、支え合える地域を作っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等で地域の人たちが顔を合わせる機会 |
| <p>⑧その他自由意見</p> | <p>(障害福祉サービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援 B 型：利用者それぞれの理解や作業能力が違い、B 型利用者の幅が広い。全国と県内ではサービス種類の決定に差はないでしょうか。また、平均工賃にて報酬額が決められている現状と、工賃が高い事業所を利用者は利用するため、売上を上げるため職員の負担がとても大きい。更に就労系事業所は、生産活動にて事務作業がとても多く、他サービスより人件費が必要である。 ・生活介護：保護者からの聞き取りにて障害支援区分が認定されるのではなく、事業所での様子や本人の特性をよく見て欲しい。支援区分は低いと 1 対 1 での支援の利用者が多々ありますが、保護者は支援区分が高くなることを拒み、事業所はマンツーマン対応で人手不足になるため、適切な認定をお願いします。 |

5) 社会福祉法人

| | |
|---|--|
| ①貴法人についてお答えください。 | <p><団体の名称></p> <p><u>社会福祉法人 蒼生の会・蒼生学園</u></p> <p><宜野湾市での事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援 B 型 |
| ②貴法人が取り組んでいる、地域との連携活動や公益的な活動にはどんなものがありますか。事例がありましたら記載ください。 | <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長田区内清掃 年2回参加 ・毎週月曜日 長田小学校児童の登校の見守り（立哨） ・親子木工教室 ・長田区かりゆし会とお米の精米販売 |
| ③今後、地域との連携や地域貢献でやってみたいことはありますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の支援 |
| ④地域との連携や地域貢献をする上での課題や困りごとがあればご記入ください。 | <p>記入なし</p> |
| ⑤今後、企業や社会福祉法人の地域との連携や公益活動をしやすいするためには、どのようなことが必要だと思いますか | <ul style="list-style-type: none"> ・宜野湾市地域福祉計画を周知させる。（分からない市民が多いのでは） |
| ⑥活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、どこに相談したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <p>—</p> |
| ⑦その他自由意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の就労はどうなっていますか。 ・ヤングケアラーの支援についてはどうなっていますか。 |

| | |
|--|--|
| ①貴法人についてお答えください。 | <p>＜団体の名称＞</p> <p><u>社会福祉法人 喜寿会 特別養護老人ホーム福寿園</u></p> <p>＜宜野湾市での事業内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム 70 床 ・通所介護事業 40 名 ・短期入所生活介護 3 床 ・居宅介護支援事業所 |
| ②貴法人が取り組んでいる、地域との連携活動や公益的な活動にはどんなものがありますか。事例がありましたら記載ください。 | <p>＜主な内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園児との交流会 ・福祉体験学習の受け入れ ・介護実習の受け入れ ・保育園や老人クラブ、地域住民への中庭の開放 ・宜野湾市災害時指定避難所 |
| ③今後、地域との連携や地域貢献でやってみたいことはありますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域高齢者見守りサービス 対象者：独居又は高齢者世帯等で見守りが必要な方（本人、家族の同意が得られる方） 内 容：月1回程度の電話連絡及び自宅訪問、安否確認を行い、その状況を家族へ報告。緊急連絡先として福寿園を登録し、何かあれば福寿園職員が駆けつける。緊急時に限り、福寿園施設での保護又は家族代理で病院への搬送及び受診付添い <p>※実際、下記事例があった…</p> <p>高齢者が道路で転倒されるのを当職員が発見、近くにいた地域住民と共に保護。福寿園施設に応援要請があり、車椅子及びリフト車両にて現場に駆けつける。転倒された高齢者は一人暮らしで、ご家族も遠方に住まれ、すぐに対応できないことから、福寿園職員が家族代理で病院への搬送及び受診、付添いを行った。 (受診結果：大腿骨頸部骨折)</p> <p>以上の経験から、改めて地域独居老人等の見守り支援の必要性を感じた。</p> |
| ④地域との連携や地域貢献をする上で課題や困りごとがあればご記入ください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題等の情報がない。 ・直接訪問等を行うと警戒されるのでは?との不安がある。 ・地域の各種団体やボランティアとの面識がない。 |
| ⑤ 今後、企業や社会福祉法人の地域との連携や公益活動をしやすいするためには、どのようなことが必要だと思いますか | <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関や社会福祉協議会との連携 ・地域ニーズ等の情報共有 ・各種団体との情報交換会や地域代表者等の紹介 |
| ⑥ 活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、どこに相談したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援のしづらさを感じた事例は特にないです。 ・高齢者に関することであれば相談先も把握しています。 |
| ⑦ その他自由意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人として、関係機関や地域住民等との連携を図り、地域の福祉向上に努めたいと考えています。 |

| | |
|--|--|
| ①貴法人についてお答えください。 | <p><団体の名称></p> <p><u>社会福祉法人 しのめこども園・ほいくえんそーれ！</u></p> <p><宜野湾市での事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園 ・事業所内保育所 ・子育て支援センター |
| ②貴法人が取り組んでいる、地域との連携活動や公益的な活動にはどんなものがありますか。事例がありましたら記載ください。 | <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流（老健施設）⇒ コロナウィルスにより ・公民館にてミニコンサート ⇒ 一時中断 ・自治会清掃活動 ・子育て支援センター（地域の親子の居場所づくり） |
| ③今後、地域との連携や地域貢献でやってみたいことはありますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の社会情勢では厳しいが、地域の方がもっと園に出入りできるような空間をつくりたい。（カフェ、図書コーナーの利用） |
| ④地域との連携や地域貢献をする上で課題や困りごとがあればご記入ください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況が終息すれば可能だと思う。 |
| ⑤ 今後、企業や社会福祉法人の地域との連携や公益活動をしやすいするためには、どのようなことが必要だと思いますか | — |
| ⑥ 活動を通して、困ったことが起きたり、支援が必要な人を発見した場合、相談先はありますか。また、どこに相談したらよいか分からない等、支援のしづらさを感じた事例はありますか。それはどんな事例ですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・常に行政へ報告、相談している。 |
| ⑦ その他自由意見 | — |

6) 老人クラブ連合会

| | |
|---|---|
| ①貴団体の体制等についてお答えください。 | <p><団体の名称></p> <p><u>宜野湾市老人クラブ連合会</u></p> <p><会員数> <u>3,330</u> 名</p> |
| ②貴団体では、地域でどのような地域活動をしていますか。また、今後行っていきたいと考えている活動にはどんなことがありますか。 | <p><主な活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員相互の親睦、生きがいづくり、健康づくりの推進 <p><今後行っていきたい活動の内容></p> <p>—</p> |
| ③活動等を行って「良かった」と感じていることはどんなことですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ大会において、90歳以上の参加者が増えてきていること |
| ④貴団体の活動において、課題がありましたら教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所の確保 ・若年会員の未加入問題 |
| ⑤人材や担い手の確保について取り組んでいることがあれば教えてください。 | <p><人材の確保・育成について工夫していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブには現役の頃の専門家が多いので、その活用を図りたい。 <p><人材確保に向けて今後行っていきたいことなど></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員増に努め、クラブ活動に参加することで専門性を生かしたい。 |
| ⑥今後、宜野湾市で地域でボランティア活動や、支え合える地域を作っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に積極的に参加し、地域活動の担い手として活動する。 |
| ⑦その他自由意見 | — |